

令和5年度

商工観光労働行政の概要



令和 5 年度商工観光労働行政の概要 目次

★ = 新政策（一部新政策を含む）又は新規事業

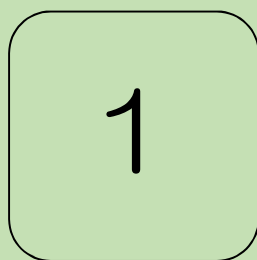
予算額

単位:千円

1 令和 5 年度商工観光労働部の重点施策

(1) 令和 5 年度の基本方針		1		
(2) 企業を支援する取組				
産業施策の見える化事業「わかやま企業応援ナビ」		2		商工観光労働総務課
和歌山県事業再構築等支援総合相談窓口		2		商工観光労働総務課
下請取引適正化に向けて		3		商工観光労働総務課
(3) 和歌山の活性化に向けた取組				
民間ロケット発射場周辺地域活性化		3	41,770	産業技術政策課
大阪・関西万博に向けた取組		4	254,418	万博推進課
(4) 重点個別施策				
1. 魅力ある和歌山の創造				
①「DX和歌山」の加速化、GX（グリーントランスフォーメーション）の推進				
わかやまデジタル革命推進プロジェクト		5		企業振興課・産業技術政策課
[1] 販促デジタル化促進（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		6	84,763	企業振興課
[2] システムカイゼン促進（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		6	154,119	企業振興課
[3] デジタル経営診断（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		7	7,700	企業振興課
[4] ものづくり生産力高度化補助金（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		7	200,768	産業技術政策課
[5] 和歌山県DXチャレンジサポートプログラム（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		8	21,175	産業技術政策課
[6] デジタル専門家派遣（わかやまデジタル革命推進プロジェクト）		8	1,784	産業技術政策課
★ [7] e コマース対応型販売支援		9	3,637	企業振興課
[8] e コマース推進		9	2,248	商工振興課
[9] デジタル化専門家派遣		10	7,000	商工観光労働総務課
★ [10] 脱炭素経営モデル推進支援		10	13,000	産業技術政策課
②県内事業者の成長支援				
[11] 成長志向創業者支援		11	20,000	企業振興課
[12] スタートアップオフィス		11	16,482	企業振興課
[13] 地域課題解決型起業支援		12	102,120	企業振興課
[14] わかやまスタートアップ創出		12	2,701	産業技術政策課
[15] 先駆的産業技術研究開発支援		13	199,931	産業技術政策課
[16] わかやま地場産業ブランド力強化支援		13	92,482	企業振興課
[17] わかやま中小企業元気ファンド・わかやま農商工連携ファンド		14	57,000	企業振興課
[18] 和歌山県事業再構築チャレンジ補助金		14	1,200,000	商工観光労働総務課
★ [19] 和歌山ものづくり文化祭		15	5,000	企業振興課
[20] デザイン経営価値共創支援		15	17,360	企業振興課
[21] ヘルスケア産業創出		16	963	企業振興課
[22] クラウドファンディング活用支援		16	—	商工振興課
[23] 販売力強化支援		17	4,074	企業振興課
[24] 和歌山産品販促支援		17	98,801	企業振興課
[25] わかやま産品魅力再発見		18	6,650	企業振興課
[26] 優良県産品（プレミアム和歌山）振興		18	43,228	企業振興課
[27] 新たな官民連携の推進		19	11,744	商工観光労働総務課
③企業誘致の促進				
[28] ベンチャー企業誘致		19	4,716	産業技術政策課
[29] ICT企業誘致の推進		20	4,695	企業立地課
[30] 企業立地促進対策助成		20	1,470,620	企業立地課
[31] 宿泊施設の誘致		21	34,126	サービス産業立地室
[32] あやの台北用地開発		21	1,448,611	企業立地課

④観光産業の発展					
[33]	世界遺産等推進	………	22	46,974	観光振興課
[34]	「アウトドア観光」推進	………	22	21,580	観光振興課
[35]	「温泉・グルメ」で満喫、わかやま	………	23	7,300	観光振興課
[36]	サイクリング王国わかやま	………	23	19,276	観光振興課
[37]	国際観光推進	………	24	246,705	観光交流課
[38]	教育旅行誘致推進	………	24	40,636	観光交流課
[39]	外国人観光客受入環境整備	………	25	46,113	観光交流課
[40]	外国人観光客受入環境高度化	………	25	19,000	観光交流課
2. 挑戦を支える基盤づくり					
①中小企業等の事業継続支援					
[41]	事業承継サポート	………	26	648	商工振興課
[42]	中小企業融資制度実施	………	26	83,804,747	商工振興課
[43]	信用補完制度実施	………	27	289,900	商工振興課
②人材の育成・確保					
[44]	きのくに I C T 教育（ステップアッププログラム）	………	27	5,004	企業振興課・産業技術政策課
[45]	産業を支える人づくりプロジェクト	………	28	57,809	労働政策課
[46]	和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト	………	28	85,541	労働政策課
[47]	わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト	………	29	113,932	労働政策課
[48]	和歌山県若手中核人材確保強化	………	29	10,001 50,000（債務負担）	労働政策課
3. 関係機関					
	ジェトロ和歌山貿易情報センターとの連携	………	30		
	公益財団法人わかやま産業振興財団のご案内	………	31		
	和歌山県工業技術センター	………	32		
	ジョブカフェわかやま・はたらコードわかやま	………	33		
	県立産業技術専門学院	………	33		
2 参考資料					
○和歌山県の産業の姿					
	① 沿革と概観	………	34		
	② 和歌山県産業ポテンシャル	………	35		
	③ 日本経済と和歌山県経済	………	36		
	④ 産業構造	………	40		
	⑤ 和歌山県の経済動向	………	41		
	⑥ 工業	………	45		
	⑦ 商業	………	46		
	⑧ サービス業	………	47		
	⑨ 観光	………	48		
	⑩ 貿易	………	49		
	⑪ 労働雇用	………	50		
	○和歌山県商工観光労働部組織一覧	………	51		



令和5年度
商工観光労働部の重点施策

(1) 令和5年度の基本方針

令和5年度の基本方針（キーワード）

1. 和歌山の活性化に向けた取組

- ① 民間ロケット発射場周辺地域活性化
- ② 大阪・関西万博に向けた取組

2. 魅力ある和歌山の創造

- ① 「DX和歌山」の加速化、GXの推進
- ② 県内事業者の成長支援
- ③ 企業誘致の促進
- ④ 観光産業の発展

3. 挑戦を支える基盤づくり

- ① 中小企業等の事業継続支援
- ② 人材の育成・確保

和歌山の活性化に向けた取組

民間ロケット発射場周辺地域活性化

【主な取組】

- ・ ロケットを活用した地域活性化
- ・ 宇宙シンポジウム



大阪・関西万博に向けた取組

【主な取組】

- ・ 和歌山館（仮称）設置に向けた取組
- ・ 万博の機運醸成
- ・ 空飛ぶクルマの運航実現に向けた取組



魅力ある和歌山の創造

「DX和歌山」の加速化、GXの推進

【主な取組】

- ・ 生産性向上を目的としたシステム導入の支援
- ・ デジタル経営診断を実施
- ・ 相談支援及びニーズに応じた指導を実施
- ・ 県内中小企業の脱炭素経営に向けた取組支援

県内事業者の成長支援

【主な取組】

- ・ 新たな挑戦への支援体制の強化
- ・ 販路開拓等の販促活動を支援



企業誘致の促進

【主な取組】

- ・ 企業誘致戦略の推進
- ・ 県外・海外の企業等に対するプロモーション活動



観光産業の発展

【主な取組】

- ・ アウトドアスタイルの発信
- ・ 滞在期間の延長に向けた周遊促進
- ・ 大阪・関西万博を見据えた誘客促進
- ・ 外国人観光客を誘致



挑戦を支える基盤づくり

中小企業等の事業継続支援

【主な取組】

- ・ 資金繰りを支援
- ・ 事業承継をサポート

人材の育成・確保

【主な取組】

- ・ グローバル人材を育成
- ・ 県内産業を支えるICT人材の育成

(2) 企業を支援する取組

産業施策の「見える化」事業「わかやま企業応援ナビ」(商工観光労働総務課)

概要

国・県等が実施する産業施策を一発検索できるWEBサイト

ポイント

- ①補助金やイベントなどの情報が満載!
国や県などの事業をサポートする様々な施策を随時更新
- ②AIがあなたに合った施策をオススメ!
利用ユーザーの検索傾向から、AIがあなたにオススメの施策をピックアップ
- ③無料会員登録でもっと便利に!
マイページから閲覧履歴の確認、気になるカテゴリの登録などが可能に
- ④施策の検索方法が充実!
ワード検索や目的別検索など様々な方法により施策を検索

事業者の皆さまの生の声を伺いながら、より有利な施策活用につなげ
事業者の皆さまの更なる成長を目指します

URL : <https://www.wakayama-sangyo.com/>



和歌山県事業再構築等支援総合相談窓口(商工観光労働総務課)

概要

●「和歌山県事業再構築等支援総合相談窓口」の設置

- わかやま産業振興財団において、県内事業者からの事業再構築の相談に総合的に対応する総合相談窓口を設置
- 専門コーディネーターを配置し、※事業再構築補助金の計画策定から計画実行まで伴走支援するなど、県内事業者の思いきった事業再構築をサポート

【開設場所】

フォルテ南館 4 階 (和歌山市駿河町 1 6 番地)

【開設日時】

平日 10 時～17 時

【相談方法】

窓口での対面(オンライン可)、まず電話またはEメールでお問い合わせ願います。

※ 窓口対応は 事前予約制

※ TEL : 073-499-8860

Eメールアドレス : saikochiku@yarukiouendan.jp

◆和歌山県事業再構築等支援総合相談窓口は「事業再構築補助金」の申請窓口ではありませんので、ご注意ください。

※事業再構築補助金(中小企業等事業再構築促進事業)【中小企業庁】

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するため、新分野展開や業態転換等、中小企業等の思い切った事業再構築を支援する補助金になります。



下請取引適正化へ向けて（商工観光労働総務課）

ポイント

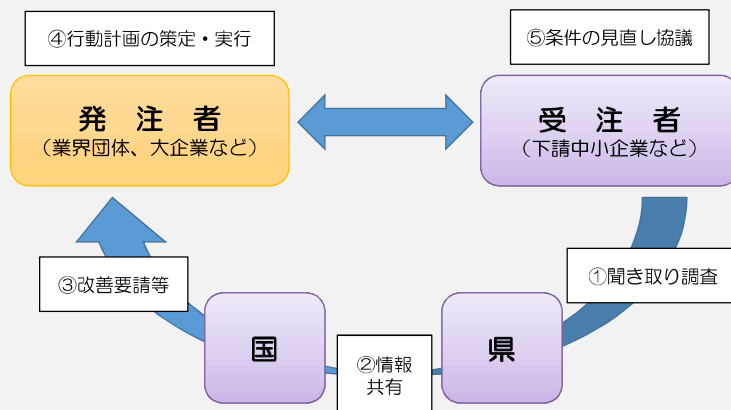
下請等中小企業における取引条件の改善を図るため、経済産業省と連携し、取引実態の把握や、商慣行の是正・取引適正化に向けた取組を推進

概要

- 平成30年7月23日「下請等中小企業者の取引条件改善に向けた取組に関する連携協定」を
経済産業省と和歌山県が締結【全国初の取組】

【協定に基づく取組内容】

- ①県内企業への聞き取り調査（県）
 - ②聞き取った調査内容を国と県とで共有
 - ③不適正な事例については、国から業界団体等へ改善要請
 - ④要請を受けた業界団体は自主行動計画の策定及び実行
 - ⑤大企業と下請企業とで取引条件等の見直しを協議
- ※その他国と県とで共同セミナー等を開催



サプライチェーン全体で下請取引を適正化し、**地域経済の好循環を推進**

（３）和歌山の活性化に向けた取組

民間ロケット発射場周辺地域活性化（産業技術政策課）

ポイント

スペースポート紀伊でのカイロスロケット初打上げに合わせ、ロケット打上げ応援イベントを開催し、観光客受入、交通渋滞対策を実施するとともに、宇宙シンポジウムin串本を開催

予算額

・令和5年度	41,770 千円
・令和4年度	41,306 千円

概要

ロケットを活用した地域活性化

- 見学場設置
 - ・大型モニターを設置し、プレミア感のある見学場を整備
- 交通渋滞対策
 - ・臨時駐車場からのパークアンドライドや、交通規制により交通渋滞を回避
- 旅行商品造成
 - ・県内への宿泊や地域観光資源を組み合わせたツアーを企画

地域に溶け込んだ新たな観光コンテンツを創出

見学来訪者の周遊観光により観光消費拡大

宇宙シンポジウム

- 宇宙産業集積に向けた気運を醸成



ロケット「KAIROS」打上げイメージ（提供：スペースワン社）



見学場（串本町：田原海水浴場）



見学場（那智勝浦町：旧浦神小学校）



「宇宙シンポジウムin串本」
（令和4年7月開催）

ポイント

- 2025年に開催される「大阪・関西万博」にて、県の魅力をPRする「和歌山館（仮称）」の設置に向けた取組
- 万博に向けた県内の機運醸成
- 「空飛ぶクルマ」の運航実現に向けた取組

予算額

- ・ 令和5年度 254,418 千円
- ・ 令和4年度 13,084 千円

概要

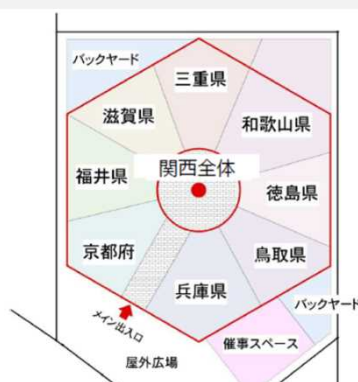
○ 和歌山館（仮称）設置に向けた取組

- 和歌山館（仮称）※の整備
 - ・ 県の魅力をPRする和歌山館（仮称）の展示や運営等の内容を盛り込んだ「出展基本計画」をもとに、基本設計・実施設計・コンテンツ作成等を実施

※和歌山館（仮称）…万博会場に関西広域連合が設置する「関西パビリオン」内に設置する県の展示ゾーン



<関西パビリオン イメージ図>



<万博会場地図>



大阪・関西万博の本県への経済効果

- ① 夢洲会場を中心として開催される経済効果
- ② 関西パビリオン出展や機運醸成等による経済効果

トータル 210億円

試算：（一財）アジア太平洋研究所

○ 万博の機運醸成

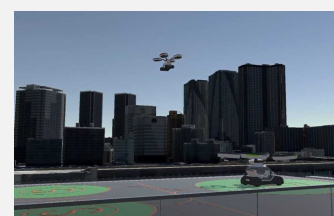
- 機運醸成活動イベントの開催・啓発活動
 - ・ 「2025年国際博覧会和歌山推進協議会※」と連携し、万博を身近に感じ、県民の皆様の万博への参加意欲が高まるよう、機運醸成イベントを開催
 - ・ 県内で実施される各種イベントへの万博ブースの出展等
 - ・ 万博への多種多様な参加方法（催事参加・営業参加・TEAM EXPO等）等に関する説明会の実施

※万博の成功に向け、機運醸成を推進し、県内への誘客促進や企業等への情報発信を目的に、和歌山県商工会議所連合会、和歌山県を中心に、産学官金等の団体により構成された組織



○ 空飛ぶクルマの運航実現に向けた取組

- 離着陸地に適した県内候補地を専門的な知見により調査・選定
- 空飛ぶクルマの県内での普及啓発



<ポート イメージ図>

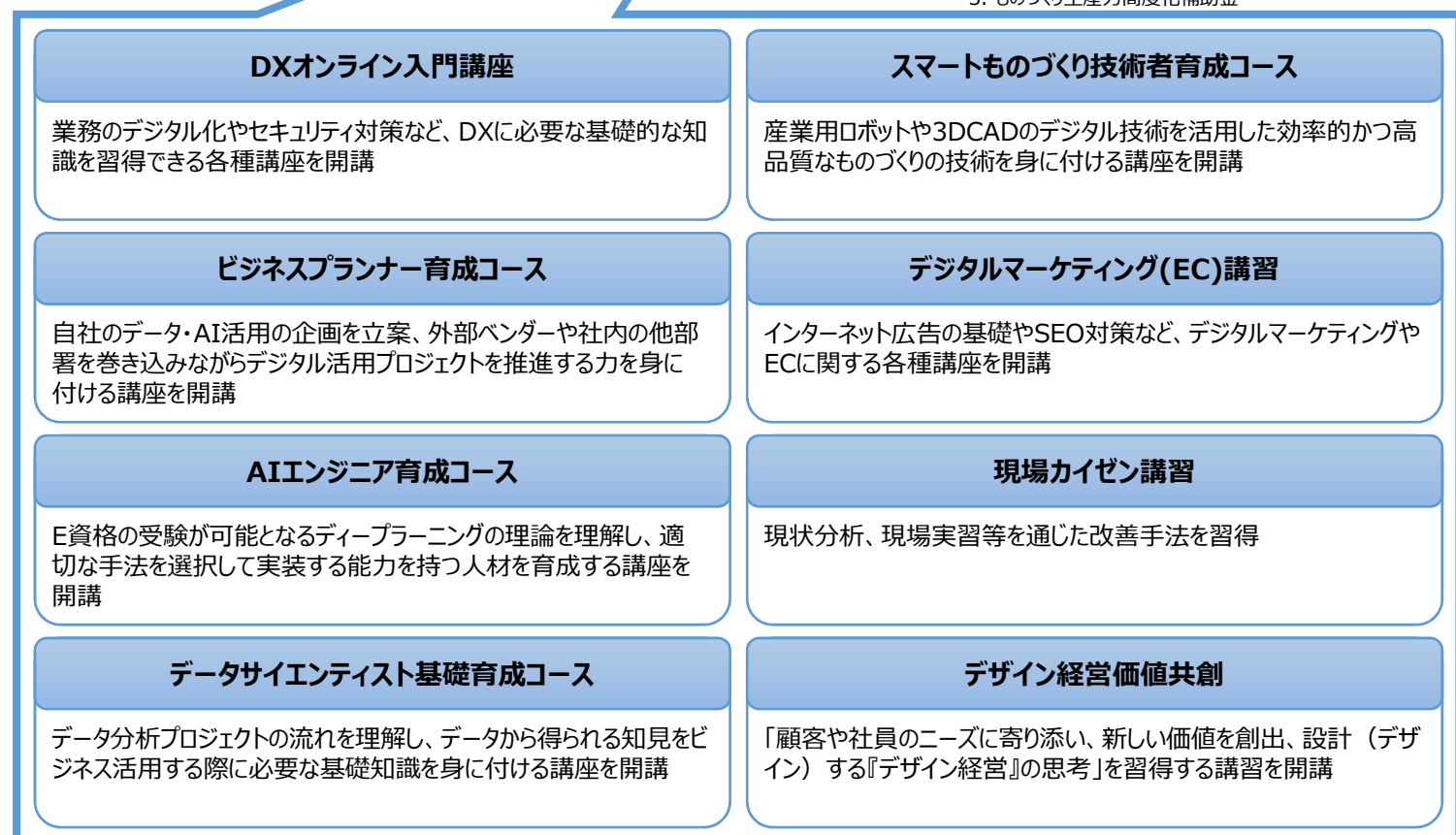
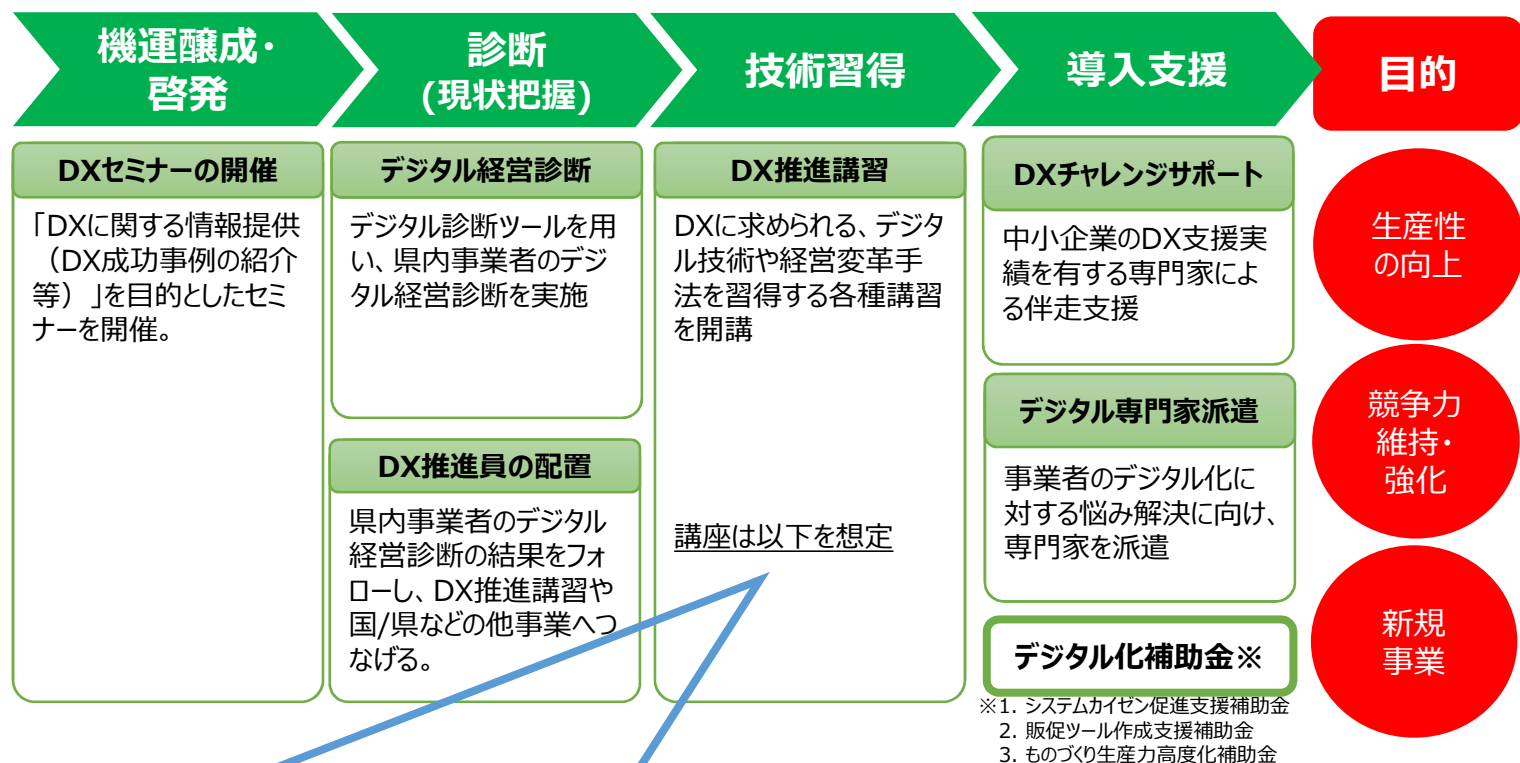
(4) 重点個別施策

1. 魅力ある和歌山の創造

①「DX和歌山」の加速化、GXの推進

わかやまデジタル革命推進プロジェクト（企業振興課・産業技術政策課）

- 県内事業者のデータやデジタル技術を活用した競争力強化や競争優位性の確立に向けた取組を一貫支援
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現を推進



[1] 販促デジタル化促進（企業振興課）

ポイント

インターネットを活用した事業活動を行うためのウェブサイト等の作成又は改良、ウェブマーケティングの実践を支援

予算額

・令和5年度	84,763 千円
・令和4年度	94,498 千円

概要

I. 販促ツール作成支援補助金

○県内中小企業に対して、インターネットを活用した事業活動を行うための販売促進ツール作成に要する経費を補助

- ・補助上限額：50万円
- ・補助率：1/2以内
- ・補助対象：ウェブサイト等の作成又は改良に要する経費
ウェブサイト等を効果的に活用するための経費
- ・その他：和歌山県IT関連事業者登録名簿掲載事業者への発注が必要

II. 販促ツール活用促進セミナー

○県内中小企業の経営者層及び広報担当者に対して、ウェブマーケティングの手法を学ぶためのセミナー、実践するためのワークショップを開催

- ・講座内容
 - ①ウェブ集客の仕組みを理解し、販促ツールを効果的に集客や売上に繋げる力を身に着けるための講座
 - ②商品・サービスが売れるウェブサイトの作り方を学び、顧客の集客方法と分析手法をワークショップで実践
- ・県内各地及びオンラインで開催



[2] システムカイゼン促進（企業振興課）

ポイント

生産現場の効率化や経営管理体制の強化を図るため、生産性向上を目的としたシステム導入を支援

予算額

・令和5年度	154,119 千円
・令和4年度	204,443 千円

概要

I. システムカイゼン促進支援補助金

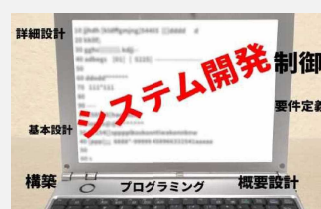
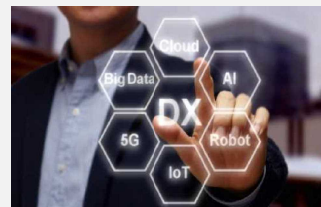
○県内中小企業に対して、生産現場の効率化や経営管理体制の強化を図るための工程管理システムや基幹業務支援システムなどの導入に要する経費を補助

- ・補助上限額：500万円
- ・補助率：1/2以内
- ・補助対象：システムの購入、構築、借用等の導入に要する経費
同時に導入する必要のある機器・備品に要する経費
- ・その他：経済産業省「IT導入補助金」で対象となる事業には活用不可

II. システム導入促進講座

○県内中小企業の経営者層及びシステム担当者に対して、システム導入促進のための講座を開催

- ・講座内容
 - ①システム導入の必要性やそのために必要な準備、システム導入の成功例・失敗例やデジタル化企業の将来の姿などを学ぶ講座
 - ②経営分析を踏まえて自社にとってシステム導入が必要かどうかを検討するための端緒となるワークショップ
- ・県内各地及びオンラインで開催



[3] デジタル経営診断（企業振興課）

ポイント

デジタル経営診断ツールを用い、県内事業者のデジタル経営※診断を実施

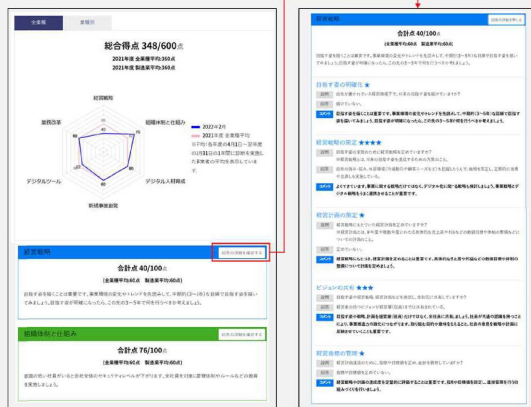
※：データやデジタル技術を活用し、複雑化した社会に適応する企業経営の在り方

予算額

・ 令和 5 年度	7,700 千円
・ 令和 4 年度	7,700 千円

概要

- デジタル診断ツールを用い、県内事業者1,000社を対象としたデジタル経営診断を実施
- 県内平均と比較することで、自社のデジタル経営状況の把握を支援



[4] ものづくり生産力高度化補助金（産業技術政策課）

ポイント

県内製造事業者が、デジタル技術等を駆使してビジネスモデルを変革し、生産力を高度化するための大規模な設備等の導入に要する経費を補助

予算額

・ 令和 5 年度	200,768 千円
・ 令和 4 年度	100,768 千円

概要

将来の価値を生み出す新たな投資を促進することで、産業創出、産業競争力の強化をめざす

- 【予算額】 2 億円
- 【補助事業者】 ①製造業に属する産業を営む者
②和歌山県内に事業所を有する者
- 【補助上限】 2,000万円
- 【補助率】 投資額の1/3
- 【対象設備】
 - ①経営力向上に資する設備
機械装置、工具、器具部品、建物附属設備、ソフトウェア
※工業会等による証明書の取得ができるもの
 - ②ITツール
国のIT補助金事務局に登録されたソフトウェア等の導入費用



【設備例】自動裁断CAD/CAMシステム

【5】和歌山県DXチャレンジサポートプログラム（産業技術政策課）

ポイント

- 意欲ある事業者を対象に、高度専門人材による伴走支援を実施
- 6か月程度にわたる継続的な支援により県内企業のDXを強力に推進！

予算額

・ 令和5年度	21,175 千円
・ 令和4年度	21,175 千円

概要

➤ DXを絡めた戦略策定支援

将来の姿を見据えた各社ごとの戦略策定を支援

➤ 専門技術の活用支援

収集すべきデータや、データの活用法に対する助言

➤ 成果発表会の開催

プログラムで取り組んだ内容を広く発信

【支援内容の例】

①	将来目指す姿を見据えた経営戦略の策定
②	既存システムの刷新を含めたDXに向けての助言
③	技術や外部リソースの組み合わせの提案
④	収集したデータの活用法に対する助言
⑤	実証実験の提案および実行支援

DXに挑戦する県内
企業を募集
(3社程度)



高度専門人材によ
る伴走支援
(6か月間)



取り組んだ内容を
発表
(成果発表会)

【6】デジタル専門家派遣（産業技術政策課）

ポイント

- デジタル技術に関する知見に長けた支援チームを形成し、県内企業に派遣
- 県内企業が抱える課題への解決策を提示し、IoT等のデジタル技術の導入を促進

予算額

・ 令和5年度	1,784 千円
・ 令和4年度	1,784 千円

概要

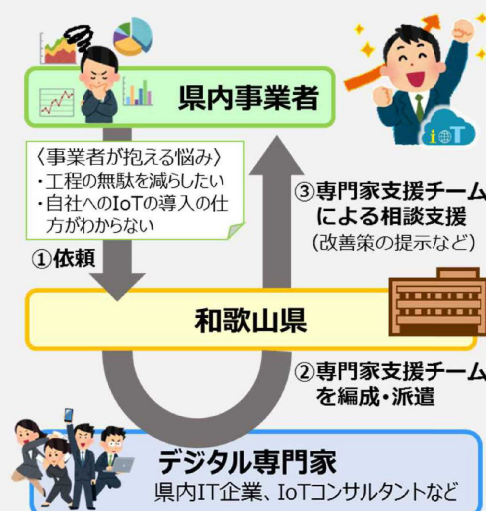
【対象事業者】

県内に事務所等を有する以下の事業者

- 地場産業分野
(繊維、化学、機械金属、食品加工、家庭用品、情報通信)
- 観光分野 (宿泊、小売、卸売)

【内容】

- 専門家による支援体制を構築
事前に登録した専門家の中から、県内事業者の依頼（相談）内容に基づき、専門家チーム（1～3名）を編成
- 県内事業者に専門家を派遣
専門家チームを派遣し、相談支援を実施。現状分析から、改善策等の提示、先端技術の導入までをサポート



[7] eコマース対応型販売支援（企業振興課）

ポイント

- 大手通販サイトのプランナーを招請し、PB商品企画商談を実施
- 県産品の海外への販売力強化のため、新しい手法による販売促進支援を実施

予算額

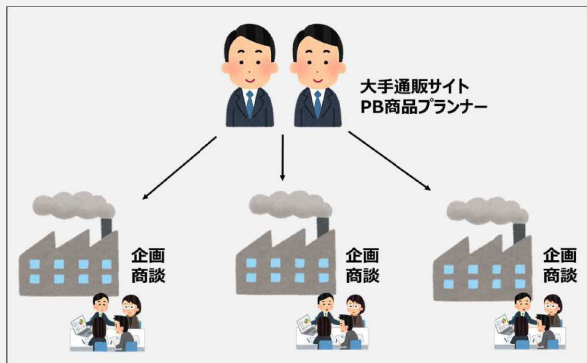
・ 令和5年度	3,637 千円
・ 令和4年度	一 千円

概要

OPB商品企画商談

- ・ 大手通販サイトの商品プランナーを招請し、商談を希望する事業者を訪問。工場視察及びサンプル確認をしながら企画商談を実施し、新たな受注先の獲得を図る。

- 対象業種：繊維、家庭用品、雑貨など



○中国向けライブコマース

- ・ 中国で販売力を伸ばしつつあるライブコマースの手法を用いて、中国市場での県産品販売を支援する。

- 対象業種：加工食品、家庭用品、雑貨など



※ライブコマースとは…
オンライン販売とライブ配信を組み合わせた販売形態。
テレビショッピングとは異なり、ライバー（動画配信者）が商品の情報を発信するだけでなく、視聴者がチャットを通じてリアルタイムで質問することができる。

[8] eコマース推進（商工振興課）

ポイント

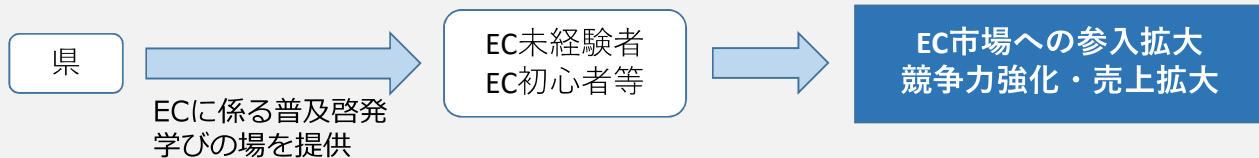
今後も拡大するEC（電子商取引）市場において、事業者の参入・売上拡大を促進

予算額

・ 令和5年度	2,248 千円
・ 令和4年度	2,640 千円

概要

EC（電子商取引）市場への新規参入を目指す県内事業者の裾野拡大と事業者の競争力強化・売上拡大を目指し、講演会等を開催



○講演会等の開催内容

- ・ 最新のEC市場の現況、EC向け商品の作り方の紹介
- ・ EC市場で売上をあげている成功事業者からのノウハウの紹介
- ・ モール（楽天、Amazon、Yahoo! など）での販売戦略、SEO対策の紹介

※SEO・・・Search Engine Optimizationの略で、検索結果でWebサイトがより上位に表示させる取組のこと

[9] デジタル化専門家派遣（商工観光労働総務課）

ポイント

商工会・商工会議所等と連携してデジタル化に精通した人材バンクを設置し、県内事業者のデジタル化への相談支援及びニーズに応じた指導を実践

予算額

・ 令和5年度	7,000 千円
・ 令和4年度	10,150 千円

概要

IT関連 の悩み

- ・ 店舗での販売だけでなく、インターネット販売を開始して売上増を目指したい
- ・ テレワークを導入したいが、進め方がわからない
- ・ 一度〇〇ツールを試してみたが、ノウハウ不足で会社全体に展開できていない
- ・ 当社の課題の把握・整理からIT専門家をお願いしたい など

商工会・商工会議所「エキスパートバンク」に
デジタル化支援に特化した専門家を拡充し、デジタル化へのニーズに対応

受付機関	最寄りの商工会・商工会議所にまずはご連絡ください。 ※相談内容に基づき最適な専門家をマッチングします。
相談費用	1事業者あたり最大3回まで相談費用無料 ※予算には限りあり（先着順） ※指導を受ける際に使用する教材・材料費等は実費負担。
受付期間	令和5年4月3日 から 令和6年1月31日まで

[10] 脱炭素経営モデル推進支援（産業技術政策課）

ポイント

県内中小企業の脱炭素経営に向けた取組を、業種や規模によって異なるニーズに合わせたオーダーメイド型の支援を実施

予算額

・ 令和5年度	13,000 千円
・ 令和4年度	— 千円

概要

脱炭素経営相談窓口

相談形式：面談またはオンライン会議システムでの相談

費用：無料（事前予約制）

内容：ニーズに応じた支援機関等の選定支援・支援策の紹介

脱炭素経営に向けた計画策定支援事業費補助金

内容：CO2排出量の見える化から削減計画策定までにかかる費用の一部を支援

対象者：中小企業等であって、県内に事業所等を有する事業者

対象事業：ア CO2排出量削減中長期計画策定事業

イ CO2排出量削減対策実行計画策定事業

ウ 脱炭素対応を踏まえた製品広告計画策定事業

補助率：1/2以内（上限100万円）

補助対象経費のイメージ：CO2排出量の見える化にかかるソフトウェア導入費・クラウドサービス利用料

削減余地診断・再エネ導入検討等の費用

算定結果・目標設定の妥当性評価に係る費用

計画策定までの支援機関等によるコンサル費用

②県内事業者の成長支援

[11] 成長志向創業者支援（企業振興課）

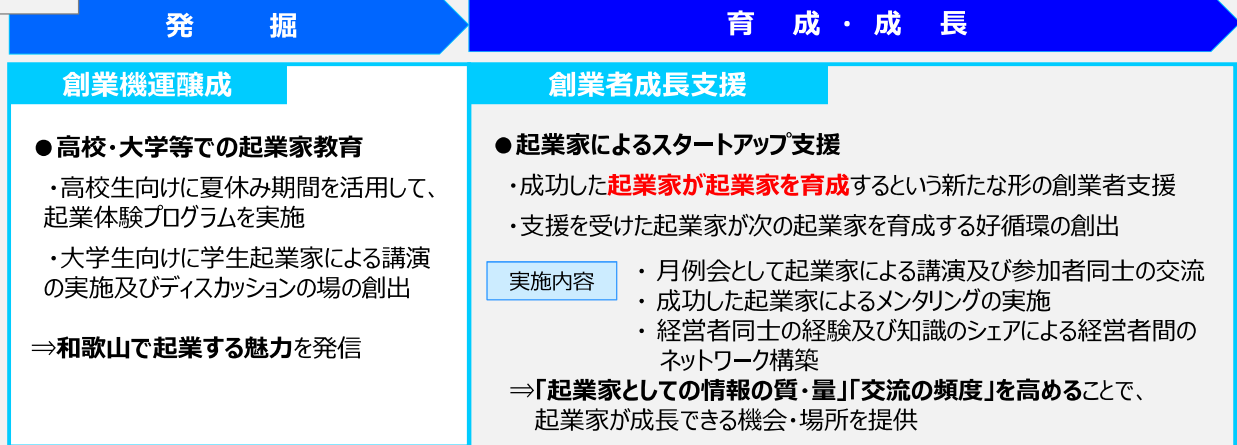
ポイント

- 成功した起業家が和歌山で起業する魅力を発信し、起業ニーズを掘り起こし
- 「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、アントレプレナーシップを持つ起業家を成功した起業家が育成・支援

予算額

・ 令和5年度	20,000 千円
・ 令和4年度	20,000 千円

概要



事業成長を**加速させ**
和歌山から日本・世界を**熱くする**

[12] スタートアップオフィス（企業振興課）

ポイント

起業準備から起業、自立発展までの各段階における起業家を総合的に支援

予算額

・ 令和5年度	16,482 千円
・ 令和4年度	16,482 千円

概要

起業家支援施設を整備し、起業準備から、起業、自立発展段階まで、県内での起業を支援

名称	わかやまビジネススクエア (和歌山市中649-2-1 グリーンプラネットハウス3階)	和歌山県立情報交流センター (Big・U) SOHOブース (田辺市新庄町3353-9 Big・U 1階)
賃料 (月額)	23,700円 (税込、共益費を含む)	10,450円 (税込、共益費別途)
部屋面積	22.62㎡	24㎡
部屋室数	25室	6室

※消費税率の変動に伴い、賃料が変更となる可能性があります。

○入居資格

- ・ 和歌山県内で新たに起業しようとする方
- ・ 起業して3年未満の方、または事業者
- ・ 新分野への進出や新分野での研究開発に取り組む事業者
- ・ 県外から初めて和歌山県に事業所を設置する事業者（わかやまビジネススクエアのみ）



部屋の活用事例（ビジネス）



外 観 (Big・U)

現況等

【入居企業例】

施設には、システム開発企業や経営コンサルタント等、事業化に向けて意欲の高い事業者が入居している。OB・OGの中には、東証グロース上場やNEDO事業採択など、大きな飛躍をした企業がある。

[13] 地域課題解決型起業支援（企業振興課）

ポイント

それぞれの地域にある課題を解決する「新たな起業」を支援

予算額

・令和5年度	102,120 千円
・令和4年度	98,120 千円

概要

創業準備

わかやま創業スクール

創業希望者が、事業経営に必要な「知識」「スキル」を実践的に習得するための講座を開催



県内で起業予定の方が対象

創業支援経験豊富な創業支援に知見のあるマネージャーによるプロデュース

講義形式だけでなく、ワークショップ形式を数多く行うことで、受講者同士の活発な議論を促進

創業

わかやま地域課題解決型起業支援補助金

県内で地域課題解決型のビジネスを起業する者に対し、最大で200万円補助



※和歌山県移住者起業補助金及び和歌山県移住支援補助金の別途上乗せ補助あり

※R3から起業以外に事業承継・第二創業も一部対象

ふるさと納税型クラウドファンディング

わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択者のうち希望する者に対して、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングにより、さらなる資金調達支援を実施



創業直後

補助金採択者への伴走支援

わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択者に対して、創業支援に知見のあるマネージャーを中心に、資金繰りや商品PR方法など、創業者ならではの課題や悩みなどを解決する体制を構築



[14] わかやまスタートアップ創出（産業技術政策課）

ポイント

気運醸成・創業者発掘から、スタートアップ創出支援チームによる全国展開サポート等までの切れ目のない支援を実施

予算額

・令和5年度	2,701 千円
・令和4年度	2,824 千円

概要

スタートアップ創出支援チーム



マッチングイベントの様子

マッチングイベント

スタートアップ創出支援チームによるハンズオン相談

- 志高いビジネスプランを有する創業者を対象に、更なる事業展開・拡大を目指して、スタートアップ創出支援チームが包括的にサポート
- チームとのマッチングのため、マッチングイベント（令和5年9月頃）を実施予定

[15] 先駆的産業技術研究開発支援（産業技術政策課）

ポイント

- 県内事業者で先駆的産業技術の研究開発を行う事業者に対し、上限2,000万円、最長3年間の事業期間の補助金により支援
- 新たな商品やサービスを生み出すことを目的とし、先端技術の社会実装や高付加価値化に向けた実証実験等を支援

予算額

・ 令和5年度	199,931 千円
・ 令和4年度	138,564 千円

概要

先駆的産業技術研究開発

事業者、大学及び高等研究機関等が保有する技術シーズを活用して、商品化に向けた技術を確認するための**事業者単独の研究開発事業**又は**公設試等との共同による研究開発**を支援します。

- 補助金額：2,000万円以内／件
- 補助対象期間：最長3年間。複数年でも1件の上限は2,000万円。
- 補助率：2／3以内
- 補助対象経費のイメージ：研究に要する人件費、旅費、報償費、委託費等

先端技術社会実装

和歌山県内に事業所を有する企業が、新たな商品やサービスを生み出すことを目的とし、先端技術の社会実装や高付加価値化に向けた実証実験等を支援します。

[16] わかやま地場産業ブランド力強化支援（企業振興課）

ポイント

県内地場産地の企業における、企画・提案型へのビジネス展開を支援

予算額

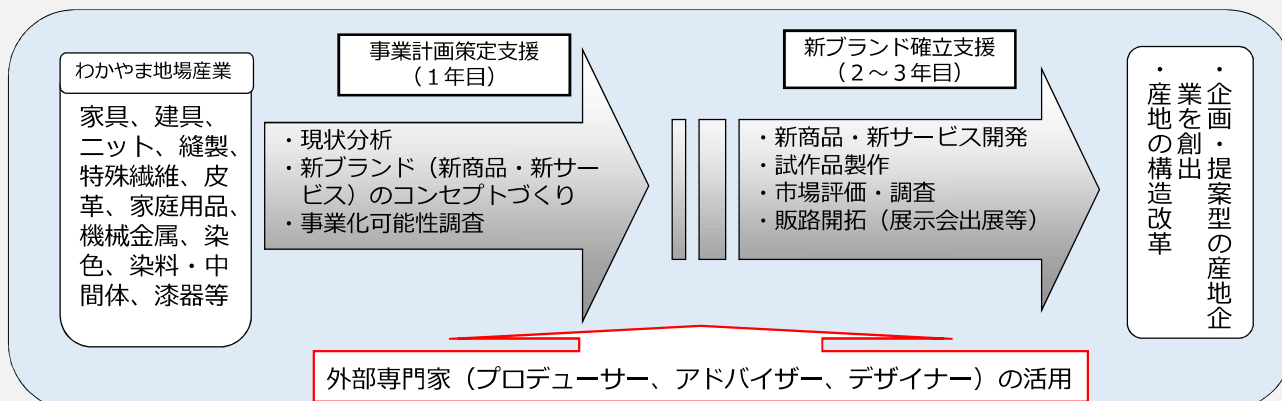
・ 令和5年度	92,482 千円
・ 令和4年度	100,482 千円

概要

- 新たなブランドづくりのための事業計画策定、試作品開発から販売促進までの取り組みを最長3年間支援
- 外部人材（プロデューサー、アドバイザー、デザイナー等）を活用した取組体制を構築

○ 補助限度額・補助率

- ・ 3年間の補助限度額
企業（単体）：10,000千円
企業グループ：20,000千円
- ・ 補助率：3分の2以内



支援実績 (採択数)

令和4年度：10企業 令和3年度：9企業 令和2年度：10企業1グループ

[17] わかやま中小企業元気ファンド・わかやま農商工連携ファンド（企業振興課）

ポイント

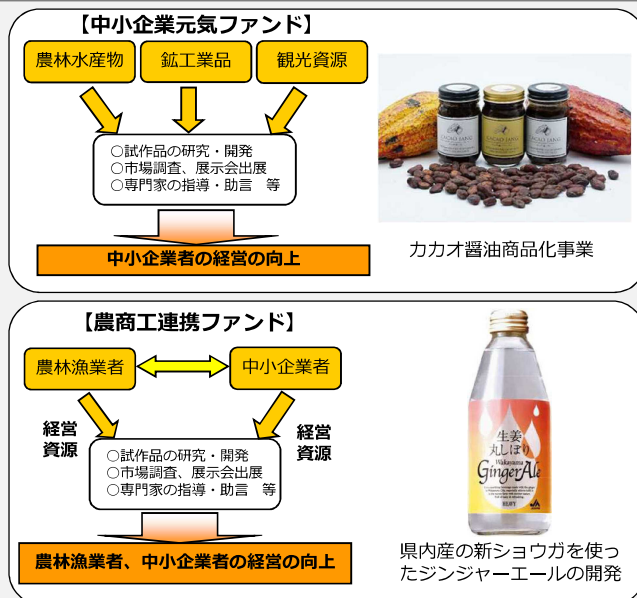
- わかやま中小企業元気ファンド
「地域資源」を活用した新商品や新サービスの開発、販路開拓などを支援
- わかやま農商工連携ファンド
農林漁業者・中小企業者等との連携を活かした新商品・新サービスの開発を支援

予算額

- ・ 令和5年度 57,000 千円程度
(運用益及び県補助金)
- ・ 令和4年度 57,000 千円程度
(運用益及び県補助金)

概要

- わかやま中小企業元気ファンド
県内中小企業者等が行う「地域資源（農林水産物、鉱工業品、観光資源）」を活用した新商品や新サービスの開発、販路開拓などの取り組みを支援
 - ・ 対象者 : 創業者、県内中小企業者、NPO法人
 - ・ 補助額 : 500千円以上6,000千円以内
 - ・ 補助率 : 2/3
 - ・ 補助期間 : 当該年度2月末まで
 - ・ 募集期間 : 12月頃
- わかやま農商工連携ファンド
農林漁業者と中小企業者等が連携（農商工連携）し、それぞれの経営資源を有効活用した新商品・サービスの開発、販路開拓などを支援
 - ・ 対象者 : 県内に事業所を有する中小企業者等と農林漁業者との2者以上の連携体
 - ・ 補助額 : 500千円以上3,000千円以内
 - ・ 補助率 : 2/3
 - ・ 対象期間 : 当該年度2月末まで
 - ・ 募集期間 : 12月頃



[18] 和歌山県事業再構築チャレンジ補助金（商工観光労働総務課）

ポイント

和歌山県内に事業所を有する中小企業者等が取り組む
新分野参入や業種・業態転換等の事業再構築を支援

予算額

- ・ 令和5年度 1,200,000 千円
- ・ 令和4年度 一 千円

概要

県内に事業所を有する中小企業者等が取り組む、新分野参入や、業種・業態転換等の事業再構築を支援し、持続的な事業運営や成長拡大の後押しします。

- 補助内容 事業再構築の取り組みに要する経費を支援
- 対象者 以下の①又は②のいずれかの事業者
 - ①和歌山県に本社を有する中小企業者等及び中堅企業等
 - ②県内に補助事業を実施する事業所を有する中小企業者等及び中堅企業等
- 対象経費 建物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、研修費等（一部の経費には制限あり）
- 事業類型 新分野展開、事業転換、業種転換、業態転換、事業再編
- 補助率 中小企業者等：補助対象経費の3分の2以内 中堅企業等：補助対象経費の2分の1以内
- 補助金額 100万円（下限）～1000万円（上限）
- 問合せ先 和歌山県事業再構築チャレンジ補助金事務局 TEL：0120-009-813

専用ポータルサイト



<https://www.wakayama-rebuild.jp>

活用イメージ

新分野展開

家電用部品製造事業者

▶ 新たな生産設備を導入し、**航空・宇宙エンジン部品事業の製造**を開始

事業転換

観光バス事業を展開する事業者

▶ 新たに利用者が見込まれる**高齢者施設向けの送迎サービス**を開始

業種転換

旅館を経営していた事業者

▶ 旅館の客室の大半を**コワーキングスペースに改修し、新たに運営**を開始

業態転換

飲食店を営む事業者

▶ コロナの影響で客足が遠のいた**店舗の一部を縮小し、非対面式の注文システムを活用したテイクアウト販売**を新たに開始

[19] 和歌山ものづくり文化祭（企業振興課）

ポイント

ものづくり企業・産地の魅力を発信するオープンファクトリーを支援

予算額

・ 令和5年度	5,000 千円
・ 令和4年度	— 千円

概要

●和歌山ものづくり文化祭

●「ものづくりの未来を創る、体験と学び」をテーマに、2022年に初開催した「和歌山のものづくり文化祭」を一層魅力的なコンテンツに成長させ、県内外にその魅力を発信することを強力に支援

●2023年開催予定

日時：2023年12月2日（土）、3日（日）
場所：和歌山城ホール

●2022年開催実績

日時：2022年11月5日（土）、6日（日）
場所：和歌山城ホール
出展企業数：20社（16ブース）
来場者数：5,803人

●オープンファクトリー概要・効果

●ものづくり企業が生産現場や職人たちの技術を外部に公開することで、企業の技術力の高さや製品をPRする取組。

●ワークショップを通じた「ものづくりの体験」を提供することで、企業・製品自体をブランディングし、他社や他地域との差別化を図ることができる。



[20] デザイン経営価値共創支援（企業振興課）

ポイント

企業・商品のファン作り、他社との差別化を行うために、「デザイン経営」という経営手法を用いて、企業価値・商品価値を向上させたい県内企業を支援

予算額

・ 令和5年度	17,360 千円
・ 令和4年度	17,360 千円

概要

キックオフ&セミナー

●キックオフイベント

・デザイン経営を実行することが企業の価値向上に繋がることを知る

●セミナー

・デザイン経営の概要やフレームワークについて学ぶ

マッチング

●デザイナーとのマッチング

・価値を具現化するために必要なデザイナーとのマッチング

ハンズオン支援

●デザイン経営ワークショップ

・デザイナーと協働して、デザイン経営を自社に導入するための計画づくり

●ハンズオン支援

・ハイレベルなアドバイザーによるフォローアップ、個別支援・プロデュース

自社のビジョンやコンセプトをデザインのかで一貫性をもって構築
→次のステップで、商品開発や販路開拓を実施

●わかやま中小企業元気ファンド

●「地域資源」を活用した新商品や新サービスの開発・販路開拓等を支援

●わかやま地場産業ブランド力強化支援

●新ブランド確立のための事業計画策定から試作品開発、販売促進までを支援

[21] ヘルスケア産業創出（企業振興課）

ポイント

「健康長寿日本一わかやま」の実現に必要な健康
寿命延伸産業の創出・振興

予算額

・ 令和5年度	963 千円
・ 令和4年度	963 千円

概要

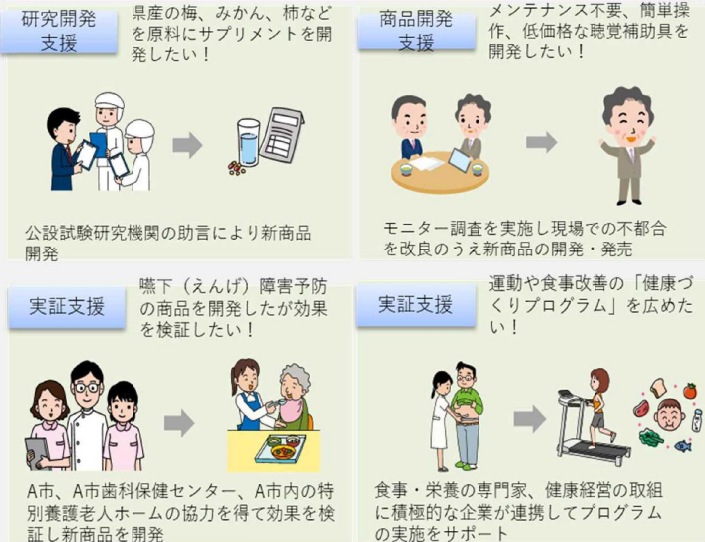
わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム

企業 医療・介護関係者 大学 金融機関 行政

- 設立
平成29年10月
- 会員数
123（令和5年3月末現在）
- 主な事業内容
 - ・会員による取組の情報発信・成果発表
 - ・県外企業によるヘルスケア分野参入成功事例の紹介
 - ・会員のニーズ・シーズのマッチング支援
 - ・会員のビジネスプラン提案と実現に向けたマッチング支援

プラットフォーム活動の具体例（イメージ）

産官学金の幅広いネットワークで商品開発～実証まで支援



[22] クラウドファンディング活用支援（商工振興課）

ポイント

- クラウドファンディングの活用を支援
- 中小企業の新事業展開、創業・第二創業を支援

予算額

・ 令和5年度	一 千円
・ 令和4年度	一 千円

概要

1 プロジェクト認定によるPR

- ・クラウドファンディングを活用し資金調達を開始する優れた事業計画を県支援対象プロジェクトとして認定し、成功に向けて広報面で支援

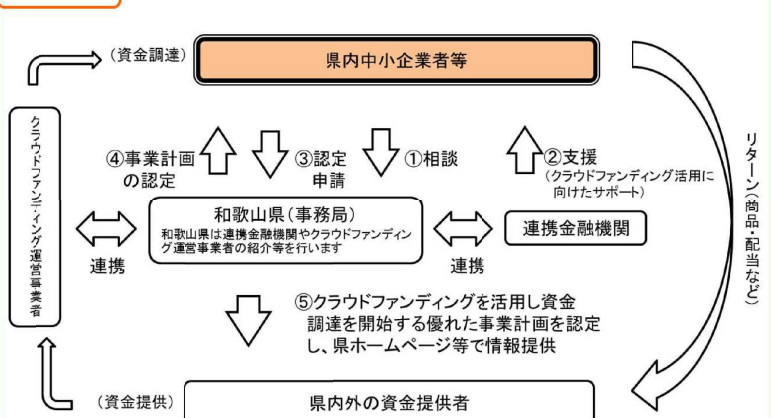
2 県融資制度による支援

- ・認定を受けた事業者により優遇金利で融資（新規開業資金・成長サポート資金に設定）

3 支援機関と連携したサポート

- ・連携金融機関とともにクラウドファンディングの活用を支援
- ・必要に応じてクラウドファンディング運営事業者を紹介

事業スキーム



[23] 販売力強化支援（企業振興課）

ポイント

首都圏での販路開拓を計画している県内中小企業に対し、無料営業拠点の提供と、専門家による販路開拓支援を実施

予算額

・ 令和5年度	4,074 千円
・ 令和4年度	4,073 千円

概要

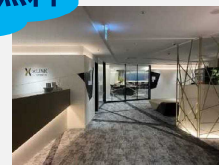
名称	わかやまビジネスサポートセンター (東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル 3階xLINK大手町)
最寄り駅	JR東京駅（丸の内北口）徒歩2分
利用時間	午前8時～午後9時（平日）
入居企業	最大10社
使用料	無料

オフィス使用料 無料

・ 東京駅徒歩2分

・ 商社OBによる販路開拓支援

・ 財団IMによる無料相談



サポートセンター内部



外観

○入居資格

1. 県内に本店がある、中小企業基本法第2条第1項に定める中小企業者
2. 首都圏に支店や営業所等の活動拠点を有していないこと
3. 県税(個人県民税及び地方消費税を除く。)及び地方法人特別税の未納がないこと

入居企業の実績（平成23年～）

過去の入居企業数 46社

【実績例】

A社は首都圏に2カ所拠点（営業所兼店舗1、店舗1）を展開

B社は首都圏での売上を1千万円伸長させるとともに、製品取扱店舗数を100店舗増加

[24] 和歌山産品販促支援（企業振興課）

ポイント

見本市や商談会の開催など県内企業の積極的な販促活動を支援

予算額

・ 令和5年度	98,801 千円
・ 令和4年度	89,903 千円

概要

国内外の著名な展示会への集団出展や商談会の開催などの販促活動を支援

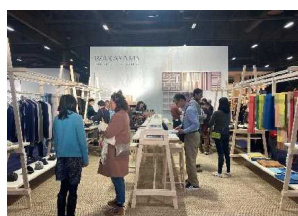
○海外販売戦略

- ・ 業界・出展地域を絞った著名な海外展示会への集団出展を支援
- ・ 海外の専門展示会への個別出展を支援

○国内販売戦略

- ・ 国内の専門展示会への集団、個別出展
- ・ 販売戦略策定、市場調査を支援
- ・ 大企業との商談会の開催

海外



メゾン・エ・オブジェ
オンライン見本市「MOM」

国内



京都インターナショナル・
ギフト・ショー

新たな販路・取引先の開拓

市場動向の把握・情報収集

自社製品や技術の位置づけを再認識

現況等

R4 海外：集団出展 ミラノウニカ（出展中止）、SHOPPE OBJECT（出展中止）、タイ・メタレックス（出展中止）、メゾン・エ・オブジェ、タイ・STYLE BANGKOK
個別出展 The Inspired Home Show、ブルミエールヴィジョン、アリババ・オンライン展示会、ペットフェアSEアジア
国内：集団出展 機械要素技術展（東京、大阪）、東京インターナショナル・ギフト・ショー秋、京都インターナショナル・ギフト・ショー、サステナブルグッズEXPO
市場調査支援・販売力向上支援・マッチング支援、わかやま産品商談会開催、大企業との商談会（開催中止）

[25] わかやま産品魅力再発見（企業振興課）

ポイント

三越伊勢丹のギフト特化型ECサイト【MOO:D MARK by ISETAN】
※において、県産品のブラッシュアップやバイヤーが掘り起こした県産品の販売及びプロモーションを実施
(※20～30代の若年層をメインに、ギフト商品を提供するオンラインサイト)

予算額

・令和5年度	6,650 千円
・令和4年度	6,650 千円

概要

○ブラッシュアップした商品、バイヤーセレクトの県産品の販売・プロモーションの実施

事業者

- ① めざしたいこと、挑戦したいこと、作りたいものをバイヤーに伝える
- ② 自らが持つ技術を生かした商品開発、ものづくりを実行する
- ③ バイヤーに課題を共有する（無理をして商品をつくらない）
- ④ 自ら商品を宣伝する

三越伊勢丹 (MOO:D MARK by ISETAN)

- ① マーケットトレンドや、顧客ニーズなどの情報を提供する
- ② 事業者のゴールイメージに必要な情報やノウハウを提供し、アドバイスをする
- ③ 取り組みをお客さまに伝えるための宣伝をする
- ④ 事業者、商品を知り、学び、販売をする

参画事業者の募集・決定

業務委託契約

県

〔令和4年度ブラッシュアップ商品〕



ウッドレジボールペン



花器



きわのうめぼし



THANKS BEER SET

(R5.4.1以降も、同サイトで販売継続中)

[26] 優良県産品（プレミアム和歌山）振興（企業振興課）

ポイント

優良県産品（プレミアム和歌山）のブランド化及び販売促進活動の推進



予算額

・令和5年度	43,228 千円
・令和4年度	50,037 千円

概要

- 優良県産品をプレミアム和歌山推奨品として認定
- プレミアム和歌山の認知度を向上させ、販売促進活動を積極的に展開

ブランド化の推進

- 首都圏でのプレミアム和歌山PRイベントの開催
首都圏のメディア、バイヤーに向け、プレミアム和歌山を使用した試食料理を提供するなど、PR活動を展開
- プレミアム和歌山パートナー（文化人等）によるブランド化の推進
各界に影響力を発揮できるプレミアム和歌山パートナーの協力を得て、プレミアム和歌山のブランド化を図る
- プレミアム和歌山プロモーションの強化
大規模イベント開催に伴う出展や、インスタグラムなどSNSの活用によるプロモーションの強化

販売促進

※農林水産部 食品流通課実施

- プレミアム和歌山の新販売ルートの開拓及び販売促進
 - ・首都圏等での展示会・商談会等に出展し、新たな販路を開拓
 - ・首都圏等での物産店舗・百貨店等に出店し、認知拡大及び販売を促進

[27] 新たな官民連携の推進（商工観光労働総務課）

ポイント

地域の活性化に資する施設等の整備を促進するため、官民連携事業の取組を推進

予算額

・ 令和5年度	11,744 千円
・ 令和4年度	11,744 千円

概要

1. わかやま版PFIの推進

◎わかやま版PFIとは

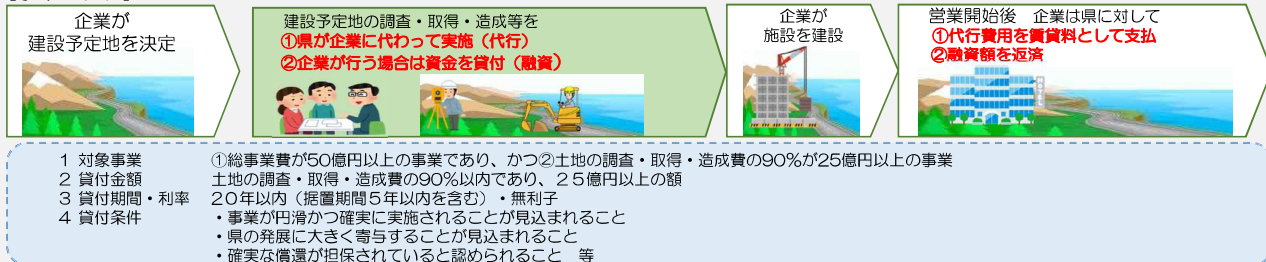
地域の活性化に資する施設の整備を促進するため、初期投資の軽減を図り、企業の参入を促す新たな官民連携の支援制度

- (1) 県が企業に代わり建設予定地の取得・造成等を行い、企業にその土地を貸付（代行）
(2) 企業が行う建設予定地の取得・造成等に対し資金を貸付（融資）

【対象施設】

- (1) 高級ホテル・旅館等
(2) 雇用機会の創出や地域の活性化に寄与すると特に知事が認める施設

【事業の流れ】



▲わかやま版PFI貸付制度活用
小型ロケット射場誘致（串本町）

2. 官民連携事業の推進

◎官民連携プラットフォームの運営

県内における官民連携事業を推進するため、産官学金（民間事業者、行政、大学、金融機関等）が参画する「官民連携プラットフォーム」を運営することにより、公的不動産の再活用、商業施設の併設、施設の運営・維持管理におけるコスト削減、サービス向上等PPP/PFIに関する知識・ノウハウの習得を図る



③ 企業誘致の促進

[28] ベンチャー企業誘致（産業技術政策課）

ポイント

高成長が見込まれる県外のベンチャー企業を誘致するため、ベンチャー企業向けの奨励金制度を制定・運用

予算額

・ 令和5年度	4,716 千円
・ 令和4年度	4,404 千円

概要

- 県内の起業気運の醸成、本県のイノベーションの促進及び雇用の拡大に資するため、県外からベンチャー企業を誘致
- ベンチャー企業にとって魅力的な制度とするため、従来の「企業立地促進対策助成」における、雇用人数要件や売上高要件等を緩和した新たな奨励金制度を制定
- 交付要件の充足具合により奨励金額に上限あり（5千万円～90億円）

○誘致対象となる企業

- ・ 県外に所在する企業
- ・ 創業10年未満の企業
- ・ スタートアップ創出支援チーム※1等のベンチャーキャピタル
- ・ ※2等支援機関から「出資」を受けた企業

※1：[22] わかやまスタートアップ創出を参照

※2：新産業を創出するベンチャー企業に対し資金を提供し、ベンチャー企業の企業価値向上の支援を行う企業

対象企業

- ・ 知事が認めるベンチャーキャピタル（VC）などからの投資
- ・ 創業10年未満

誘致施設

- ・ 工場
- ・ オフィス／研究施設

交付要件

- ・ 新規雇用の総数が1人以上（地元・転入）

奨励金・補助金の内容

- 新規雇用奨励**
- ・ 原則30万円／人
- 立地奨励**
- ・ 投下固定資産額×10%
- 移転奨励**
- ・ 本社部分の投下固定資産額×30%

- 新規雇用奨励**
- ・ 30万円／人
- 立地奨励**
- ・ 投下固定資産額×30%
- 補助金**
- ・ 通信、オフィス賃借、航空運賃の50%を補助

[29] ICT企業誘致の推進（企業立地課）

ポイント

ICT企業の更なる集積を図るため、和歌山県のビジネス環境や生活環境の良さをPRして積極的な誘致活動を実施

予算額

・令和5年度	4,695 千円
・令和4年度	4,695 千円

概要

I. 「New Work × Life Style」の提唱による誘致

- 和歌山県の「ビジネス環境の強み」と「生活環境の強み」を活かした、新たな職と住の在り方「New Work × Life Style」を提案することで、本県への誘致を加速

II. ICT企業への戦略的プロモーション

- Web会議を活用した企業面談や誘致対象企業への重点的・継続的な企業訪問
(※県東京事務所に企業誘致担当職員2名を配置)
- Webサイト、動画、SNS等を活用した効果的なPRを実施

III. ICT人材の確保支援

- 和歌山大学、近畿大学等県内教育機関と連携し、誘致企業の人材確保をサポート
- Webツール等を活用しつつ、県内外の学生や海外人材をターゲットとした企業説明会を開催

職×住



アフターコロナ時代の職と住の在り方
New Work × Life Style



企業と県内教育機関との意見交換の様子

[30] 企業立地促進対策助成（企業立地課）

ポイント

全国有数の奨励金制度により、県内への企業立地を促進

予算額

・令和5年度	1,470,620 千円
・令和4年度	1,513,937 千円

概要

本県産業の振興及び雇用の安定拡大に資するため、県内に立地する企業と協定を締結し、操業1年後の実績に応じて奨励金を助成する。

工場

- 雇用奨励金（限度額1～10億円）
新規地元雇用者等（※1）1人あたり30～50万円（3年間適用）
 - 立地奨励金（限度額2～90億円）
投下固定資産額×10%（※2）
 - 本社機能移転奨励金（限度額1～3億円）
本社部分の投下固定資産額×30%
- 条件：投下固定資産額1億円以上（土地は除く）で、新規地元雇用者（正社員）と転入雇用者（正社員）の総数10人以上。
うち新規地元雇用者5人以上
なお、紀中・紀南地域における特定業種は、投下固定資産額5千万円以上（土地は除く）で、新規地元雇用者（正社員）と転入雇用者（正社員）の総数5人以上とする。
- （※1）新規地元雇用者等：新規地元雇用者及び転入雇用者
（※2）投下固定資産額が200億円を超える部分に対して乗じる率は5%
備考：増設にかかる立地奨励金は、1億円を限度とする

試験研究施設・オフィス施設

- 雇用奨励金
新規地元雇用者等（※1）1人あたり30万円（3年間適用）
 - 立地奨励金（投下固定資産額等1000万円以上のみ）
投下固定資産額等×30%
 - 通信補助金
通信回線使用料×50%（3年間適用）
 - オフィス賃借補助金
オフィス賃借料×50%（3年間適用）
 - 航空運賃補助金
業種・利用区間（東京～南紀白浜空港又は関西国際空港）により、航空運賃の1/2又は定額を補助（3年間適用）
 - 人材確保補助金（情報関連事業のみ）
(1)求人広告費×50%（1年間適用）
(2)人材紹介手数料×50%（1年間適用）
(3)インターネットによる求人情報・求職者情報提供（人材データベース等）サービス利用料×50%（1年間適用）
- 条件：新規地元雇用者（正社員）と転入雇用者（正社員）の総数3人以上
ただし、和歌山市へ立地する場合は5人以上
（※1）新規地元雇用者等：新規地元雇用者及び転入雇用者

<対象企業の条件>

正社員2人以上で、正社員一人あたり売上が2000万円以上（試験研究施設・オフィス施設は1200万円以上）

現況等

■近年の協定実績 令和2年度・・・10件、3年度・・・9件、4年度・・・13件

[31] 宿泊施設の誘致（サービス産業立地室）

ポイント

県外・海外の企業等に対するプロモーション活動を実施し、高級宿泊施設等の誘致をはじめとする本県サービス産業への投資を促進

予算額

・令和5年度 34,126 千円

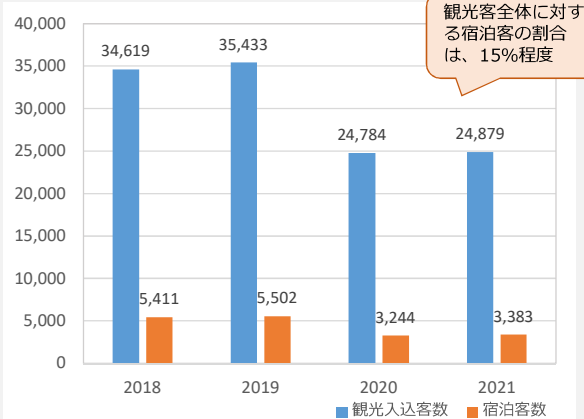
・令和4年度 62,660 千円
(企業立地対策助成1,513,937千円の内数)

概要

- 県内を訪れる観光客の多くが日帰り客という現状を踏まえ、新たな魅力ある宿泊施設の開設を進めるために、県外・海外の企業等に対しプロモーション活動を実施
- 特に高級宿泊施設の立地を対象に、一定の要件の下、奨励金を交付

【観光入込客総数に対する宿泊客数の状況】

単位：千人



【和歌山県宿泊施設開設促進奨励金制度】

一定の要件を満たす高級宿泊施設を対象に、関係企業に奨励金を交付する制度

種別	雇用奨励金	立地奨励金
交付対象企業	宿泊施設における従業員を雇用した企業	宿泊施設における建物や設備に投資を行った企業
奨励金の額	宿泊施設における雇用従業員数×30万円	宿泊施設の新設等に伴う建物及び償却資産の取得に要する費用、用地の造成及びインフラ整備等に要する費用の10%
限度額	10億円	

[32] あやの台北部用地開発（企業立地課）

ポイント

- 企業誘致の推進に向け、あやの台北部用地を共同開発
- 開発当初から分譲価格（目安）を公表し、早期に企業のニーズに対応

予算額

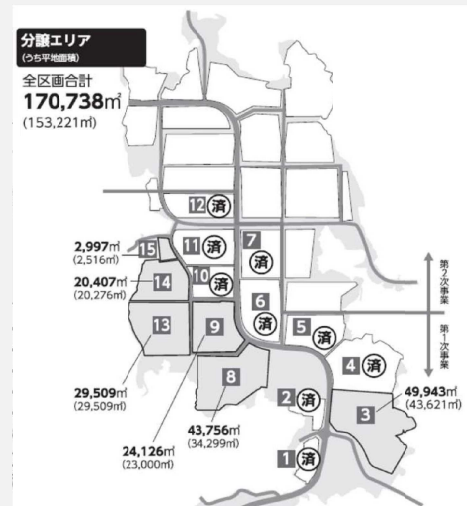
・令和5年度 1,448,611 千円

・令和4年度 676,458 千円

概要

県、橋本市、南海電気鉄道(株)の3者でニーズの高い大規模内陸型工業用地を共同開発し、企業誘致を推進

所在地	橋本市隅田町
分譲開始	2024年度～
分譲価格	29,000円/㎡（目安）
上水道	650㎡/日（区画全体）
用途地域	工業地域 ※特別用途地区
容積率	200%
建ぺい率	60%



④観光産業の発展

[33] 世界遺産等推進（観光振興課）

ポイント

「弘法大師御誕生1250年(R5)」 「世界遺産登録20周年(R6)」を契機とした、大阪・関西万博を見据えた誘客促進

予算額

・ 令和5年度	46,974 千円
・ 令和4年度	53,405 千円

概要

■弘法大師御誕生1250年

- ◇ 高野山にゆかりある歌舞伎関連の特別イベントの開催
- ◇ 弘法大師空海ゆかりの3霊跡を巡るスタンプラリーの実施
 - ・ 善通寺、教王護国寺（東寺）、金剛峯寺の3霊跡の広域周遊を促進
 - ・ 弘法大師ゆかりの地と連携したプロモーション

■世界遺産登録20周年

- ◇ 令和の熊野詣（熊野古道ウォーク）の推進
 - ・ 旅行商品造成の促進
 - ・ 熊野詣出立の地である京都でのイベント開催
- ◇ 20周年に向けた機運醸成のプレイベントの実施
 - ・ 「高野・熊野夢舞台」コンサートの開催
 - ・ 首都圏でのシンポジウムの開催
- ◇ レール&ウォーク、ロングトレイルの推進
- ◇ メタバス空間の制作及び誘客促進
 - ・ 参詣体験など「旅の入口」が体験できるメタバス空間を制作し、熊野エリア周辺等の興味関心を促進



[34] 「アウトドア観光」推進（観光振興課）

ポイント

和歌山の豊かな自然を活かしたキャンプやアクティビティ等、和歌山ならではの“ほんまもん”アウトドアスタイルを発信

予算額

・ 令和5年度	21,580 千円
・ 令和4年度	26,480 千円

概要

■誘客促進

- ◇ 和歌山独自のキャンプスタイルの発信
 - ・ 和歌山ならではの観光コンテンツと食材を活かした和歌山独自のキャンプスタイルを創出することで、わかやまキャンプのブランド力の強化を図る
- ◇ 県内事業者等と連携したキャンプ及びアクティビティイベントの開催



■情報発信

- ◇ アウトドア観光ポータルサイト等による情報発信
 - ・ 「わかやまほんまもんキャンプ」及び「わかやまほんまもん遊び」等を活用した情報発信の実施

■周遊促進と滞在期間延長

- ◇ わかやま・まるごとスタンプラリーの充実
- ◇ SNSを活用したアウトドア観光周遊企画の展開

■観光素材の魅力向上

- ◇ 県内キャンプ場関係者や体験事業者向けセミナーなどの開催



[35] 「温泉・グルメ」で満喫、わかやま（観光振興課）

ポイント

「温泉」と「食」は旅の重要な要素であり、本県の特
色ある温泉や 地元食材をPRし、滞在期間の延長や消
費額増加につなげる

予算額

・ 令和5年度	7,300 千円
・ 令和4年度	2,500 千円

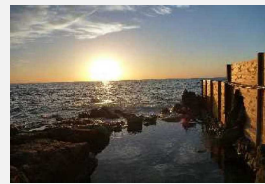
概 要

■わかやま温泉ガストロノミー（仮）の提案

- ◇ 地域の食文化を体験できるメニューの造成促進（ほんまもん体験）
- ◇ 温泉と食を組み合わせたプランの提案・磨き上げ
 - ・ 県内の協議会や温泉宿泊施設等と連携し、温泉と食を組み合わせたプランを特集ページで紹介し、販売状況等の検証を踏まえた磨き上げを行う

■温泉ブランド力の強化に向けた情報発信

- ◇ 全県的な温泉PR
- ◇ メディア等を活用したプロモーション
 - ・ テレビ、WEB、SNSなどを活用し、県内温泉地のブランド力向上に向けた情報発信
- ◇ エージェントプロモーション



■滞在時間の延長に向けた周遊促進

- ◇ 温泉モバイルスタンプラリーの実施（令和5年3月24日～8月31日）
 - ・ 温泉に特化した期間限定の特別キャンペーン企画として実施
- ◇ 和みわかやまっぷ with スタンプラリー 3rd seasonの実施（令和5年3月24日～令和6年2月29日）
 - ・ 飲食店や土産物店等をクーポン利用でお得に周遊できる通年企画との連動

[36] サイクリング王国わかやま（観光振興課）

ポイント

地域周遊につながるサイクリングを活かし、持続可能
な観光地づくりのため、「サイクリング王国わかや
ま」を発信

予算額

・ 令和5年度	19,276 千円
・ 令和4年度	29,276 千円

概 要

■サイクリングによる周遊促進

- ◇ 「大阪・関西万博」を見据えたサイクリスト向け周遊企画の実施
 - ・ 大阪泉州地域と和歌山県をつなぐサイクリングコース設定と情報発信
- ◇ 鉄道駅を起点とした周遊サイクルコースの提案
 - ・ JR西日本や旅行会社と連携し、サイクリングによる周遊企画の実施に向けた調整
- ◇ モバイルスタンプラリーの実施
 - ・ おすすめ周遊コースの紹介
 - ・ 太平洋岸自転車道との連携
- ◇ サイクリングイベント等を実施する民間事業者等への支援



■情報発信・誘客プロモーション

- ◇ JRきのくに線サイクルトレインとの連携
- ◇ 自転車専門誌・WEBでの情報発信
- ◇ 公共交通機関各社と連携したPR
 - ・ JR、南海（フェリー含む）、阪急阪神HD等と連携し、「京阪神エリア」で情報発信

■安心・安全なサイクリング環境の整備

- ◇ サイクルステーションやサイクリストに優しい宿の拡充
- ◇ 案内看板・路面標示の充実（県土整備部）
- ◇ 太平洋岸自転車道の整備（県土整備部）



[37] 国際観光推進（観光交流課）

ポイント

外国人観光客の誘致促進

予算額

・令和5年度	246,705 千円
・令和4年度	126,278 千円

概要

■インバウンドの本格的な再開が見込まれるため、好機を逃すことなく外国人観光客を誘致

- 海外現地・在日の旅行社・メディアへの訪問、招聘による下見・取材支援
- 旅行博・商談会への出展及びセールスコール
- 海外有力OTAや航空会社と連携したプロモーション
- リニューアルした公式多言語ウェブサイトやSNSを通じた情報発信
- 観光プロモーターを活用した情報発信及びセールス活動
- 「大阪・関西万博」を見据えた外国クルーズ船や国際チャーター便誘致



海外メディア招聘



公式ウェブサイト



公式SNS



観光プロモーター

[38] 教育旅行誘致推進（観光交流課）

ポイント

体験交流型プログラム「ほんまもん体験」を活用し、本県への修学旅行・教育旅行誘致活動を展開

予算額

・令和5年度	40,636 千円
・令和4年度	17,561 千円

概要

○修学旅行・教育旅行の誘致推進

- 【国内】〔県外校〕旅行会社や学校を直接訪問するローラー作戦を展開（近畿圏、中京圏、首都圏）
〔県内校〕県内教育関係者に県内を目的地とした修学旅行の実施を働きかけ
- 【海外】インバウンドの回復が本格化することから、受入環境の整備及び誘致活動を推進

○教育旅行受入に関するサポート

- 【国内】旅行プランづくりの支援、事前学習の支援
下見のための現地視察の支援 など
- 【海外】学校交流先のマッチング、学校交流での受入支援 など

○企業版ふるさと納税活用事業

寄付金を活用し体験メニューの充実等に支援



[39] 外国人観光客受入環境整備（観光交流課）

ポイント

- 飲食店の多言語対応推進
- 高野・熊野地域通訳案内士の育成
- 一体的・面的な観光資源の整備
- インバウンド対応した体験コンテンツの開発

予算額

・ 令和5年度	46,113 千円
・ 令和4年度	55,668 千円

概要

飲食店の多言語対応推進

★飲食店が多言語メニューを作成するための支援システムや多言語対応飲食店検索ウェブサイトを構築



地域通訳案内士の育成

★高野・熊野で活動する通訳ガイド（地域通訳案内士）を育成するための研修を実施



■ 4言語での育成
英語
中国語
フランス語
スペイン語

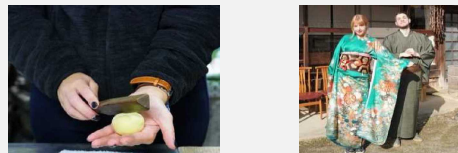
観光施設整備補助

★市町村が実施する一体的・面的な観光資源の整備を支援（公衆トイレ、多言語案内表示、Wi-Fi環境など）



体験観光インバウンド対策補助

★外国人目線でのコンテンツ開発等への支援制度を創設するとともに情報発信を強化



[40] 外国人観光客受入環境高度化（観光交流課）

ポイント

- 交通・観光のデジタル化による周遊観光の促進
- 公共交通機関等を活用した移動環境の整備を推進
- 自然災害時における対応能力の強化

予算額

・ 令和5年度	19,000 千円
・ 令和4年度	56,500 千円

概要

デジタルを活用した観光周遊環境整備

スマホ1つで観光周遊できるよう多言語WEBアプリを構築
交通・観光施設のチケット等のデジタル化を軸にワンストップで様々な観光コンテンツを提供する環境を整備

公共交通機関を利用した移動環境の整備

熊野古道を中心に、二次交通のインバウンド対応化に向けて、県域を跨いだ統一的な受入環境を整備

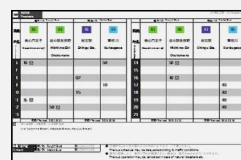
自然災害時における対応能力強化推進

避難方法等の周知ツールの制作や外国人対応用避難誘導マニュアルの作成など、訪日外国人観光客が災害時に適切に避難できるよう環境を整備

スマホでワンストップで「予約」・「支払い」完了！



バス停の案内表示の多言語化や情報の充実化！



時刻表の多言語化



バス停情報の充実

2. 挑戦を支える基盤づくり

① 中小企業等の事業継続支援

[41] 事業承継サポート（商工振興課）

ポイント

多角的なサポート体制により、円滑な事業承継を支援

予算額

・令和5年度	648千円	(融資分は除く)
・令和4年度	648千円	(融資分は除く)

概要

1 専門家による支援

- 事業承継に係る県内事業者からの相談に対し、和歌山県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、**専門家を斡旋**

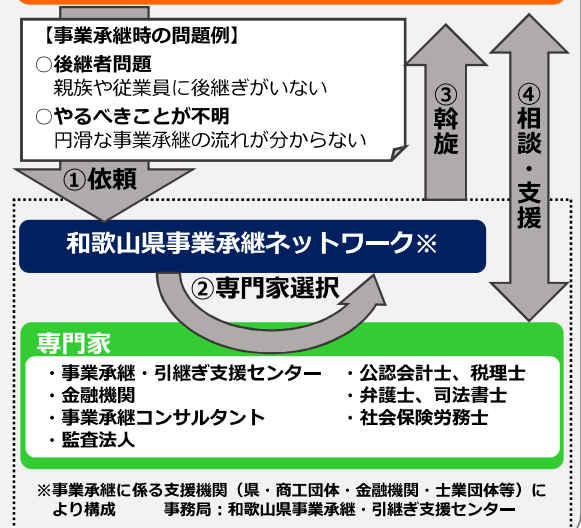
2 県融資制度による支援

- 承継計画を策定した中小企業者等に**優遇金利で融資**
※「事業承継支援資金」により、事業承継時にネックとなる経営者保証を不要とする借換えを支援（中小企業融資制度実施事業での予算措置）

3 事業承継税制の認定

- 認定要件を満たした場合は、事業承継時に係る**相続税・贈与税の納税が猶予**
※特例承継計画の申請期限は令和6年3月31日まで

県内事業者（経営者）



[42] 中小企業融資制度実施（商工振興課）

ポイント

県内中小企業者の資金繰りを支援するとともに、企業の成長を資金面で支援

予算額

・令和5年度	83,804,747千円
・令和4年度	78,267,587千円

概要

県内中小企業者の経営の安定化と事業の活性化を図るため、事業活動に必要な資金を金融機関、信用保証協会と協調して融資する制度（**新規融資枠900億円を確保**）

<主な改正点>

I 借入金の返済に窮する事業者への支援の充実

① 経営支援資金（伴走支援枠）の対象者要件の緩和※及び取扱期間の延長

※R5.1措置済み

- 売上高減少要件を前年同期比▲15%から▲5%に緩和するとともに、利益率減少要件（前年同期比▲5%）を満たす者等も利用可能とし、ゼロゼロ融資等からの借換えに加え、新たな資金需要も含めて対応
- 取扱期間の終期がR5.3末までであったところ、R6.3末まで1年間延長

② 新たな信用保証料補助制度の創設（対象範囲の拡大）※

- ゼロゼロ融資の返済猶予等の条件変更により生じる追加保証料を新たに補助対象とし、事業者負担を軽減
※信用補完制度実施事業での予算措置（原則として3年間（R5～R7）限定の特例措置）

③ 資金繰り安定資金（借換枠）の融資期間の延長

- 融資期間の上限を10年から15年に延長し、長期返済資金の借入れにより毎月の返済負担額を軽減させる資金ニーズに対応
- 事業者の返済猶予等のニーズに沿って柔軟に対応できるよう、据置期間の上限を1年から2年に延長

II 新たな事業に挑戦する事業者への支援の充実

① 新規開業資金の利率引下げ期間の延長

- H29から時限的に措置していた新規開業資金の利率引下げ（▲0.5%）がR5.3末に期限が到来するところ、創業しやすい事業環境を引き続き支えるため、措置期間を3年間（R5～R7）延長

② 新規開業資金への経営者保証を不要とする保証制度の適用

- 国が創設したスタートアップ創出促進保証制度を活用し、新規開業資金を借り入れる際、経営者の個人保証を求めないことが選択可能（信用保証料率は+0.2%上乗せ）

③ 成長サポート資金（チャレンジ応援枠）の対象者要件の緩和※

※R5.1措置済み

- 新分野参入や業種・業態転換等の事業再構築を促進するため、R5.2公募開始の和歌山県事業再構築チャレンジ補助金の交付決定者も利用可能とし、資金面での支援体制を充実・強化

[43] 信用補完制度実施（商工振興課）

ポイント

- 県融資制度の信用保証料を軽減
- 中小企業者の資金繰りの円滑化

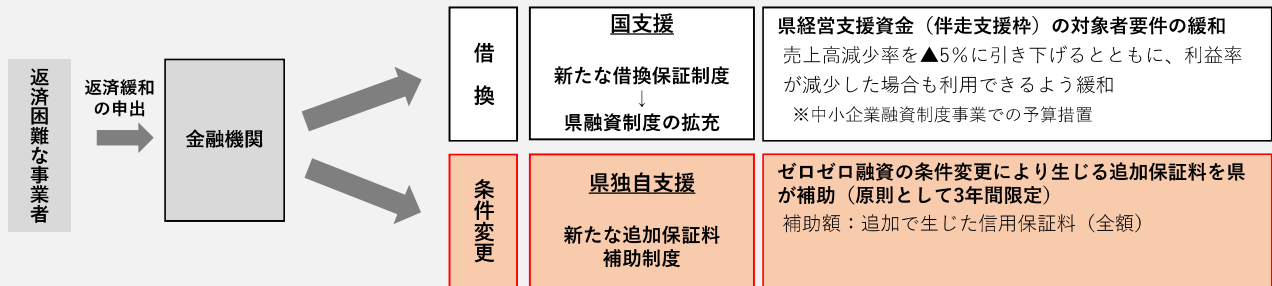
予算額

・ 令和5年度	289,900 千円
・ 令和4年度	274,843 千円

概要

< 返済に窮する事業者への支援（R5年度新規） >

ゼロゼロ融資の返済が本格化する中、返済に窮する事業者が直面する様々な局面におけるセーフティネットを充実させるため、資金の借換制度や保証料の負担軽減を更に拡充



< 信用保証料の負担軽減・資金繰りの円滑化 >

- 1 県融資制度を利用する中小企業者の信用保証料の負担を軽減
 - ・ 保証料の一部を県が信用保証協会へ補助し、保証料率を引下げ
- 2 中小企業者の資金繰りの円滑化
 - ・ 倒産などの事故により信用保証協会が負担する代位弁済額のうち一定割合を県が損失補償

②人材の育成・確保

[44] きのくにICT教育（ステップアッププログラム）（企業振興課・産業技術政策課）

ポイント

未来の県内産業を支えるICT人材の育成及び県内企業の将来的なICT人材の確保

予算額

・ 令和5年度	5,004 千円
・ 令和4年度	5,229 千円

概要

教育委員会と連携し、ICT人材の育成を強化するため、中学校・高等学校のICT教育に取り組む部活動（パソコンクラブ等）に外部指導者を派遣する。また、ICT教育の優れた取組みを表彰するプログラミングコンテストを開催

体系的なプログラミング教育

学年に応じた授業内容の確立(教育委員会)

公立学校での授業(小・中・高校 特別支援学校)

	実施内容	学ぶためのツール
小学校	「プログラミングを体験し、プログラミング的思考を育む（5・6年）」	ロボット教材（意図する動きの組み立て）
中学校	「プログラミングを学習し、課題解決の体験をする（1～3年間）」	センサー等を活用した課題解決のプログラミング
高校	「プログラミングを活用し、課題解決力を身につける」	テキスト型プログラミング言語

ステップアッププログラム

企業等と連携したICT教育(企業振興課)

実践的なプログラミング教育

- 中学校・高等学校のパソコン部等にICT企業等から指導者を派遣
 - <指導内容>
 - 高度なプログラミング言語の習得
 - 動作制御プログラム
 - スマホアプリ開発
 - ゲーム開発 など
- ICT教育の優れた取組みを表彰する、**プログラミングコンテストを開催**（産業技術政策課）

[45] 産業を支える人づくりプロジェクト（労働政策課）

ポイント

- 企業と連携した人材育成を通して地元企業の魅力を伝え、高校生の県内就職を促進
- 大学との連携取組や県内企業の採用情報を切れ目なく発信し、大学生等のU I ターン就職を促進

予算額

・ 令和5年度	57,809 千円
・ 令和4年度	57,478 千円

概要

高校生の県内就職を促進

- 1 学校単位で行う企業と連携した人材育成**
生徒と県内企業との出会いの場を拡大するため、企業経営者による講話や企業説明会などを各高校と協働で実施
〔取組例〕経営者の講話、技術者による実習指導、インターンシップ、企業説明会、企業見学など
- 2 企業ガイダンスや合同企業説明会の開催**
就職希望の生徒と県内の求人企業が会する就活キックオフイベントを開催
新規高校卒業予定者を対象とした合同企業説明会の開催
- 3 企業ガイドブックの作成**
生徒や保護者に県内就職のメリットや県内企業の魅力を伝える
- 4 Webを活用した就職支援**
高校生のためのわかやま就職ガイドのポータルサイトに、県内企業情報や紹介動画、県内就職のメリットや社会人としての心構えなど就職活動に必要な情報を掲載し提供
企業から直接、会社の魅力を伝えるWeb会議システムを活用した個別企業説明会の開催や保護者も参加可能なWeb合同企業説明会の開催

大学生等のU I ターン就職を促進

- 1 大学との連携**
15の就職支援協定大学等との連携を深めるとともに、協定締結大学を増やし、学内において県内企業の若手OB、OG社員との交流会など学生が参加しやすい就職イベントを開催するなど、学生の県内への就職を促進した取り組みを実施するとともに、学生や保護者への情報発信を強化
〔取組例〕県内企業の若手OB、OG社員との交流会、インターンシップ相談会、企業研究フェアなど
- 2 就職ガイドブックの作成**
和歌山で就職する魅力や県内企業の新卒採用情報をまとめた「UIわかやま就職ガイド」を作成し、県内高校を卒業し進学した大学生のうち新4年生と新3年生、短期大学生及び県外出身者を含む県内大学生に送付
- 3 情報発信**
県内企業の採用情報やU I ターン就職関連の情報をWebサイト、アプリ、LINEなどのSNSにより学生や保護者に提供
- 4 インターンシップの推進**
県内企業でのインターンシップ（春季、夏季）を実施
- 5 合同企業説明会の開催**
和歌山、東京、大阪等で企業説明会を年間15回程度開催

[46] 和歌山再就職支援「就活サイクル」プロジェクト（労働政策課）

ポイント

- 結婚や出産等により離職した女性、定年退職された方、都会で働く人等の再就職を支援するため、和歌山独自の「第2の就活サイクル」の取組を促進
- オンライン情報の発信力を強化するとともに、本格的に就活する人を増やす
- マッチング率を向上させるため、求職者・企業双方のスキルアップを図る

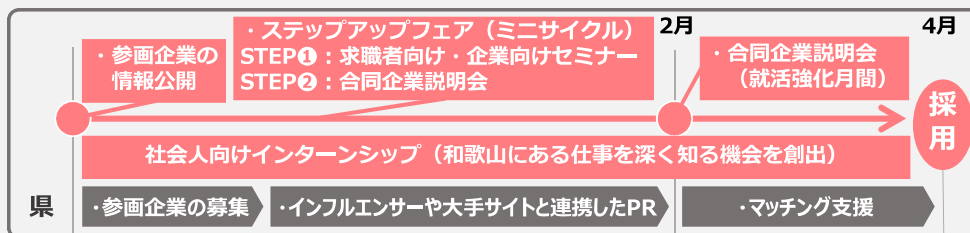
予算額

・ 令和5年度	85,541 千円
・ 令和4年度	86,962 千円

概要

企業との協働による就活サイクルの構築

- 参画企業の企業情報・採用情報をHP等で発信するとともに、求職者を掘り起こし、就活強化月間の2月に合同企業説明会を開催
2月の就活強化月間に加えて、求職者・企業双方の能力を磨き、マッチング率を向上させるためのミニサイクルを構築



再就職を応援する拠点

再就職支援センター
(はたらコードわかやま)

- 再就職の不安を払拭するための就職相談を実施
- 就活に必要な知識を身につけるセミナーを開催

就活意識と就活に必要なスキルを向上

東京23区からの移住転職者・テレワーカーへの支援

- 東京23区で5年以上就業又は在住した方が、県内市町村に転入し、一定の要件を満たす「就活サイクルプロジェクト」参画企業の求人に採用された場合やテレワーク（移住元での業務を継続）する場合に移住支援金を給付
【世帯100万円（18歳未満の帯同者1人につき100万円加算）／単身60万円】

〔47〕わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト（労働政策課）

ポイント

長期総合計画を基に県内産業の活性化や雇用環境の改善を図るとともに、人材育成・確保に向けた取組を支援し、安定的で良質な雇用の場を拡大

予算額

・令和5年度 113,932 千円

・令和4年度 113,126 千円

※他施策と予算額の重複あり

概要

事業テーマ：デジタル人材の雇用・育成を通じたDX推進による企業経営力の強化

戦略的雇用創造分野：地場産業分野、観光分野

プロジェクト運営事業	事業推進員を配置し、本プロジェクトの管理・運営を実施
企業・事業主向け支援	
デジタル経営診断	デジタル技術の活用状況の把握とデジタル化着手方針を示すためのデジタル経営診断を実施
DXセミナー機運醸成	DXに関する情報や取組事例を紹介するセミナーを開催するとともに、DXに関する相談体制を構築
DX伴走支援	事業者のニーズに応じ、デジタル技術の専門家による長期・短期の導入支援を実施
DX雇用促進アドバイザー	新規事業等への助言や雇用相談窓口等へつなげることで、良質な雇用の拡大・早期のDX実現を支援
正規雇用促進	企業に正規雇用のメリットや助成制度等の情報を提供し、正規雇用によるデジタル人材の確保を推進
求職者・労働者向け支援	
人材育成推進	デジタル人材の基礎となる知識習得（高等学校「情報教科」履修程度）研修会を開催
正規就職支援	正規従業員としての就業経験が少ない人を対象にスキルアップ研修を実施
DX推進講習	DXに必要な知識と技術力を身に付けた人材の確保を支援するため、複数の講習を開講
就職促進支援	
マッチング支援	県外で開催される転職フェアに出展し情報発信するとともに、オンライン合同企業説明会を開催

〔48〕和歌山県若手中核人材確保強化（労働政策課）

ポイント

県内企業の将来の担い手となる優秀な若手中核人材を確保するために企業と協働で奨学金の返還金を助成

予算額

・令和5年度 10,001 千円
50,000 千円（債務負担）

・令和4年度 2,001 千円
50,000 千円（債務負担）

概要

○農業・林業、漁業、建設業、製造業、情報通信業、ドラッグストア・医薬品小売業・調剤薬局、自然科学研究所に属する事業を行う企業へ就職し、3年間勤務した理学、工学、農学、保健等の学生が借り入れた奨学金の返還金を、100万円を上限に助成

【対象者】 次の①～③全てを満たす方 50人

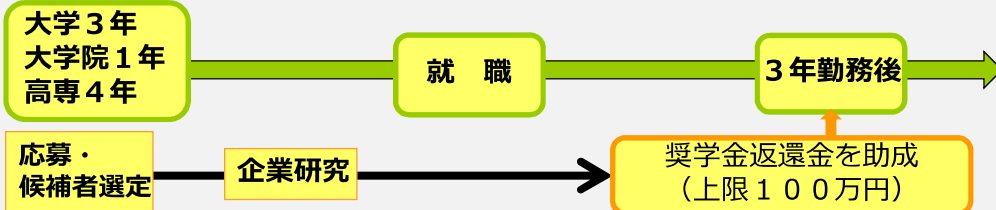
- ①大学生、大学院生、高等専門学校生で、理学、工学、農学、保健の学部等に在籍する方、又は以下のいずれかに該当する方
 - ・文理融合型の学部等に在籍する方
 - ・文系の学部等に在籍する方で情報通信系の国家資格等を取得している（見込み含む）方
- ②参画企業へ研究開発職又は技術職として就職を希望する方
- ③日本学生支援機構奨学金（一種又は二種）、その他貸与型奨学金の貸与を受けている（受ける予定含む）方

【助成額】 上限100万円

【財 源】 企業1/2：県1/2

〈助成までの流れ〉

（就職2年前）



3. 関係機関

ジェトロ和歌山貿易情報センターとの連携（共同事業）

貿易振興の専門機関である日本貿易振興機構（ジェトロ）の和歌山貿易情報センターと連携し、県内企業の海外展開を強力に支援します。



和歌山県
Wakayama Prefecture



ジェトロホームページ

県とジェトロ和歌山との主な連携事業

●変化する世界への挑戦：越境EC活用促進

JAPAN STREETの有効活用

ジェトロが新たに展開するオンライン・プラットフォーム「JAPAN STREET」への県内企業の登録を支援し、県内企業と海外バイヤーとの商談機会を創出します。

※JAPAN STREET：

全世界においてジェトロが招待した 優良バイヤーのみが閲覧できる 商品カタログサイト
・サイトを通してジェトロ仲介によるオンライン商談や見積もり依頼が可能



JAPAN STREET

EC市場開拓支援

世界60以上の海外ECサイトに開設している「JAPAN MALL」を積極的な活用を促すため、活用セミナーの開催や出展を目指す企業の申請手続きを支援します。



JAPAN MALL

●手厚いハンズオン支援

県とジェトロでは、海外販路開拓に積極的な県内企業に対して、手厚い支援を行います。「新輸出大国コンソーシアム事業」を始めとする事業で、機械・製造業、農林水産、高度外国人材等の各分野の専門家が企業に寄り添い、輸出/海外進出の海外展開を計画策定から成果創出まで一貫して支援を行い、県内企業の海外展開を加速します。新型コロナウイルス感染症の影響下においては、オンラインによる面談や商談による支援を実施します。

●ビジネスミッション時の相互協力

県と覚書を締結しているタイ、ベトナム等の国や地域との経済交流の促進に加えて、有望な新興国への調査ミッションを派遣。

また、海外見本市や展示会への出展企業を対象に現地商談会の開催や海外ミッションの派遣、業界関係者の招へいなど、様々な事業ツールを効果的に組み合わせた海外展開支援を幅広く実施します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、海外渡航ができない場合は、オンライン商談会を開催し、商談機会を創出します。

●高度外国人材の活用支援

高度外国人材を採用したい県内企業と日本で就職を希望する留学生のマッチング支援をするため、セミナーや交流会を実施します。

【予定】・企業向け 高度外国人材活用セミナー

・インターンに向けた企業・留学生の交流会

・就職に向けた企業・留学生の交流会



交流会の様子

●セミナー及び出張相談会の共同開催

リアル又はオンラインで実施するセミナーを活用しながら県内企業、業界団体等のニーズを踏まえ、時宜を得たテーマでセミナーを開催します。

また、海外展開を希望する企業への支援を県内全域に広まるため、紀南地域において、地元自治体と金融機関が一体となり相談会を開催します。

【実務講座（予定）】：貿易実務講座（入門編、実践編）

【相談会（予定）】：西牟婁出張相談会、東牟婁出張相談会

【テーマ別（予定）】：高度外国人材活用セミナー

ブランディングワークショップ

海外アドバイザーによる海外市場最新情報セミナー



出張相談会の様子

公益財団法人わかやま産業振興財団のご案内

(公財) わかやま産業振興財団は、県内中小企業の創業から成長、技術開発、販路開拓、さらには人材育成等における多様なニーズに対し、豊富な民間人材を活用した総合的な支援を行うことにより、本県地域産業の高度化・高付加価値化を図るため、和歌山県より指定された県内唯一の中小企業支援センターです。



(フォルテワジマ6階)

主要業務内容

- 和歌山県よろず支援拠点
コーディネーターによる経営に関する様々な課題に対する相談対応
- 専門家派遣
経営・技術・情報化等の専門家派遣による診断及び助言の実施
- 和歌山ものづくり経営改善スクール
 - ・生産性改善や自動化の学び・実習を通じた現場リーダー・幹部社員の育成
 - ・インストラクターを企業に派遣する伴走型の現場改善支援
- 国際経済交流支援
国際経済サポートデスク相談員による海外事業展開に向けた貿易、販路開拓等に関する相談対応
- 創業支援
 - ・インキュベーションマネージャーによる創業に関する相談対応
 - ・経費補助及び伴走支援による社会的事業分野における起業の促進
- 販路開拓支援
 - ・専門員の巡回による取引あっせん支援や、国内外展示会への集団出展、商談会の開催
 - ・相談員や弁護士による下請け取引のトラブル相談対応
- 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点「プロフェッショナル人材」の中小企業への活用や副業・兼業等による働き方改革を推進し、中小企業の成長戦略と経営革新を実現
- 研究開発支援
新商品開発・新事業創出のための研究開発支援
- ものづくり支援
わかやま中小企業元気ファンド・わかやま農商工連携ファンドによる新商品開発等の助成
- 知的財産権活用等支援
 - ・コーディネーターによる知的財産活用等に関する支援
 - ・海外市場の販路開拓や模倣被害対策に向けた外国での産業財産権の取得の支援
- 人材育成支援
企業の中核人材の導入や技術人材の育成研修の開催
- 交流支援
各種講演会、交流会、成果発表会等を開催
- 情報提供
企業情報の発信、広報誌の発行及びサポートメール等による情報提供

【お問い合わせ】

(公財) わかやま産業振興財団 (和歌山市本町二丁目1番地フォルテワジマ6F)

TEL : 073-432-3412 FAX : 073-432-3314

URL : <https://yarukiouendan.or.jp>

和歌山県工業技術センター

未来に結ぶ技術の架け橋



○地域産業活性化促進事業

工業技術センターは、県が設置・運営する公的試験研究機関で、様々な技術支援・サービスを行っています。

＜技術支援メニュー＞

技術相談・指導、設備機器の貸付、受託試験、受託研究、共同研究
研究開発、研修生の受入、技術情報の提供など

地域産業活性化促進事業

予算額	令和5年度	173,887千円
	令和4年度	184,424千円

＜各部における主な対応技術＞

食品開発部	食品加工、食品成分分析、食品の物性測定、微生物分析・利用、醸造 等
地域資源活用部	テキスタイル・染色加工、皮革、色彩管理・測定、排水処理、 高分子材料、木質材料、金属材料 等
ものづくり支援部	非破壊検査、騒音・振動計測、生産・検査工程の自動化 3DCAD・CAE活用、3Dプリンター試作造形、電気・電子・EMC計測 等
化学技術部	有機合成、高分子合成、有機分析、無機分析、計算化学活用 等
薬業振興部	医薬品分析、医薬部外品分析、化粧品分析 等



＜オープンラボの紹介＞

企業支援ツールを集約し、基礎開発から実用化支援まで幅広く対応可能です。
人材育成にも活用いただけます。

はじめてみよう！
一歩先の「ものづくり」

フードプロセッシング ラボ



レーザー&テキスタイル ラボ

ケミカルスマート ものづくりラボ



3Dスマート ものづくりラボ

自動化促進ラボ



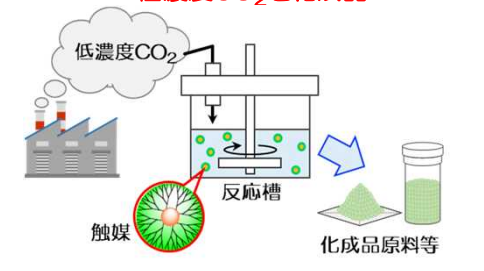
○コア技術確立事業

工業技術センターが、県内企業ニーズ、先行技術調査、市場調査等に基づき、テーマ化した「5～10年後に必要な技術」の研究開発を実施しています（第3期：令和5～7年度）。

コア技術確立事業

予算額	令和5年度	7,605千円
	令和4年度	6,956千円

カーボンニュートラルに貢献 ～低濃度CO₂を化成品へ～



○低濃度CO₂の化成品変換技術の開発

次世代光制御フィルムの創製



○次世代光制御フィルムの開発

和歌山産乳酸菌株の作出



○機能性を有する和歌山産乳酸菌の開発

お問合せ

和歌山県工業技術センター 企画総務部 企画調整課

〒649-6261 和歌山市小倉60番地 TEL：073-477-1271 FAX：073-477-2880

就職を目指してがんばる若者のサポートや、結婚や出産等で一度離職した女性、定年退職後も働く意欲のある方、Uターン転職を希望する方等、再就職を目指す方々のサポートをするため、県では就職支援施設として「ジョブカフェわかやま」(若年者の就職をサポート)と「はたらコーデわかやま」(再就職をサポート)を設置し、併設の「ハローワークサロン(ほんまち)」とともに、就職支援サービスをワンストップで提供しています。

《対象者》

- 【1階 ジョブカフェわかやま】
- ・学生及び35歳未満の若年求職者
 - ・35歳～40代前半の不安定就業者 ・その他一般求職者
- 【3階 はたらコーデわかやま】
- ・女性や高齢者、Uターン転職を希望している方等再就職を考えている方

《就職に関する相談》

就職活動って、何から始めればいい？
正社員になりたい
もう一度働くのは不安。etc
⇒自己分析やカウンセリングを通じて就職に関する悩みを解決

《Uターン就職支援》

和歌山で働きたいけど、どんな企業があるのかな？
Uターン就職を目指す学生や一般求職者からの相談に対応

《各種就職に向けた事業の実施》

- ◆出張相談・・・県内各ハローワーク(那賀、伊都、有田、日高、西牟婁、東牟婁)管内で出張相談を実施
- ◆各種セミナー・・・自己分析から面接練習まで就職活動に必要なセミナーを開催
- ◆企業情報誌、HPによる情報提供・・・企業・採用情報を発信
- ◆定着支援・・・就職決定後も引き続き職場定着を支援
- ◆大人のインターンシップ・・・参加希望者の希望に合わせたプログラムを調整し、実施

《お問い合わせ》 ジョブカフェわかやま TEL:073-402-5757
はたらコーデわかやま TEL:073-421-8080
住所 和歌山市本町1丁目22 URL:<http://jobcafe-w.com/>
開所時間 9:30～18:00 休館日 毎週火曜日・祝日



※令和5年6月頃統合予定

県立産業技術専門学院

ポイント

- 少人数制により、丁寧な指導を受けることができる
- 多彩な資格取得
- 安心な授業料 (月約 1 万円)
※個人が所有するもの(教材や作業服等)及び資格取得に要する費用は別途必要となります
- 高い就職率 **93.6%** (令和5年3月修了生)

概要

《県立産業技術専門学院とは》

ものづくりや事務系の仕事で必要となる技術・技能を、1年または2年間の実技を中心とした職業訓練を通じ、しっかりと身につけるため、県が設置・運営する職業能力開発校です。
現在、和歌山市に6学科、田辺市に3学科の訓練科を設け、それぞれの科において今後必要となる技術や技能の習得に加え、それに付随する資格習得を目指し職業訓練を行っています。

《設置している訓練科》

和歌山産業技術専門学院 (6 学科)

- 【2年課程】 自動車工学科、理容科
メカトロニクス・CAD科
【1年課程】 建築工学科、デザイン木工科
総合実務科 (※)
(※) 総合実務科は知的障害者を対象とした訓練



田辺産業技術専門学院 (3 学科)

- 【2年課程】 自動車工学科、
情報システム科
【1年課程】 観光ビジネス科



《その他の取組み》

離職者の再就職に必要な技能習得や、在職者の技能向上のための訓練等を実施しておりますので、関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。



参考資料

①沿革と概観 ～和歌山県の産業の姿～

江戸時代（後期）

紀北地域では木綿産業が隆盛

しょう油、みそ、かつおぶしといった和食に欠かせない調味料・食材の発祥地

※大坂（大阪）と江戸を結ぶ海運航路の要所として産業が発達

明治時代

繊維（紀州ネル、メリヤス）を中心に、皮革、漆器、家庭用品（和雑貨）、家具、ボタンなどの「地場産業」が発達＝工業県

※和歌山市は全国でも代表的な工業都市であった。

昭和以降

住友金属など「重厚長大」産業の立地により、県北部臨海工業地帯が形成される。

- 県北部 石油・化学・鉄鋼・機械関係等の工業地域
 - ・臨海部 ⇒ 大企業
 - ・地場産業 ⇒ 中小企業（ニット、パイル織物等の繊維産業、漆器、皮革、家具等）
- 県南部 食品加工や木材産業が盛んな農林水産地域

特色

- 企業数に占める小規模企業の割合が非常に高い（全国5位）
和歌山県87.9%（全国84.9%）（資料：中小企業庁「中小企業白書2022年版」）

● オンリーワン企業、ニッチトップ企業の輩出

「元気なモノ作り中小企業300社」（経済産業省選定）

2006年(6社)	アクロナイネン(株)、紀州技研工業(株)、新中村化学工業(株)、(株)東洋精米機製作所、阪和電子工業(株)、和歌山精化工業(株)
2007年(6社)	笠野興産(株)、高木彫刻(株)、フクセン(株)、中野B C(株)、築野食品工業(株)、紀州ファスナー工業(株)
2008年(4社)	太洋工業(株)、(株)タカショー、永山電子工業(株)、ヨシダエルシス(株)
2009年(6社)	尾高ゴム工業(株)、和歌山染工(株)、大洋化学(株)、中田食品(株)、小川工業(株)、(株)ヤマサ脇口水産

「がんばる中小企業・小規模事業者300社」（経済産業省選定）

2014年(7社)	エムアファブリー、(株)角長、林撚糸(株)、(株)プラス、(有)モリヤ、協同組合ラテスト、ワコン(株)
2015年(8社)	アイエムティー(株)、(株)インテリックス、(株)岡田織物、グラン・ジュテ、協業組合太成、ナギサビール(株)、(有)深見梅店、(名)丸正酢醸造元

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」（経済産業省選定）

2016年(5社)	(株)アイスティサイエンス、(株)九重雑賀、(株)紀北総合警備、(株)オレンジライフ、農業法人(株)秋津野
2017年(5社)	小西化学工業(株)、(株)農業総合研究所、(株)アイセン、(株)坂口製作所、木下水産物(株)
2018年(4社)	福原ニードル(株)、(有)菊井鋏製作所、(株)桑添民之助商店、ワコー(株)
2019年(4社)	(株)早和果樹園、紀和化学工業(株)、(株)ヴァイオス、中紀バス(株)
2020年(1社)	和歌山マリーナシティ(株)
2021年(1社)	(株)日本化学工業所

● 和歌山県の上場企業（12社）

(株)紀陽銀行、(株)オークワ、(株)島精機製作所、スガイ化学工業(株)、(株)タカショー、太洋工業(株)、アズマハウス(株)、(株)サイバーリンクス、(株)農業総合研究所、ヤマイチ・ユニハイムエステート(株)、あさかわシステムズ(株)、(株)ミモナ

②和歌山県産業ポテンシャル ～和歌山県の産業の姿～

産業集積の状況

基礎素材型の割合が高い

本県の産業構造は、基礎素材型（鉄鋼、石油、化学等）の製造品出荷額等の構成割合が高く、加工組立型（輸送機械・電気機械等）の構成割合が低い傾向にある。

2021年においては、基礎素材型が68%程度、加工組立型が20%程度となっている。

（資料：令和3年経済センサス・活動調査）

繊維を中心とする地場産業の割合が高い

和歌山県は24業種の地場産業を有する地場産業県である。県工業において地場産業は、事業所数、従業者数で大きな割合を占めており、産地に集積された技術、人材、資金等のポテンシャルが工業発展を大きく支えている。またオンリーワン企業は、地場産業を母体に輩出されている。

<地場産業>

①地元資本をベースとする中小企業が一定の地域に集積しつつ、②地域内に産出する特産物を主原料、または蓄積された経営資源（技術、労働力、資本等）を活用して他地域から原材料を移入し、③これらを加工し、④その製品の販路として、地域内需要のみならず地域外需要をも指向するもの。

<県内地場産業24業種>

建具、襖材、家具、ニット、縫製、特殊織物、作業手袋、家庭用品、綿織物、染色整理、機械金属、染料・中間物、染色、漆器、へら竿、味噌、醤油、梅干し、清酒、皮革、ボタン、木材・製材、洋家具、鋳鉄铸件

自然資源

紀伊半島の南西部にあって、大部分は紀伊山地を中心とする山岳地帯であり、海岸線は、総延長648kmにも及ぶリアス式海岸であり豊富な自然環境に恵まれている。

また、高野・熊野地域は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に、串本沿岸地域はラムサール条約に登録、南紀熊野ジオパークは日本ジオパークに認定されており、観光資源として本県の魅力を高めている。

産業インフラ等

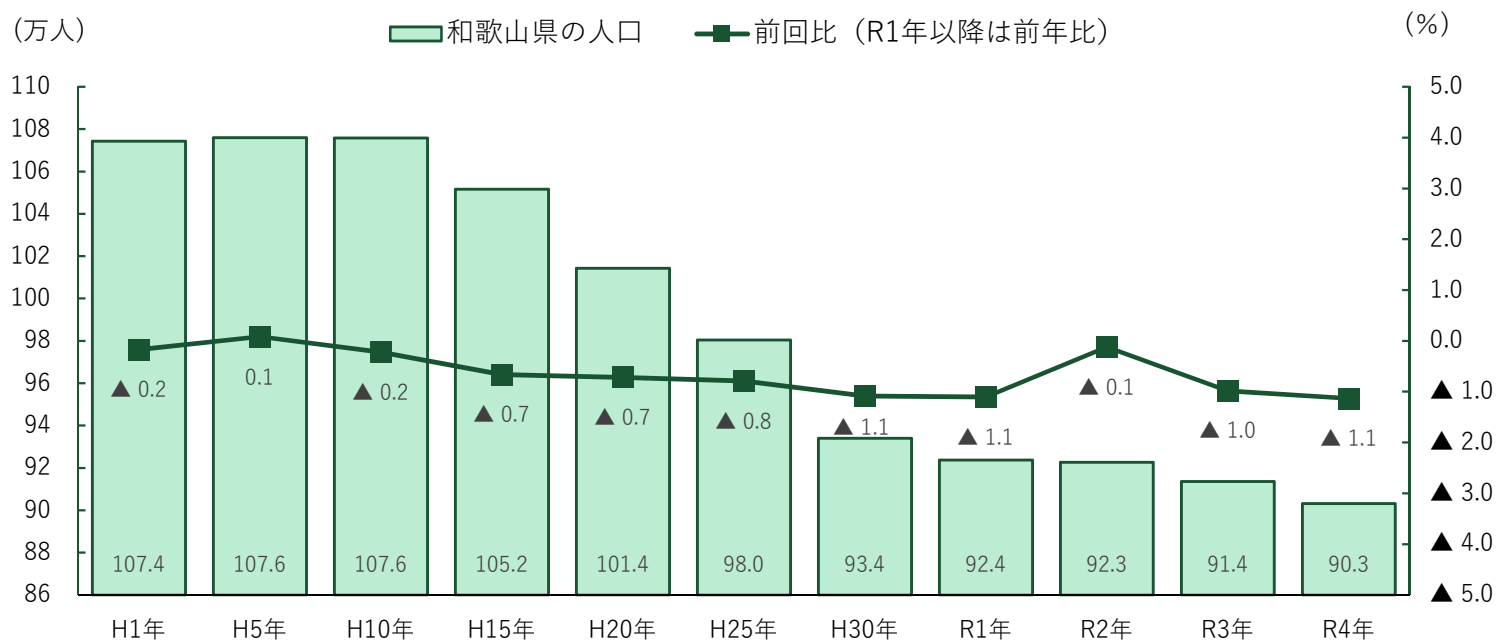
和歌山市は関西国際空港から高速道路でわずか30分、最も近い中核市である。また、延伸を続ける高速道路、和歌山下津港や日高港、新宮港などの物流拠点、南紀白浜空港などのインフラに加え、果樹・森林・水産といった恵まれた地域資源を活かし、産業集積を促進している。

さらに、県内の中小企業等を支援するワンストップの中核的支援機関である（公財）わかやま産業振興財団を設置し、県工業技術センターや大学等との連携や企業OBによる経営相談など、幅広く企業支援を実施し、産業を振興すべく積極的に活動している。

③ 日本経済と和歌山県経済 ～和歌山県の産業の姿～

県内人口の推移

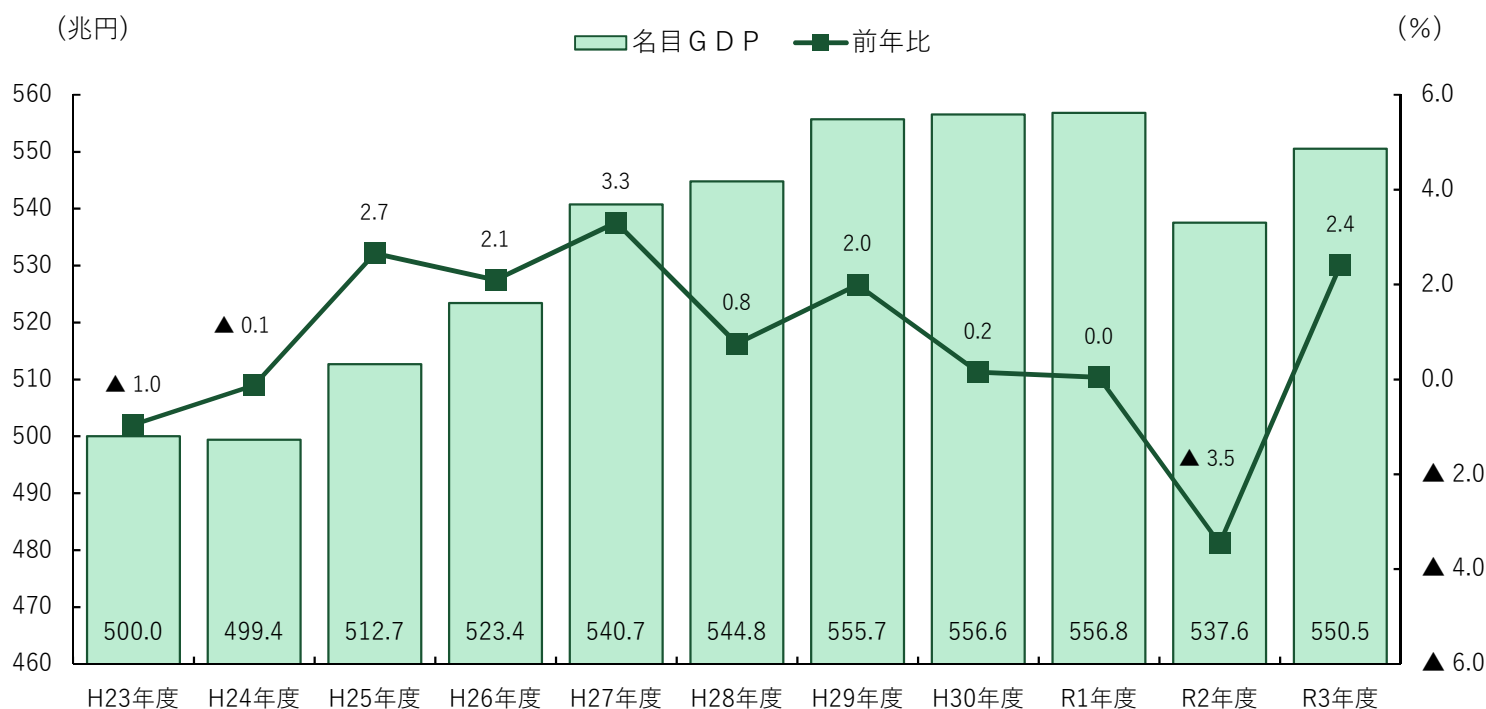
令和4年10月1日現在の和歌山県の人口は90万3,172人で、出生数減少や県外転出増加などにより、前年から1万351人減少(▲1.13%)した。



資料：総務省「平成27年国勢調査」、和歌山県「和歌山県人口調査」(R4)

国内総生産(GDP)の推移

令和3年度の国内総生産(GDP)は、550兆5,304億円となり、前年度から12兆9,689円の増加(2.4%)となった。



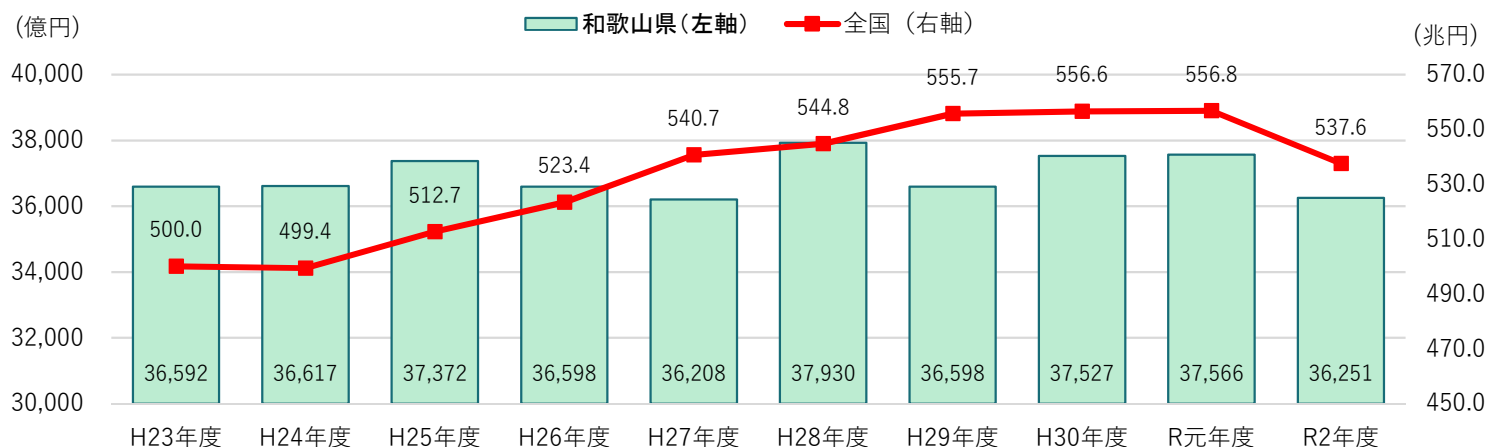
資料：2021年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)

県内総生産

～令和2年度の県経済は、全国と同様に、春先以降は新型コロナウイルス感染症による悪影響から大きく下押しされた状態となり、給付金や県独自の需要喚起策など多くの経済対策や公共投資などに下支えられた状況であった。～

県内総生産の推移

令和2年度の和歌山県の県内総生産（名目）は、3兆6,251億円で、前年度比約1,315億円減少（▲0.35%）した。



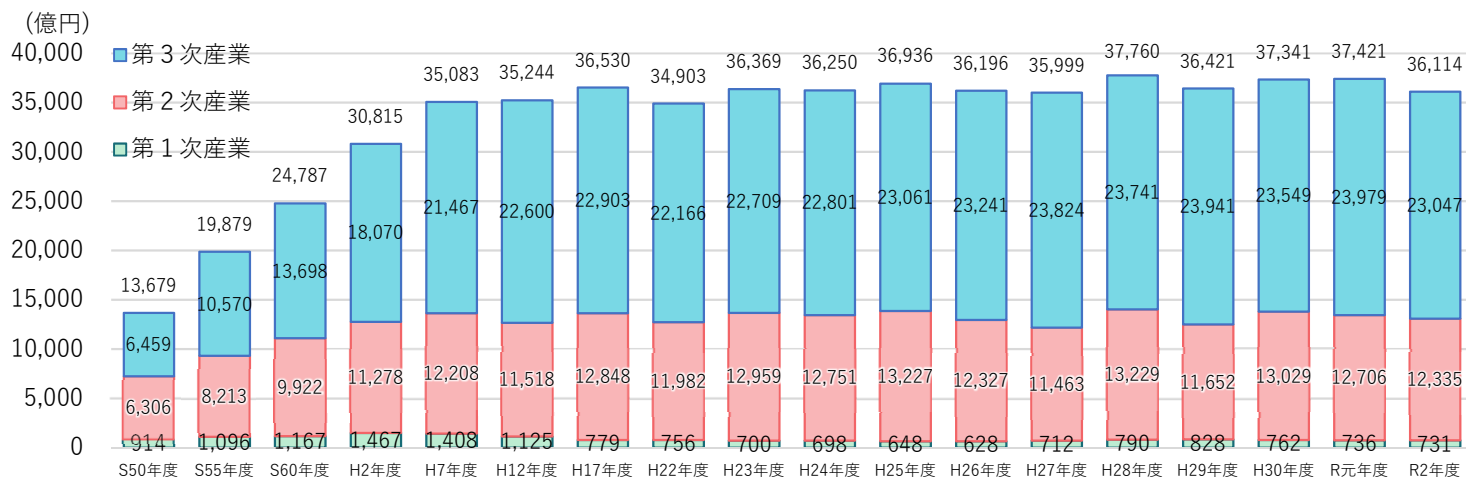
産業別県内総生産（名目）の推移

令和2年度は昭和50年度と比較すると、

- ✓ 第1次産業： 約182億円減少
- ✓ 第2次産業： 約6,029億円増加
- ✓ 第3次産業： 約1兆6,588億円増加

各産業の割合（昭和50年度 → 令和2年度）

- ✓ 第1次産業： 6.7% → 2.0%
- ✓ 第2次産業： 46.1% → 34.2%
- ✓ 第3次産業： 47.2% → 63.8%



※産業別の県内総生産（名目）の推移については、
 ①輸入品に課される税・関税（付加）
 ②総資本形成に係る消費税（控除）
 を考慮しない経済活動での推移とする。

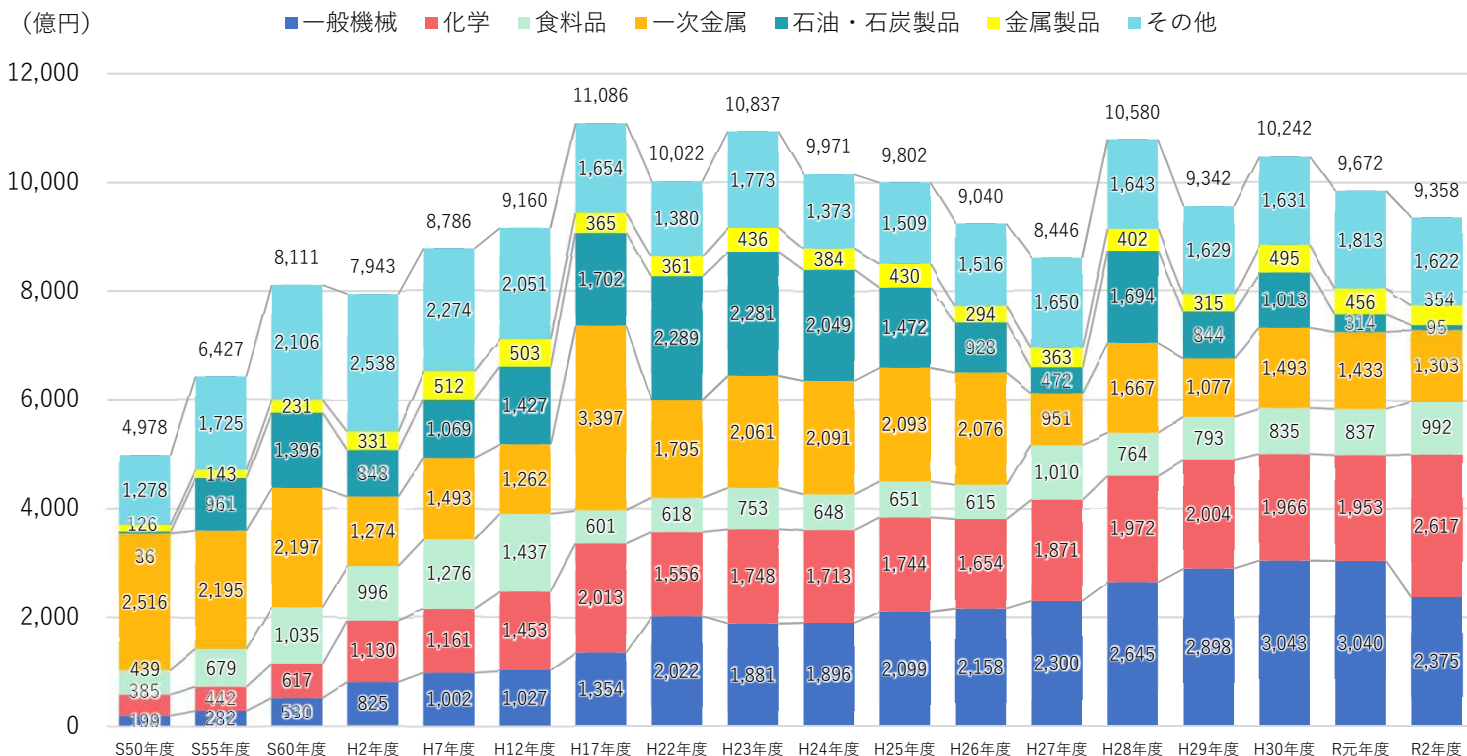
資料：内閣府「令和2年度（2021年度）国民経済計算」
 「県民経済計算」

※基準改定により平成23年度以前の数字とは単純比較できないため、参考値となる。

和歌山県「令和2年度県民経済計算」

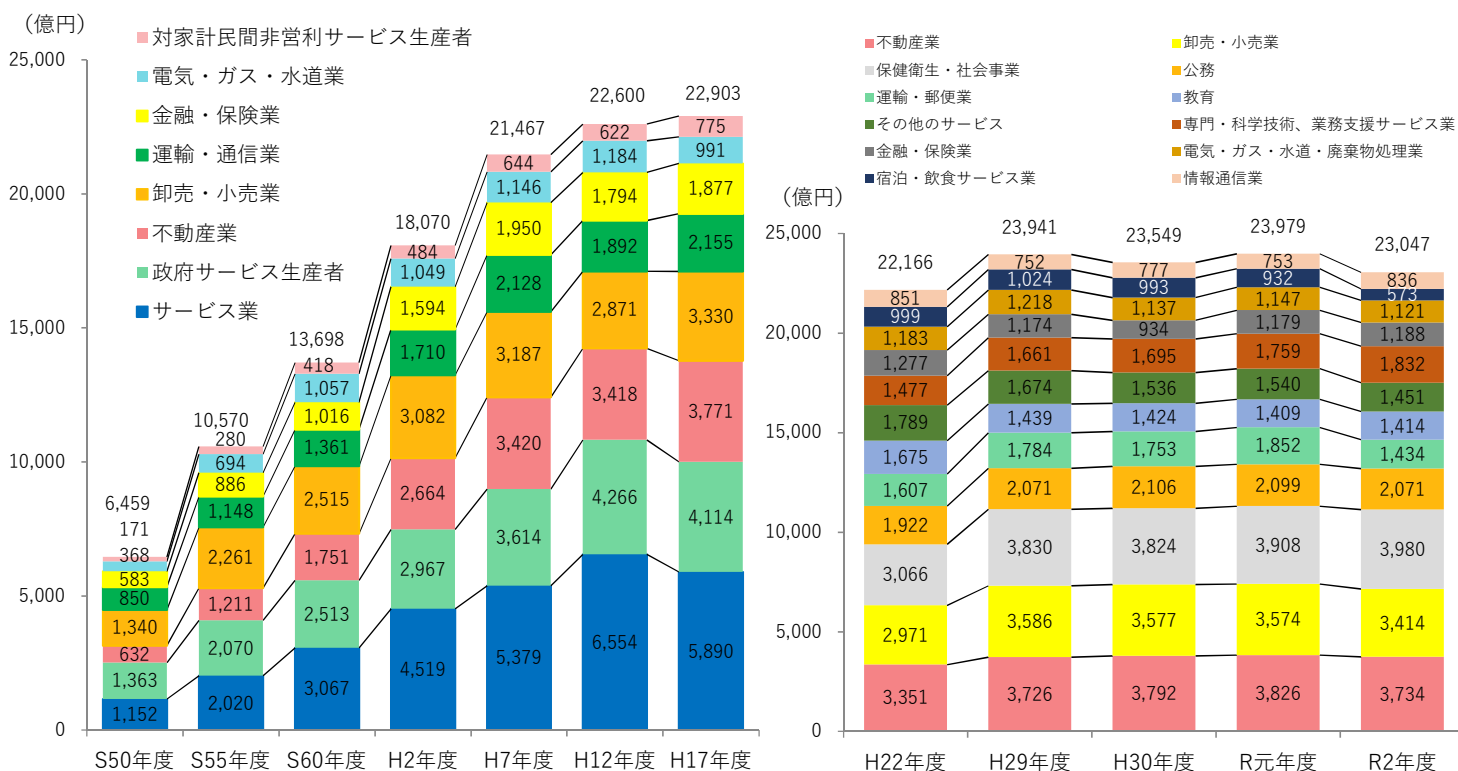
第2次産業(うち製造業)生産額の推移

第2次産業中の製造業の生産額は、一次金属、化学、石油・石炭製品等の基礎素材型産業が一貫して大きな割合を占めており、令和元年度においては製造業全体の約52%となった。また昭和60年頃から一般機械が大きく成長している。



第3次産業生産額の推移

第3次産業の総生産額の伸びは近年鈍化傾向だが、保健衛生・社会事業は堅調に伸びている。
保健衛生・社会事業：3,066億円(H22)→3,980億円(R2)



※基準改定により平成23年度以前の数字とは単純比較できないため、参考値となる。

資料：内閣府「県民経済計算」

和歌山県「令和2年度県民経済計算」

県民所得の推移

➤ 令和2年度の和歌山県の県民所得(名目)

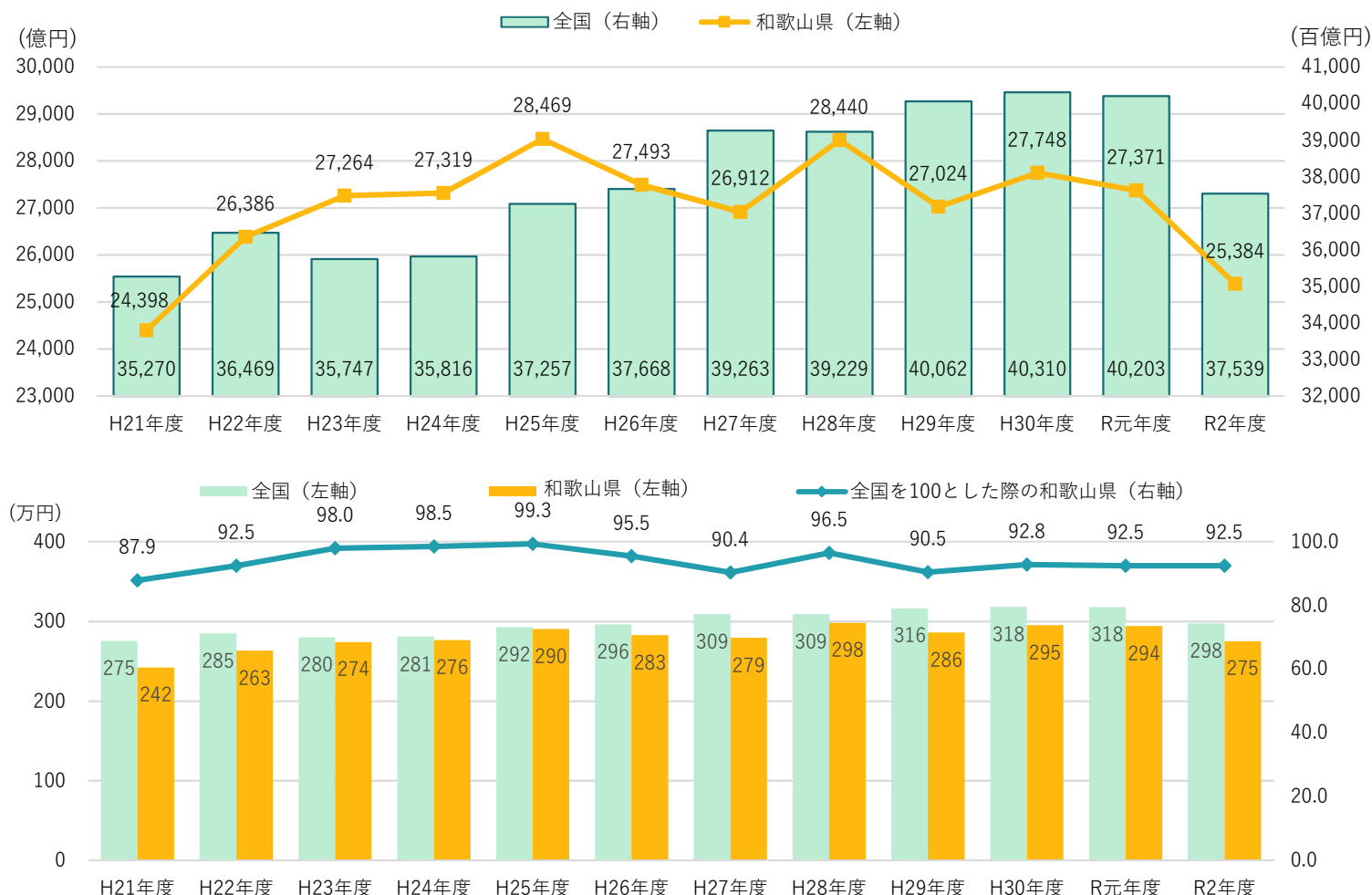
2兆5,384億円(前年度比－7.3%)

➤ 1人あたりの県(国)民所得

和歌山県：275.1万円(前年度比－6.4%)

全国：297.5万円(前年度比－6.4%)

※ 1人あたりの県(国)民所得＝県(国)民所得／域内総人口(各年10月1日推計人口)



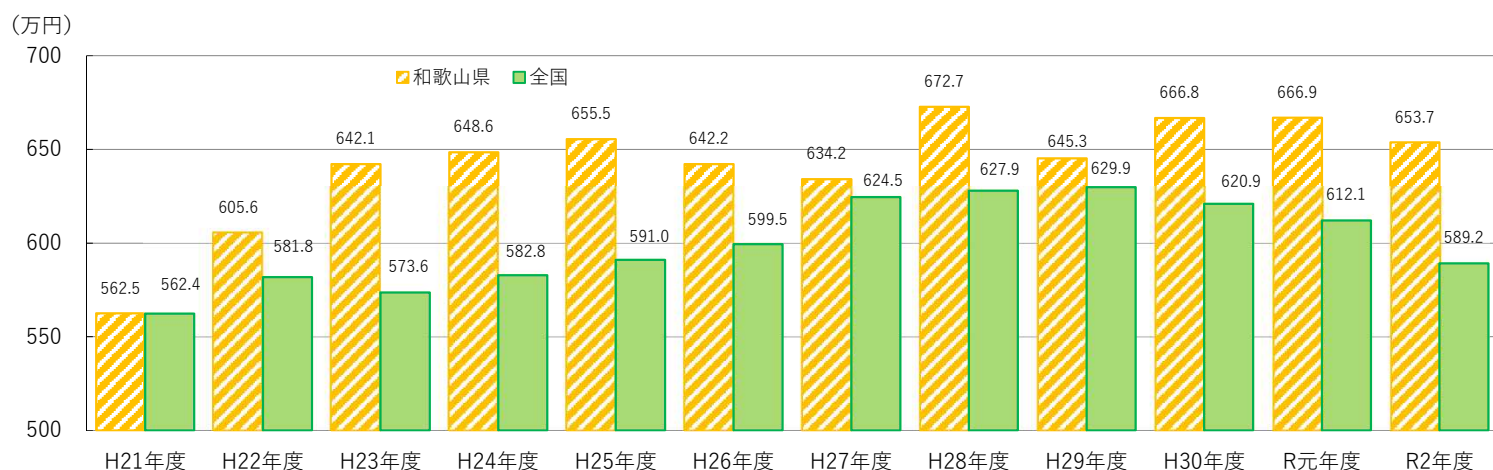
労働生産性の推移

➤ 令和2年度の労働生産性

和歌山県：653.7万円(前年度比－2.0%)

全国：589.2万円(前年度比－3.7%)

※ 労働生産性＝域内純生産（生産価格表示・合計）／域内就業者数



資料：内閣府「令和2年度（2020年度）国民経済計算」

総務省「人口推計」（国勢調査結果による補間補正人口）

和歌山県「令和2年度県民経済計算」

※域内純生産の全国値（国内純生産）については、名目・暦年ペースを採用。

④ 産業構造(事業所数、従業者数、企業数)[民営]～和歌山県の産業の姿～

～事業所数・従業者数共に減少。中長期的な減少傾向が継続～

県内の事業所は、減少傾向にあるが、令和3年は4万4,959事業所で平成28年から4.8%減となった。また、令和3年の従業者数は37万7,605人で、平成28年から0.2%減となった。

事業所数、従業者数ともに、医療・福祉が増加したが、卸売業・小売業は減少した。

2022年版中小企業白書によると、県内の中小企業数は3万4,367企業となっており、うち小規模企業が総企業数の87.9%を占め、都道府県別では5番目に高い比率である。

事業所数

		R3年	H28年	増減数	増減率(%)	合計に占める割合 (%)
和歌山県	第1次産業	297	255	42	16.5	0.7
	第2次産業	7,810	8,267	▲457	▲5.5	17.4
	建設業	4,237	4,312	▲75	▲1.7	9.4
	製造業	3,564	3,947	▲383	▲9.7	7.9
	鉱業、採石業、砂利採取業	9	8	1	12.5	0.0
	第3次産業	36,852	38,725	▲1,873	▲4.8	82.0
	卸売業、小売業	11,224	12,878	▲1,654	▲12.8	25.0
	宿泊業、飲食サービス業	5,121	5,688	▲567	▲10.0	11.4
	生活関連サービス業、娯楽業	3,931	4,258	▲327	▲7.7	8.7
	医療、福祉	4,360	4,084	276	6.8	9.7
	不動産業、物品賃貸業	2,759	2,823	▲64	▲2.3	6.1
	学術研究、専門・技術サービス業	1,614	1,480	134	9.1	3.6
	教育、学習支援業	1,368	1,465	▲97	▲6.6	3.0
	運輸業、郵便業	921	935	▲14	▲1.5	2.0
	金融業、保険業	714	726	▲12	▲1.7	1.6
	複合サービス事業	449	445	4	0.9	1.0
	情報通信業	264	234	30	12.8	0.6
	電気・ガス・熱供給・水道業	74	41	33	80.5	0.2
	サービス業（他に分類されないもの）	4,053	3,668	385	10.5	9.0
	全産業（民営）	44,959	47,247	▲2,288	▲4.8	100.0

※事業所数は事業内容等不詳の事業所を除く。

従業者数

		R3年	H28年	増減数	増減率(%)	合計に占める割合 (%)
和歌山県	第1次産業	3,771	3,487	284	8.1	1.0
	第2次産業	85,825	86,014	▲189	▲0.2	22.8
	建設業	25,394	25,860	▲466	▲1.8	6.7
	製造業	60,313	60,026	287	0.5	16.0
	鉱業、採石業、砂利採取業	118	128	▲10	▲7.8	0.0
	第3次産業	287,278	288,104	▲826	▲0.3	76.2
	卸売業、小売業	76,771	80,632	▲3,861	▲4.8	20.4
	宿泊業、飲食サービス業	32,929	36,832	▲3,903	▲10.6	8.7
	生活関連サービス業、娯楽業	15,089	16,296	▲1,207	▲7.4	4.0
	医療、福祉	68,782	63,285	5,497	8.7	18.3
	不動産業、物品賃貸業	9,421	8,586	835	9.7	2.5
	学術研究、専門・技術サービス業	7,710	7,391	319	4.3	2.0
	教育、学習支援業	10,320	10,314	6	0.1	2.7
	運輸業、郵便業	20,853	20,674	179	0.9	5.5
	金融業、保険業	9,426	10,015	▲589	▲5.9	2.5
	複合サービス事業	5,521	5,461	60	1.1	1.5
	情報通信業	2,909	2,890	19	0.7	0.8
	電気・ガス・熱供給・水道業	1,394	1,191	203	17.0	0.4
	サービス業（他に分類されないもの）	26,153	24,537	1,616	6.6	6.9
	全産業（民営）	376,874	377,605	▲731	▲0.2	100.0

資料：総務省「平成28年経済センサス・基礎調査」
総務省・経済産業省「令和3年経済センサス・活動調査」

和歌山県の企業数(会社数＋個人事業者数)

中小企業				大企業		合計
構成比(%)	うち小規模企業		構成比(%)			
34,367	99.9	30,242	87.9	27	0.1	34,394

※小規模企業は常用雇用者20人以下（卸売業、小売業、サービス業は5人以下）

資料：経済産業省「2022年版中小企業白書」

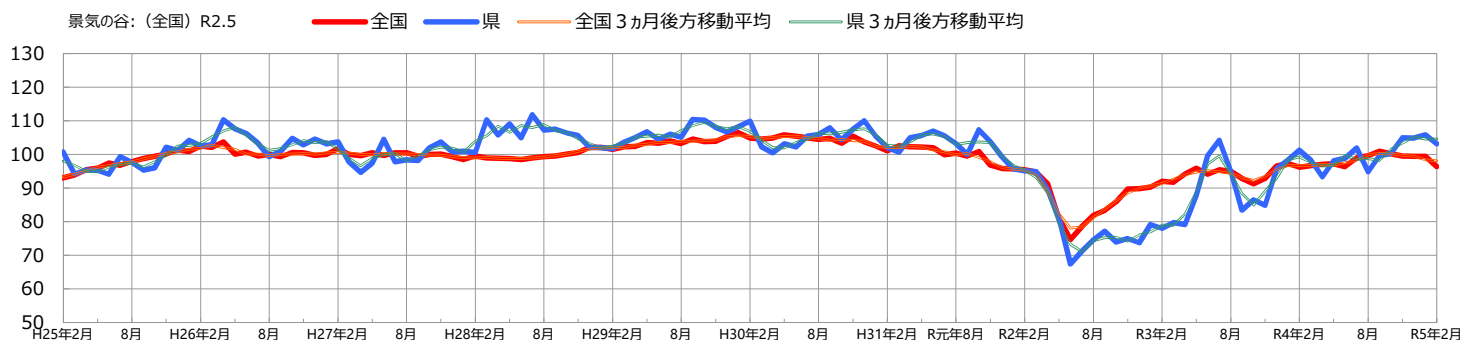
⑤ 和歌山県の経済動向 ～和歌山県の産業の姿～

景気動向指数

日本経済は、平成26年4月には消費税率が引上げられ、個人消費などには弱い動きもみられたが、その影響は次第に和らいだ。令和2年には新型コロナウイルス感染症の影響を受けて幅広い事業者に影響が生じた。同3年においても感染症の影響が継続し、原油・原材料の価格上昇、物流の混乱などの影響も受け、県内経済動向は厳しい状況であった。同4年は、経済の緩やかな持ち直しが続いているが、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、経済を取り巻く環境には厳しさが増している。

資料：内閣府「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」

景気動向：CI一致指数



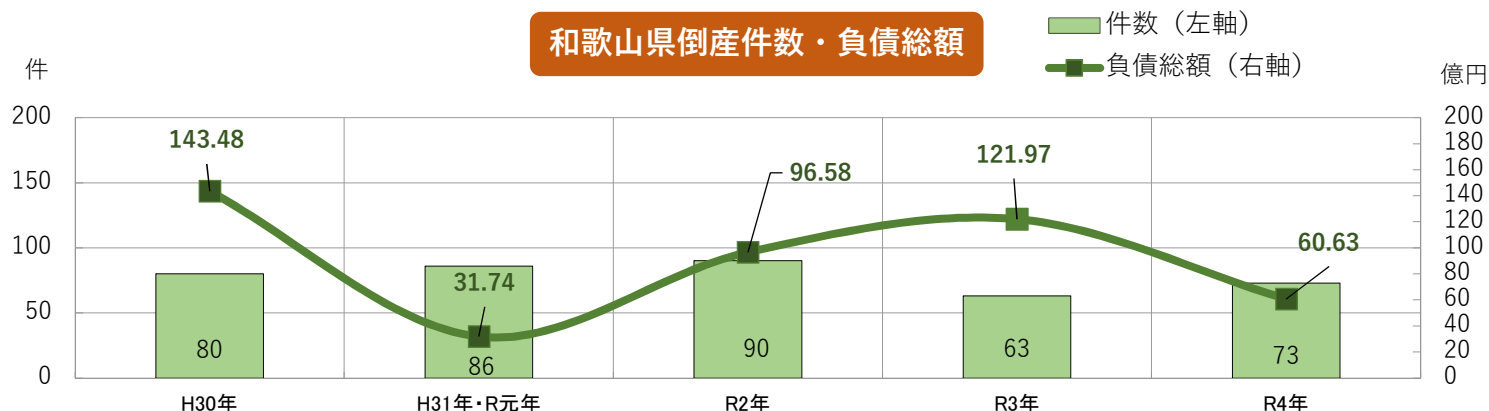
企業倒産件数

令和4年の和歌山県における企業倒産件数は73件、負債総額60億6300万円となった。件数は前年比15.9%増加し、負債総額は前年比50.3%の減少となった。

全国倒産件数・負債総額



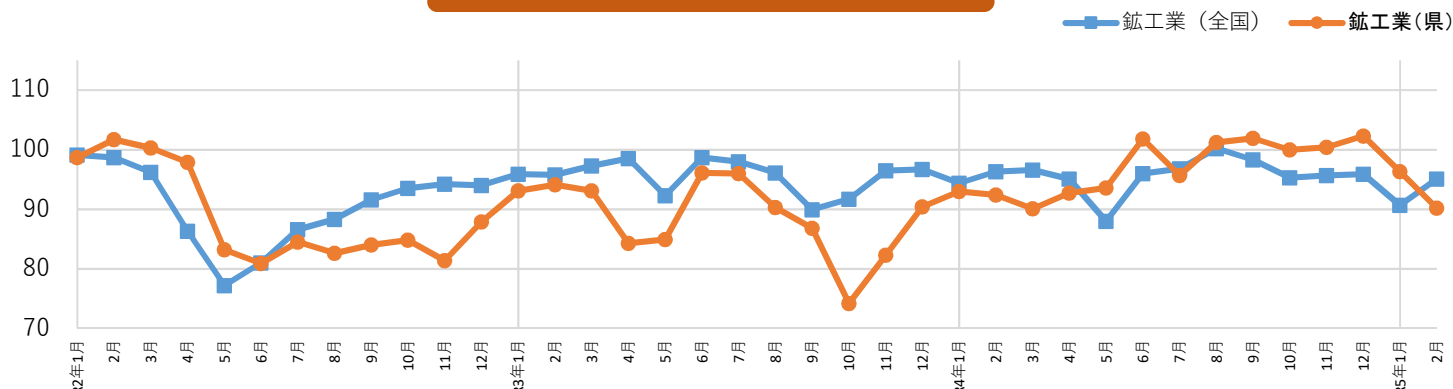
和歌山県倒産件数・負債総額



鋳工業生産指数（製造工業）及び粗鋼生産量

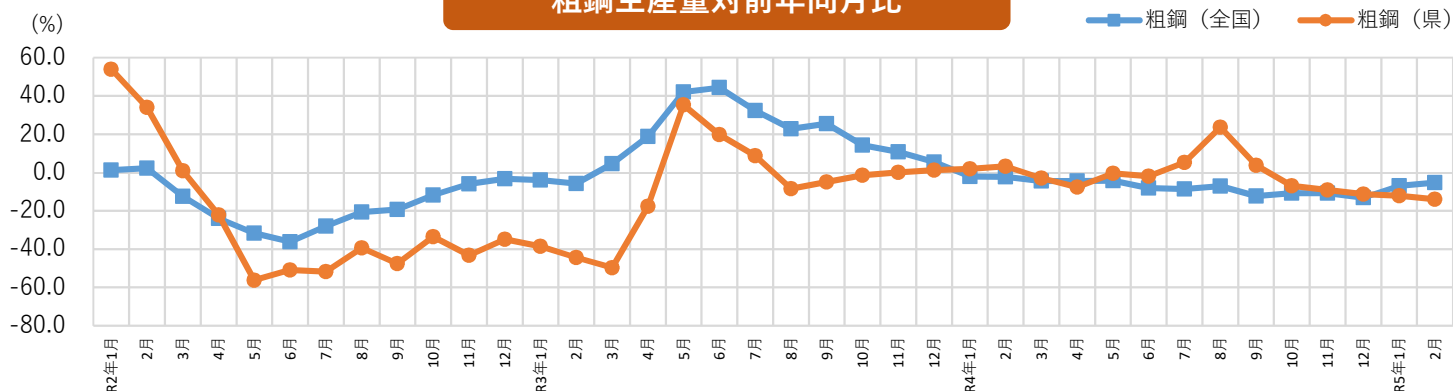
令和4年の和歌山県における鋳工業生産指数（季節調整済）は、新型コロナウイルス感染症の影響等により低下した。また、同年の県内粗鋼生産量は前年比0.7%減少し、約271万3千トンの生産となった。

鋳工業生産指数（季節調整済）



資料：経済産業省「鋳工業生産指数」、和歌山県「和歌山県鋳工業生産指数」

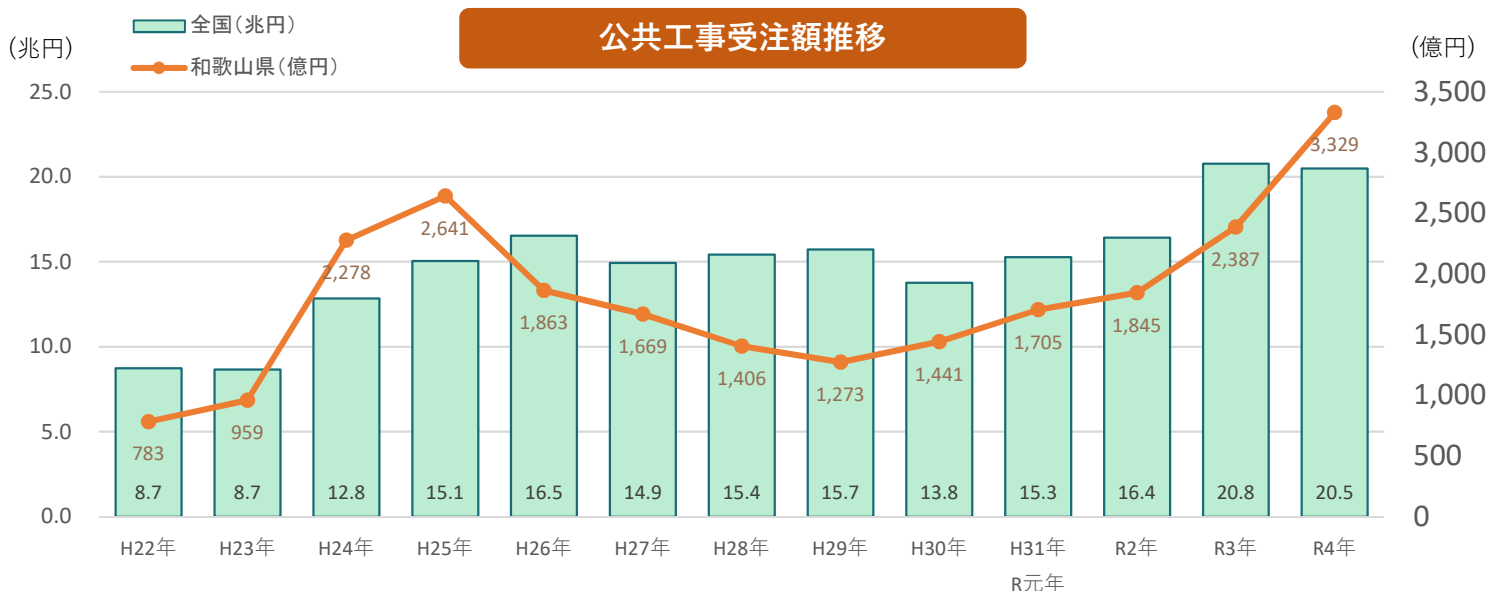
粗鋼生産量対前年同月比



資料：一般社団法人日本鉄鋼連盟「全国鉄鋼生産高」、日本製鉄株式会社関西製鉄所和歌山地区

公共工事請負契約額

令和4年の和歌山県における公共工事請負契約額は3,329億円となり、5年連続の増加（+39.5%）となった。

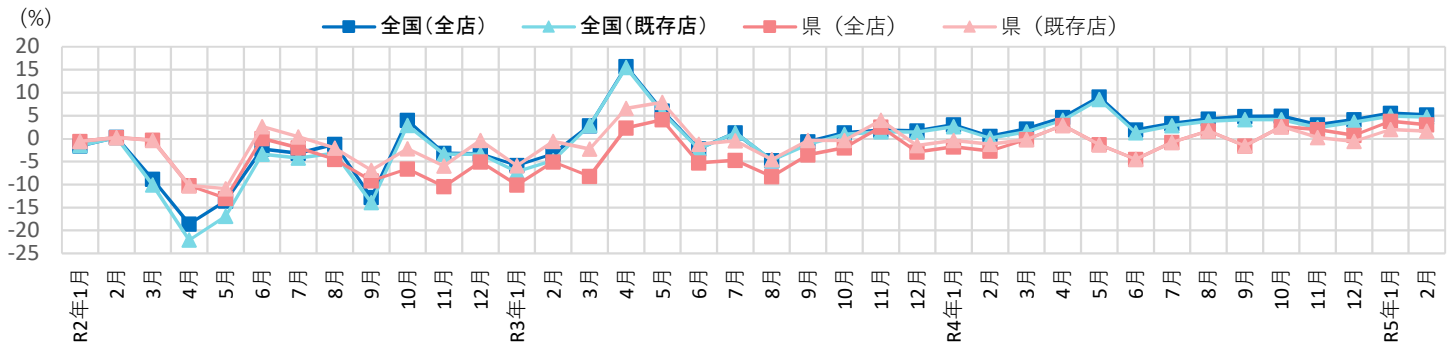


資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

百貨店・スーパー販売額

令和4年の和歌山県における百貨店・スーパー販売額は、1,090億円で、前年比0.3%の減少（全店ベース）となった。なお、店舗数は前年から1店舗増加し40店舗（同年12月時点）。

百貨店・スーパー販売額対前年同月比

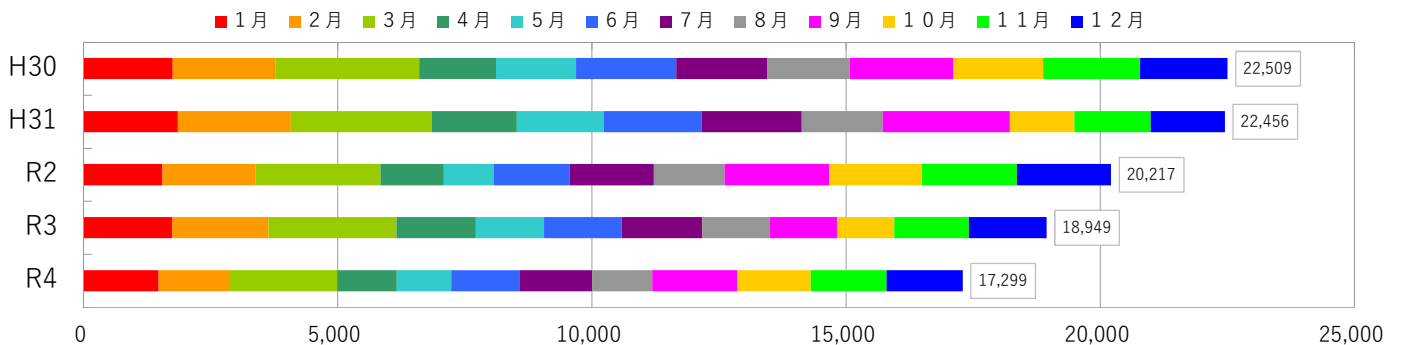


資料：経済産業省「商業動態統計」

自動車新車登録台数

令和4年の和歌山県における自動車新車登録台数は1万7,299台で、前年比8.7%の減少となった。

和歌山県自動車新車登録台数

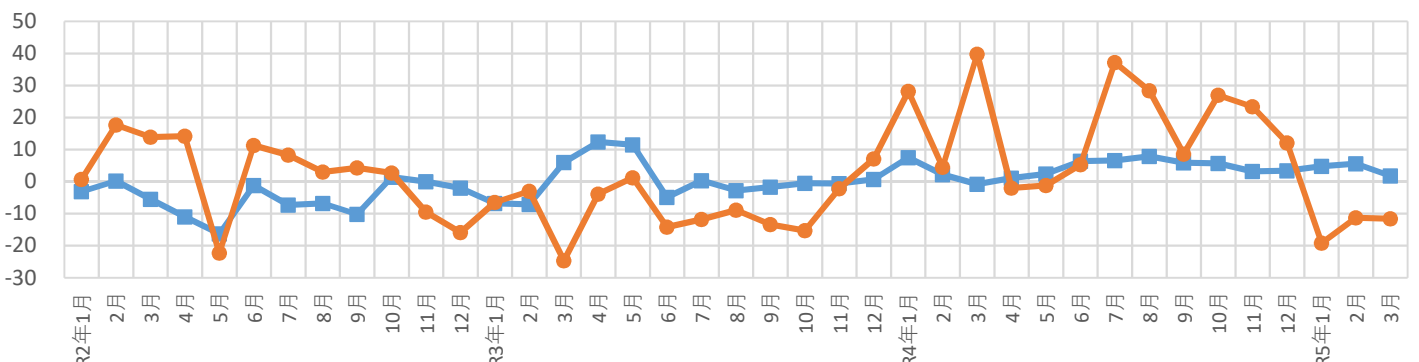


資料：一般社団法人日本自動車販売協会連合会

家計消費支出・消費者物価指数

令和4年の和歌山市における月平均家計消費支出は26万3,910円で、前年比16.9%の増加となった。また、同年の同市における消費者物価指数（総合）は101.3で、前年から1.7%の増加となった（令和2年平均＝100）。

家計消費支出対前年同月比



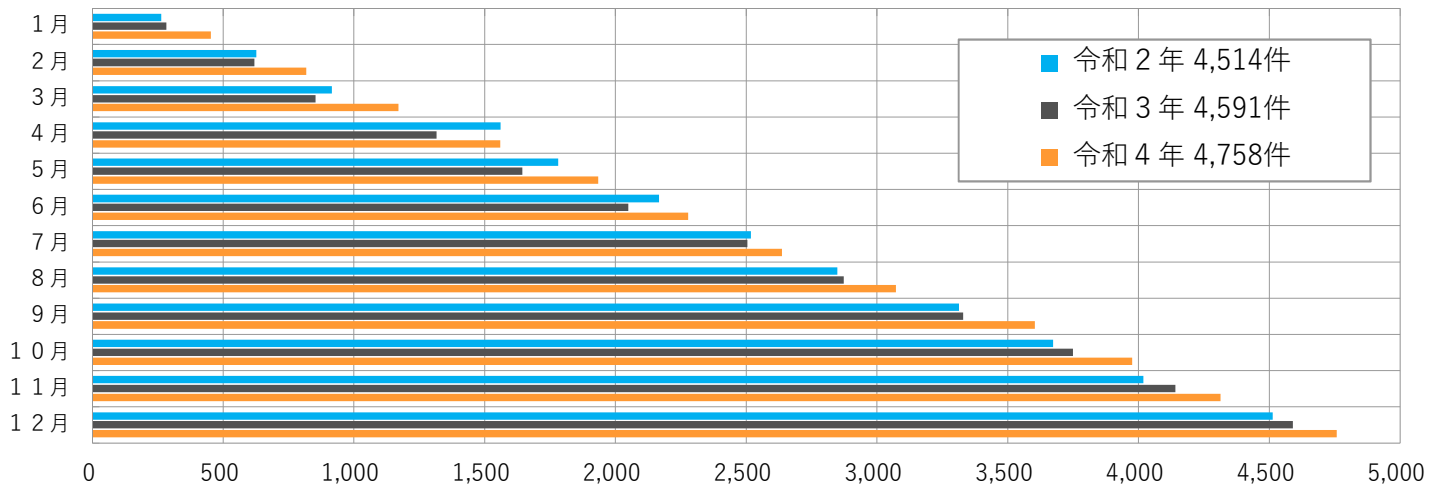
※家計消費支出は「2人以上の世帯」。前年同月との単純比較であり、物価上昇分は未調整。

資料：総務省「家計調査」

新設住宅着工戸数

令和4年の和歌山県における新設住宅着工戸数は4,758件で、前年比3.6%の増加となり、2年連続で増加した。

和歌山県の住宅着工件数（各月累積）

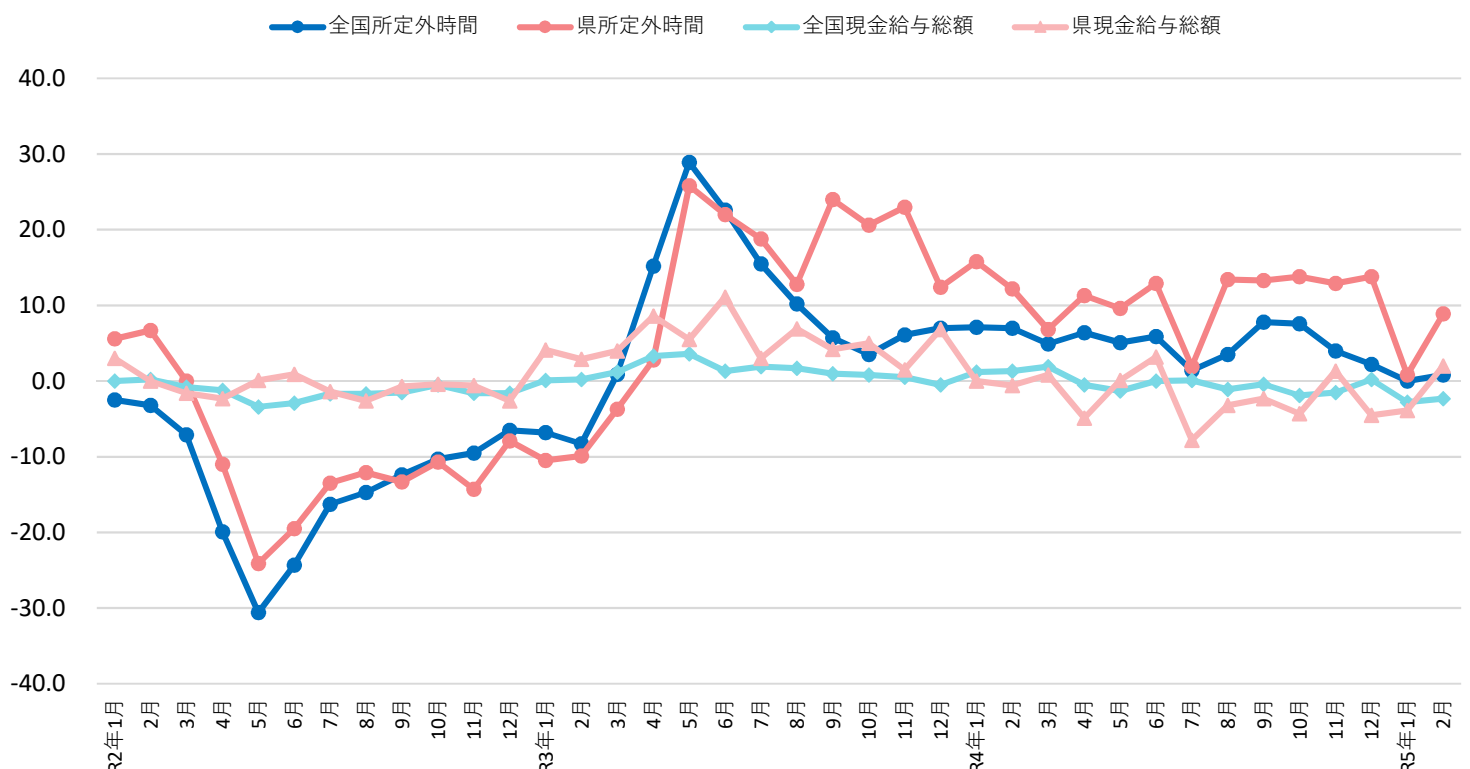


資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

所定外労働時間・実質賃金指数(事業規模30人以上)

令和4年の和歌山県における所定外労働時間指数は123.1となり、前年を11.5%上回った。また、実質賃金指数（現金給与総額）は103.8となり前年を1.8%下回った（いずれも令和年平均＝100）。

労働時間(所定外)・実質賃金指数(現金給与額) 対前年同月比



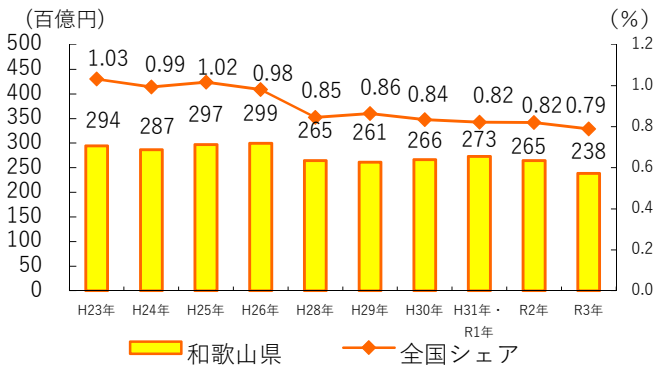
資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」、和歌山県「県内毎月勤労統計調査」

⑥ 工業 ～和歌山県の産業の姿～

～特定業種に依存する工業構造～

- 令和3年の県内製造業における製造品出荷額等は約2兆3,835億円(前年比▲ 10.1%)、付加価値額は約7,587億円(前年比▲ 6.2%)。
- 製造品出荷額等及び付加価値額の全国に占める割合は、概ね1%程度で推移
- 事業所数は1,465事業所(前年比▲12%)、従業者数は53,497人(前年比▲4.8%)
- 工業構造は、鉄鋼、石油、繊維、化学の各業種に特化しており、鉄鋼、石油については特定大企業の影響が大きい。

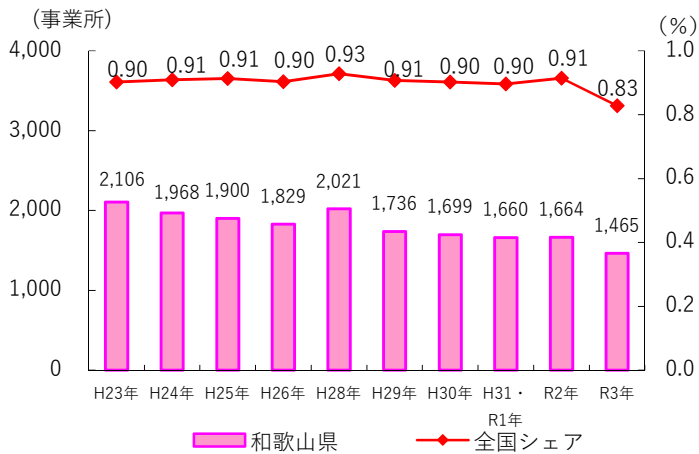
県内製造業の製造品出荷額等



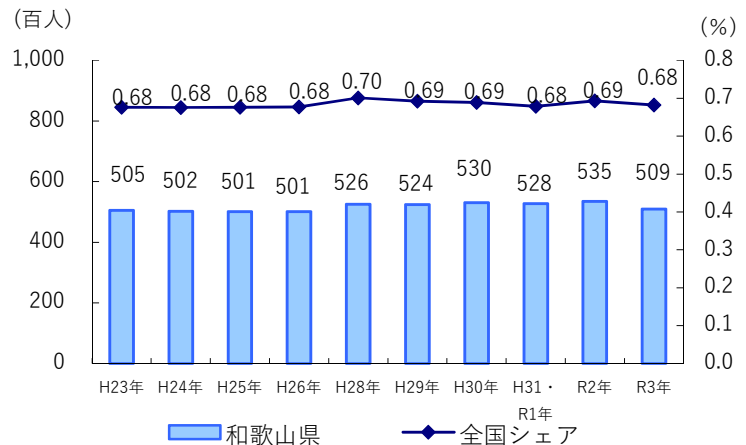
県内製造業の付加価値額



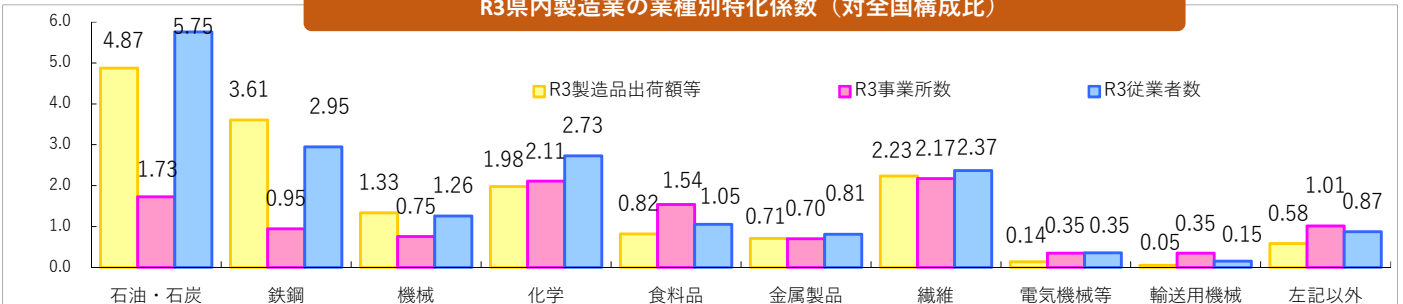
県内製造業の事業所数



県内製造業の従業者数



R3県内製造業の業種別特化係数 (対全国構成比)



※平成19年調査から、新たな調査項目として製造品出荷額等に「その他収入額」、原材料使用額等に「製造等に関連する外注費」及び「転売した商品の仕入額」を追加したことにより、製造品出荷額等及び付加価値額については前年の数値とは接続しない。

※業種別特化係数は製造品出荷額等大なり順に掲載。

※「機械」は「はん用機械器具製造業」、「生産用機械器具製造業」及び「業務用機械器具製造業」の合計。「電気機械等」は「電子部品・デバイス・電子回路製造業」、「電気機械器具製造業」及び「情報通信機械器具製造業」の合計。

資料：経済産業省「工業統計調査」

総務省・経済産業省 「平成24年経済センサス-活動調査」

「平成28年経済センサス-活動調査」

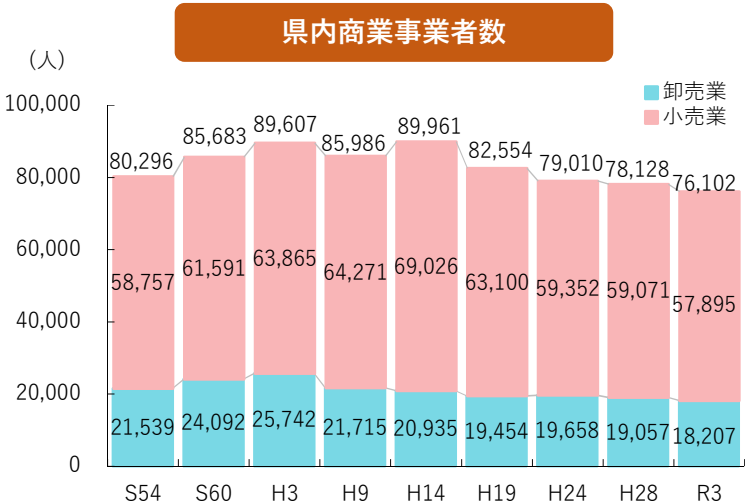
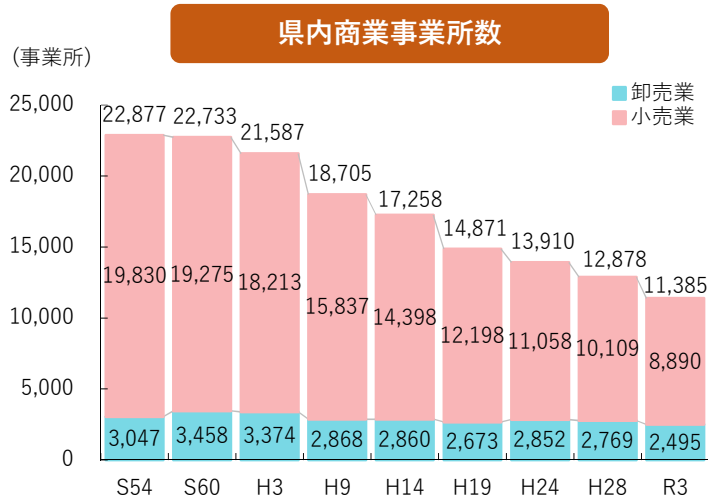
「令和3年経済センサス-活動調査」

(従業者4人以上の事業所)

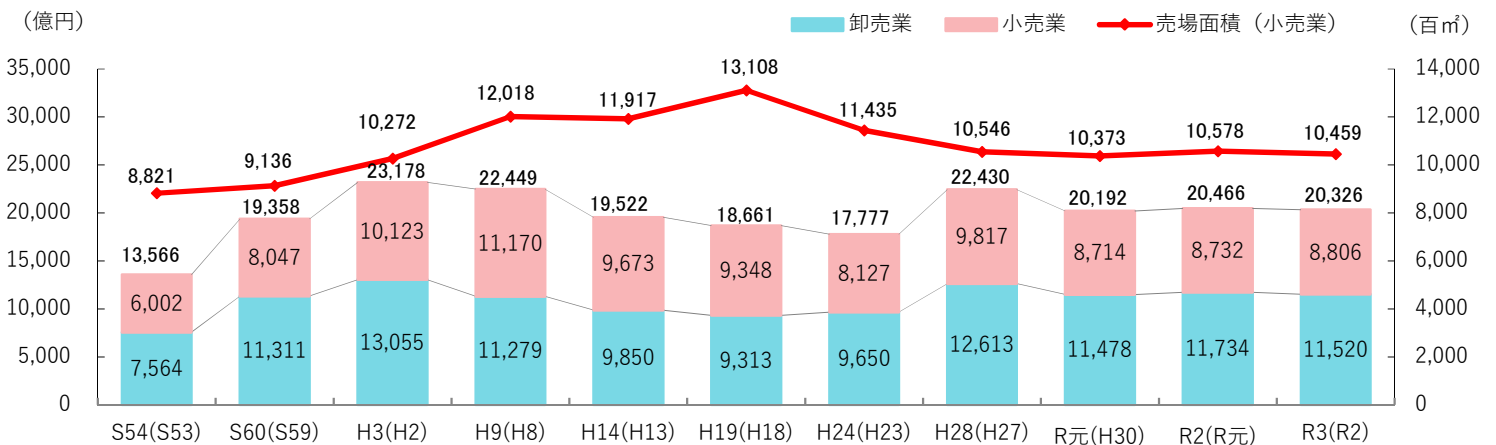
⑦ 商業 ～和歌山県の産業の姿～

～事業所数・従業者数・商品販売額は共に減少～

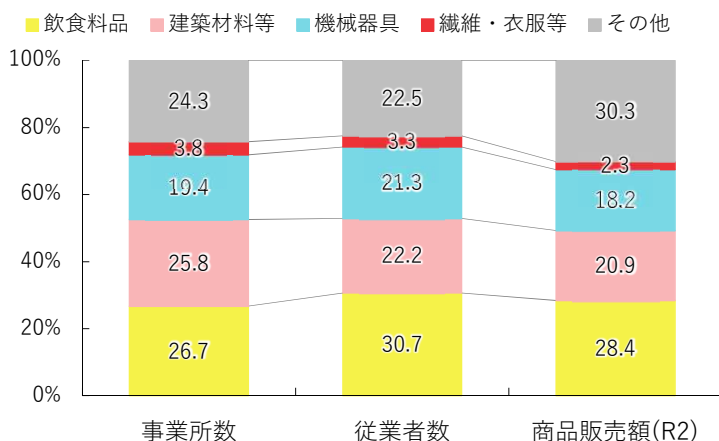
- 令和3年の県内商業事業所数は1万1,385事業所であり、平成28年に比べ1,493事業所(▲11.6%)減少
- 令和3年の当該従業者数は7万6,102人であり、平成28年に比べ2,026人(▲2.6%)減少
- 令和2年の商品販売額は約2兆326億円であり、前年に比べ約140億円(▲0.7%)減少



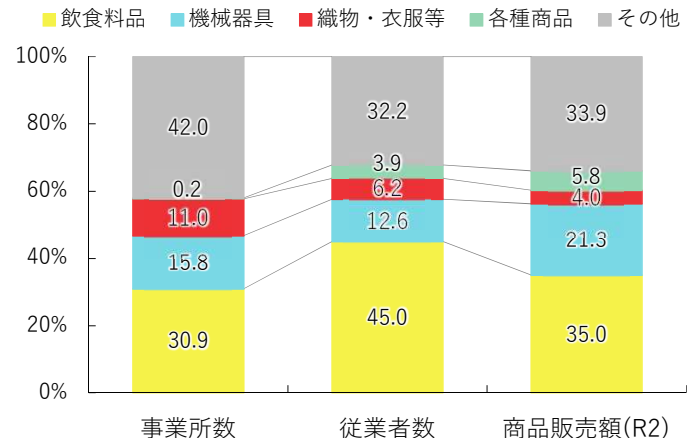
県内商品販売額・県内小売業売場面積



県内卸売業(R3)業種別構成割合



県内小売業(R3)業種別構成割合



※商品販売額については、平成19年調査以前は当該統計年次の概ね前年度に相当する1年間、平成24年調査以降は当該統計年次の前年に当たる1年間の数値を指す(いずれもグラフ上の括弧内表記の年度・年)。

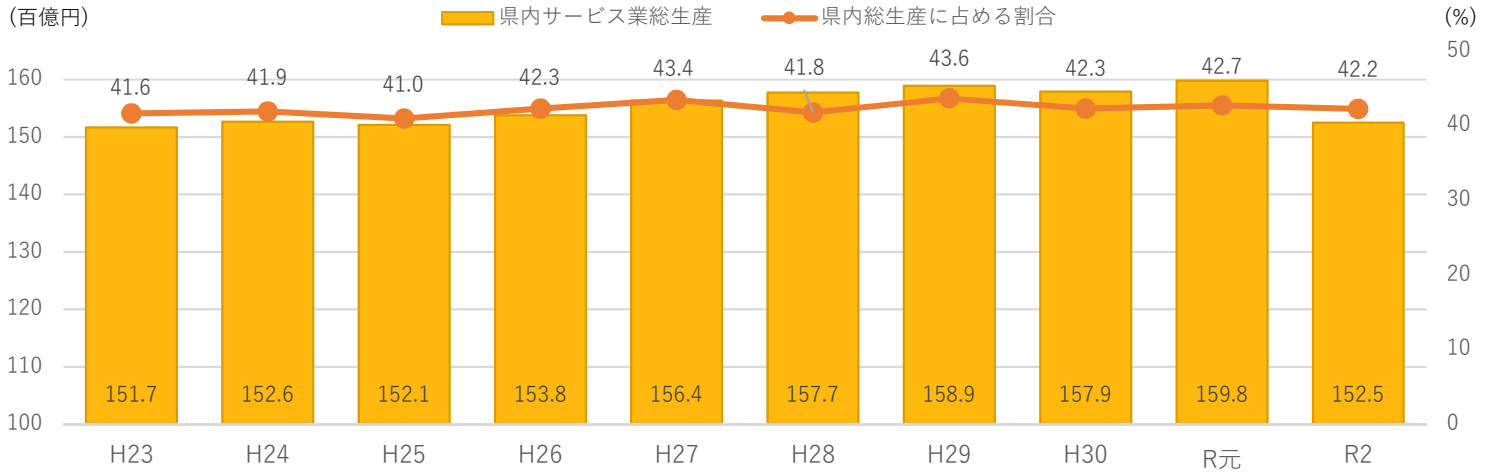
資料：経済産業省「商業統計調査」
総務省・経済産業省「令和3年経済センサス・活動調査」
「経済構造実態調査」

⑧ サービス業 ～和歌山県の産業の姿～

～県内総生産の約4割を占める～

- 令和2年度の県内サービス業総生産額は約1兆5,253億円で、前年度から約726億円(▲4.5%)減少
- 県内総生産に占めるサービス業の割合は約42.2%となり、前年度から低下

県内サービス業総生産額の推移

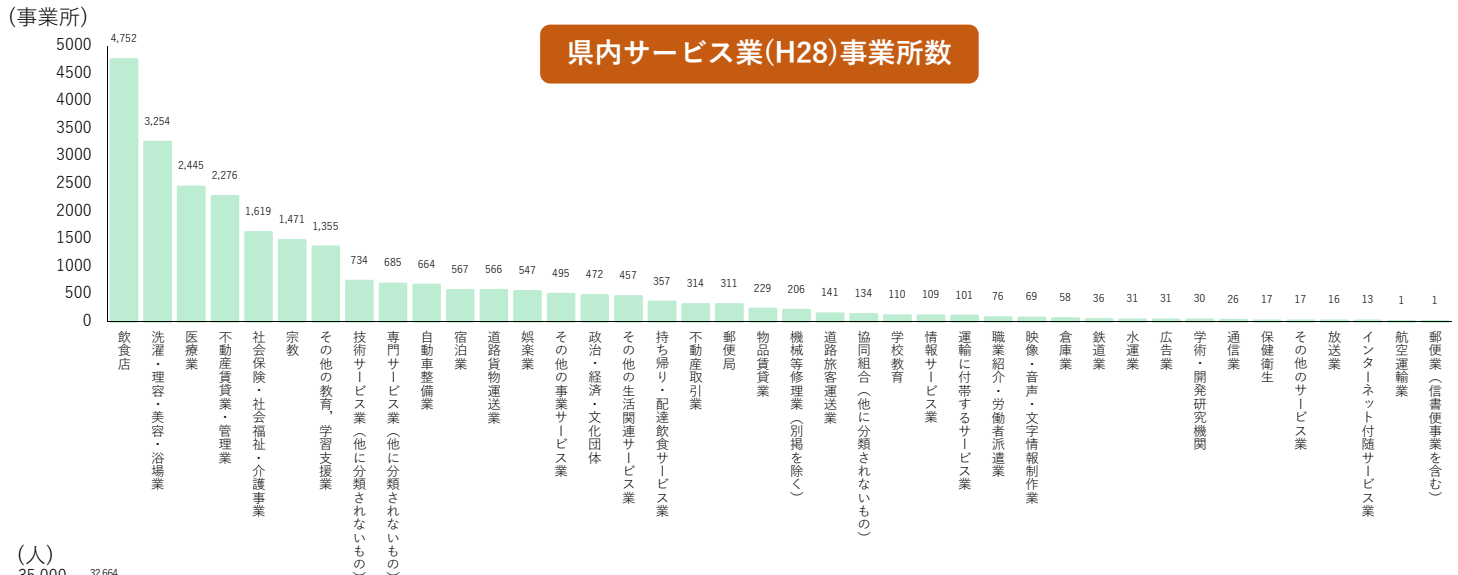


※県内総生産(名目)は以下の項目を加算せず算出

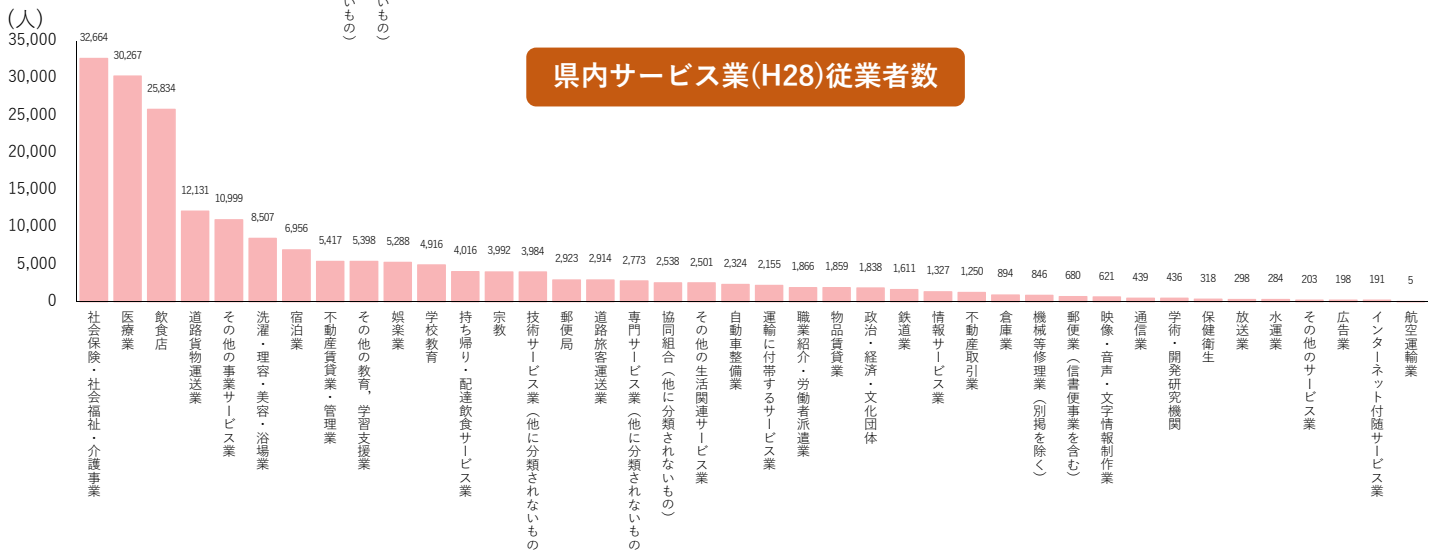
①輸入品に課される税・関税(付加)、②総資本形成に係る消費税(控除)

資料：和歌山県「令和2年度県民経済計算」

県内サービス業(H28)事業所数



県内サービス業(H28)従業者数



※本頁のサービス業は、①電気・ガス・水道・廃棄物処理業、②卸売・小売業、③金融・保険業、④公務を除く第3次産業とする。

資料：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス・活動調査」

⑨ 観光 ～和歌山県の産業の姿～

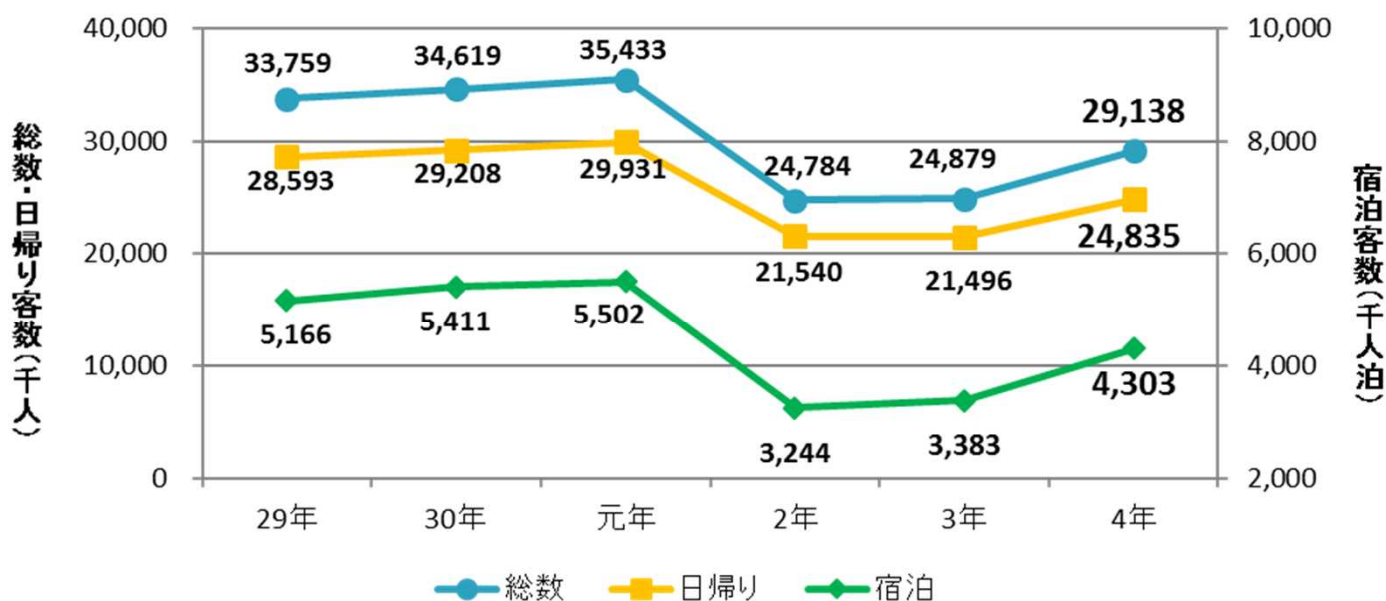
- 令和4年の観光入込客総数（速報値）は、約2万9,138千人で、対前年比117.1%と増加し、コロナ禍前の令和元年比では8割を超える水準まで回復した。
- 年明け以降、まん延防止等重点措置を実施すべき区域への指定等、新型コロナウイルスの感染拡大の影響があったものの、ゴールデンウィークや夏季、年末に行動制限がなかったことや、4月1日から開始した「わかやまりフレッシュプランS」、10月11日から開始した「わかやまりフレッシュプランSワイド」の効果により、前年より大幅に増加した。
- なお、和歌山県における外国人宿泊者数は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、10月の水際対策の大幅緩和以降は堅調に回復してきており、令和元年比91.7%減の約4万1,500人泊となった。

	29年	30年	元年	2年	3年	4年	対3年増減	対3年比	対元年比
総数	33,759	34,619	35,433	24,784	24,879	29,138	4,259	117.1%	82.2%
日帰り	28,593	29,208	29,931	21,540	21,496	24,835	3,339	115.5%	83.0%
宿泊	5,166	5,411	5,502	3,244	3,383	4,303	920	127.2%	78.2%

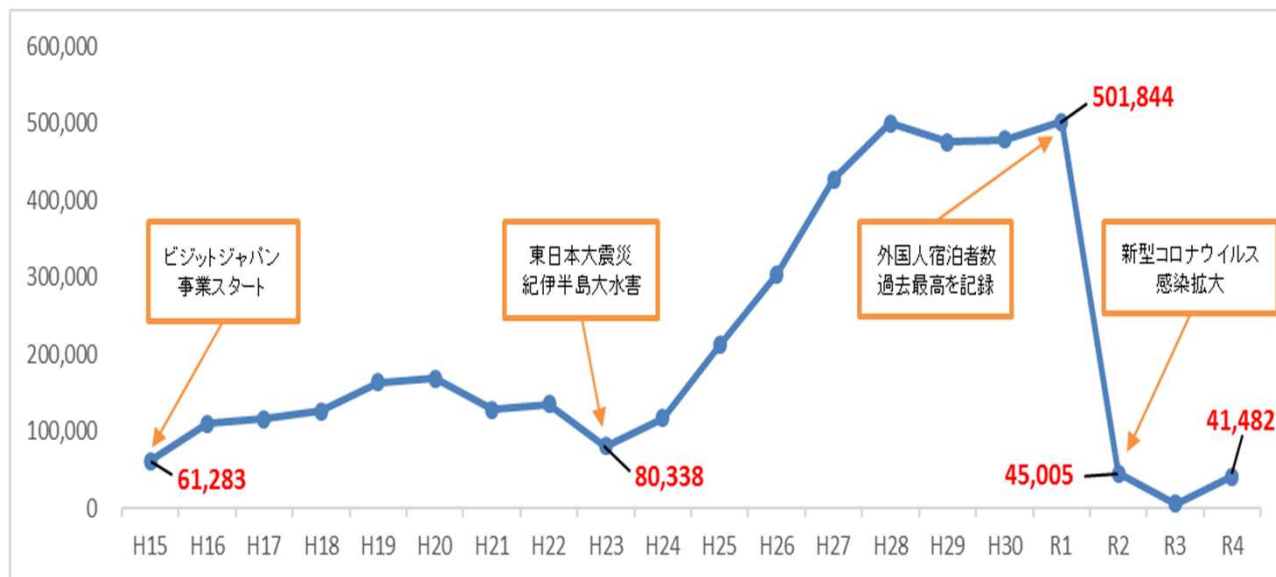
令和4年観光客動態調査（速報値）

・観光入込客総数：約2万9,138千人・日帰り客数：約2万4,835千人
（前年比117.1%・R元年比82.2%）（前年比115.5%・R元年比83.0%）

・宿泊客数：約4,303千人泊
（前年比127.2%・R元年比78.2%）



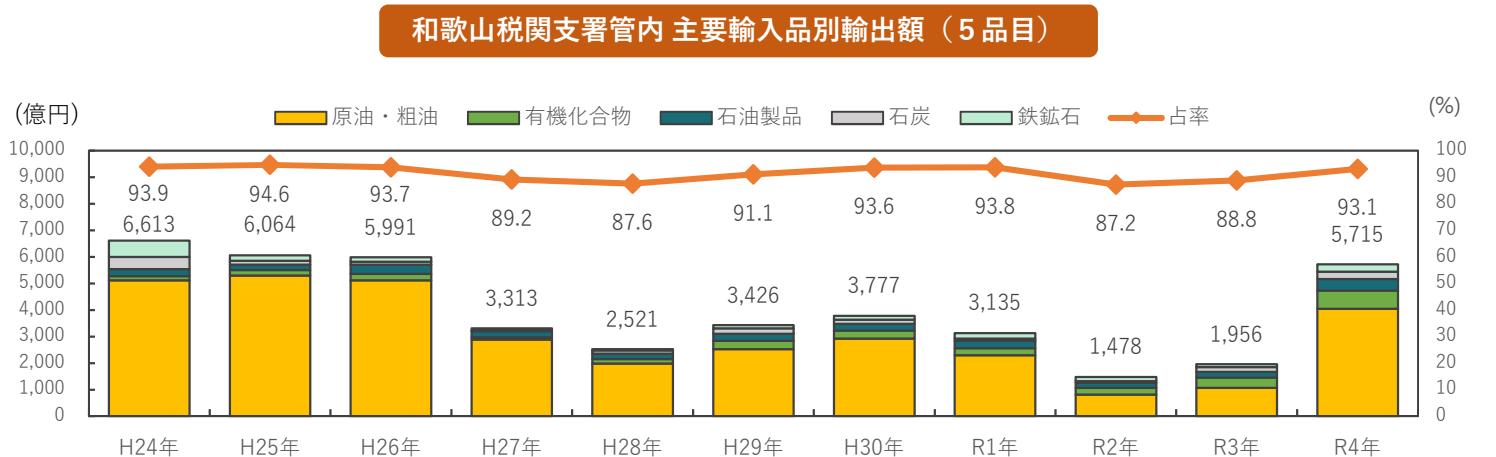
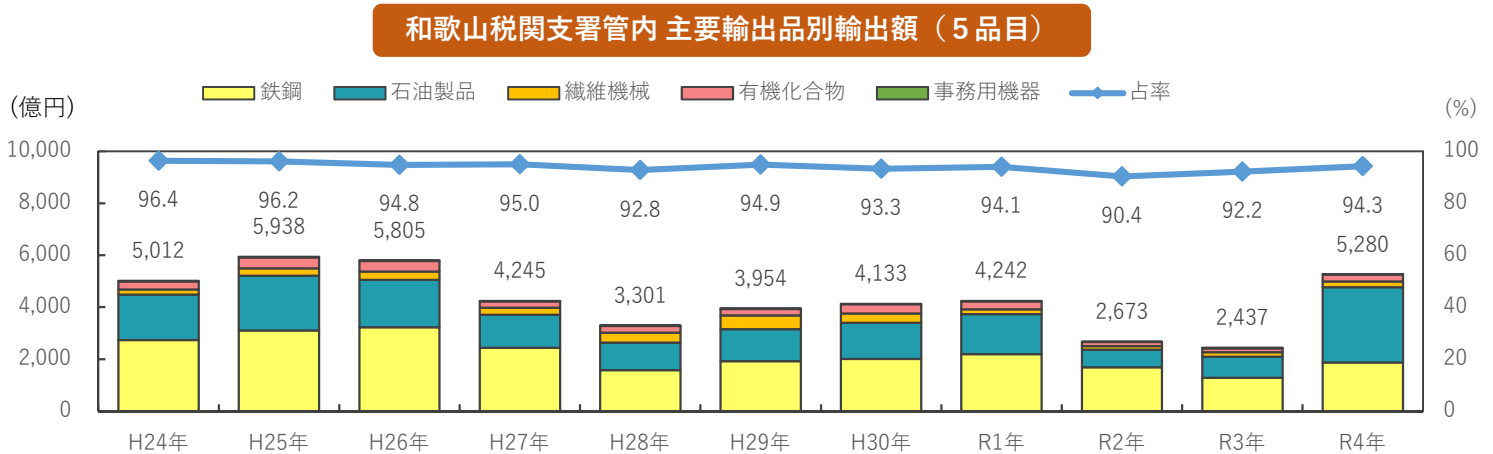
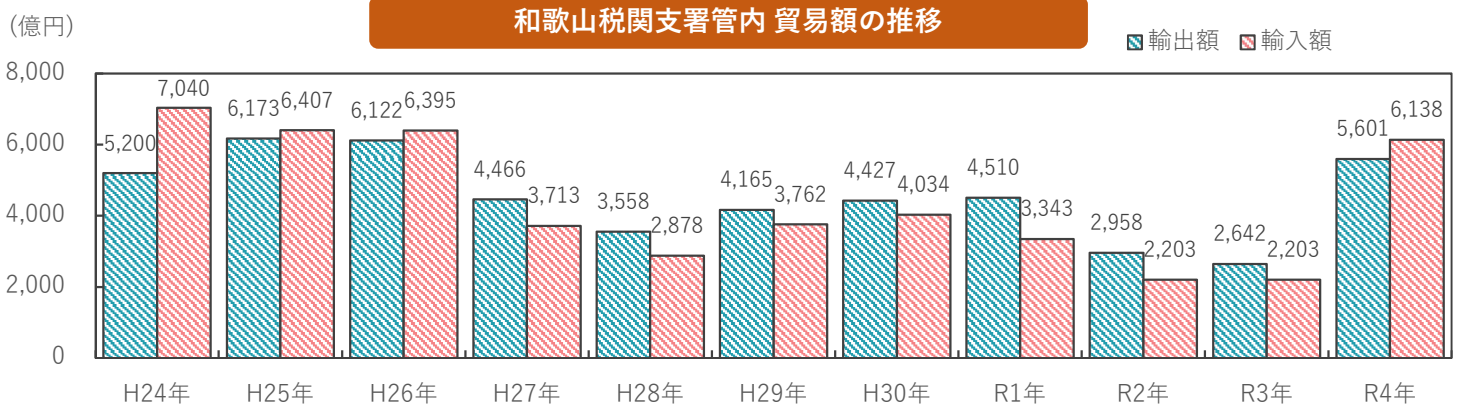
・外国人宿泊者数：約4万1,500人泊



⑩ 貿易(輸出入額)

～貿易額は2年連続の増加～

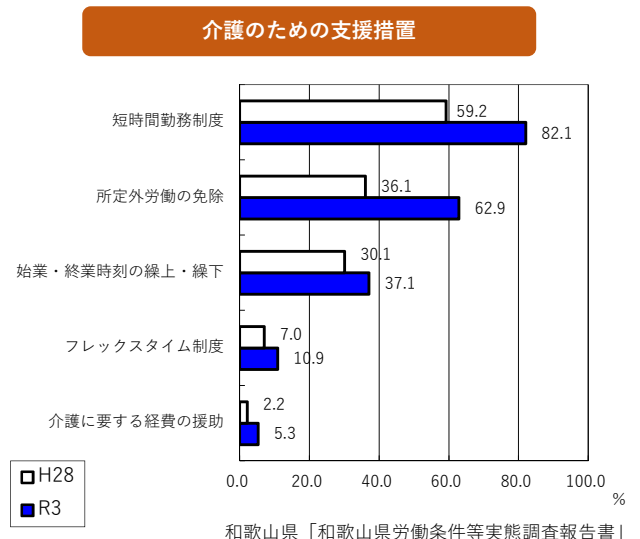
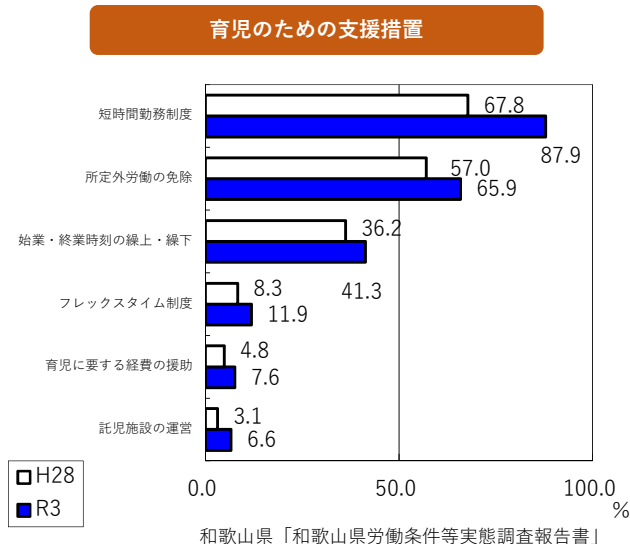
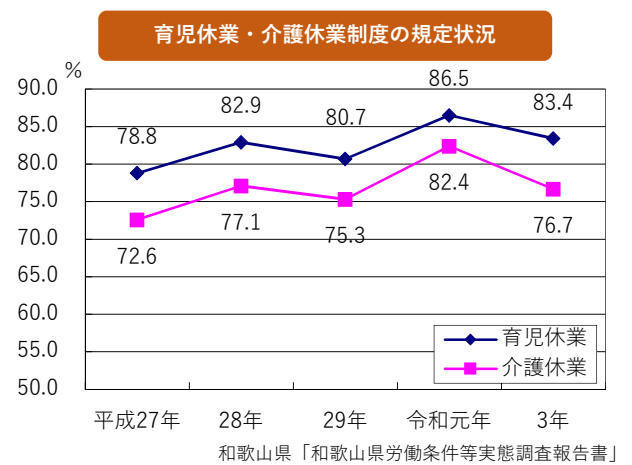
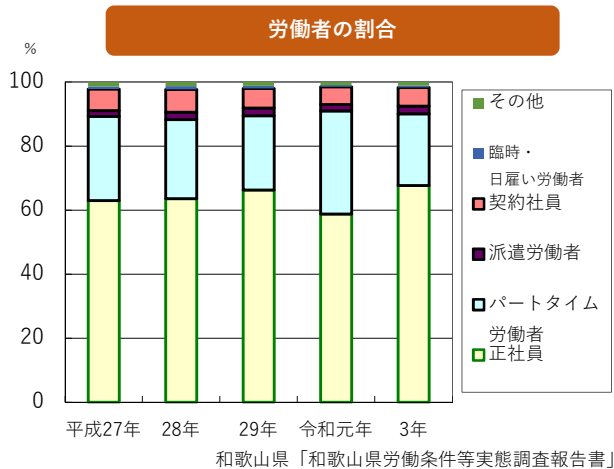
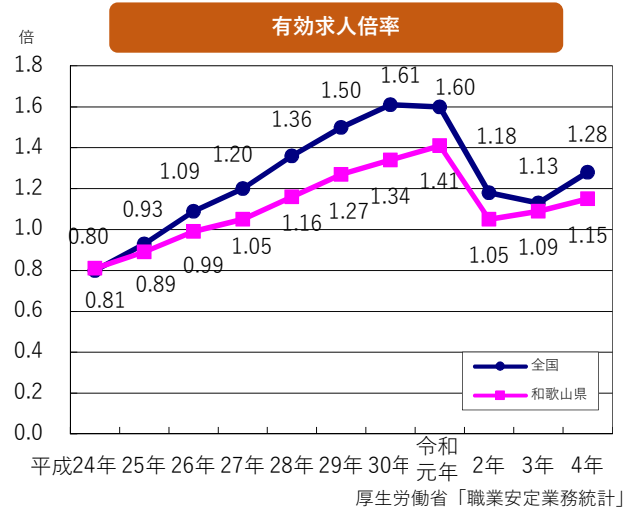
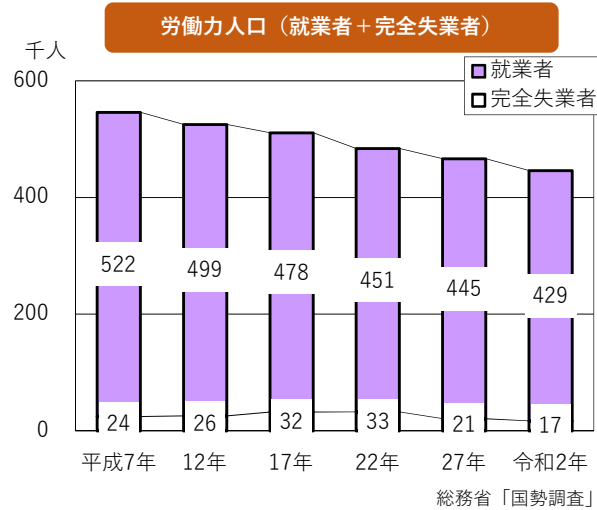
- 令和4年の本県の輸出入額は、輸出額は5,601億円（前年比112.0%増）となり3年ぶりに増加、輸入額は6,138億円（同178.6%増）となり2年連続の増加となった。輸出入の総額は、1兆1,739億円（同142.3%増）となり2年連続の増加となった。
- 輸出品目別では、鉄鋼1,873億円（構成比33.4%）、石油製品2,902億円（同51.8%）、繊維機械211億円（同3.8%）、有機化合物274億円（同4.9%）、事務用機器19億（同0.3%）の5品目で全体の94.3%を占めている。
- 輸入品目別では、原油・粗油4,048億円（構成比65.9%）、有機化合物685億円（同11.2%）、石油製品439億円（同7.2%）、石炭271億円（同4.4%）、鉄鉱石272億円、（同4.4%）の5品目で全体の93.1%を占めている。



資料：財務省「貿易統計」（税関ホームページ）から加工・作成

⑪ 労働雇用 ～和歌山県の産業の姿～

- 令和2年の県内の労働力人口は44万6,046人で、平成27年と比べると4.3%減少している。男女別では、男性は24万1,854人（6.5%減少）、女性は20万4,192人（1.6%減少）である。
- 有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年に大幅に低下したが、その後は回復傾向にある。
- 労働者の割合は、正規労働者が約68%、非正規労働者が約32%で推移している。
- 令和3年の県内事業所の労働環境は、育児休業制度の整備率が83.4%で、介護休業制度の整備率は76.7%である。平成28年と比較すると、育児休業制度の整備率は0.5%上昇、介護休業制度の整備率は0.4%低下している。



和歌山県商工観光労働部組織一覧

課室名／班名	直通電話	主な業務
商工労働政策局		
商工観光労働総務課		
総務班	073-441-2720	部の予算、貸金業指導、県営競輪事業等
政策企画班	073-441-2725	部の総合企画、景気動向調査等
計量指導班	073-441-2713	適正計量の推進、検定・検査
償還指導室	073-441-2765	貸付金の償還指導
万博推進課	073-441-2703	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催準備
商工振興課		
金融班	073-441-2744	中小企業の金融支援
商工支援班	073-441-2742	商工会・商工会議所等の支援
公営企業課		
財務企画班	073-441-3338	工業用水道事業、土地造成事業の企画、財務管理
事業管理班	073-441-3314	工業用水道事業、土地造成事業の事業管理
労働政策課		
労政福祉班	073-441-2790	労働者の福祉向上、労使関係の安定
就業支援班	073-441-2805	若年者、高年齢者、障害者等の就業支援
能力開発班	073-441-2802	職業能力開発
企業政策局		
企業振興課		
市場開拓班	073-441-2758	地場産業振興、国際経済交流、国際販路開拓支援
経営支援班	073-441-2760	創業、経営革新、新産業の創出・企業の育成、販売力強化
産業ブランド推進班	073-441-2841	プレミアム和歌山の推進、地域ブランド形成
産業技術政策課		
エネルギー政策班	073-441-2373	エネルギー政策の企画・調整
産業技術推進班	073-441-2355	産業技術基本計画の推進、産学官共同研究プロジェクトの推進
企業立地課		
ものづくり産業立地班	073-441-2753	製造業の企業誘致
新産業立地班	073-441-2748	非製造業の企業誘致
サービス産業立地室	073-441-2746	サービス産業の誘致
観光局		
観光振興課		
企画調整班	073-441-2777	観光振興の企画、調整
振興班	073-441-2775	観光振興施策の推進
世界遺産班	073-441-2424	世界遺産の保全と活用
観光交流課		
海外誘客班	073-441-2788	外国人観光客の誘致
環境づくり班	073-441-2785	外国人観光客の受入環境の整備、体験型教育旅行の誘致
出先機関・産業支援機関		
公営競技事務所	073-431-4213	県営競輪
工業用水道管理センター	073-486-2800	工業用水道事業の運営管理
和歌山産業技術専門学院	073-477-1253	公共職業訓練の実施
田辺産業技術専門学院	0739-22-2259	公共職業訓練の実施
工業技術センター	073-477-1271	研究開発、技術開発支援
世界遺産センター	0735-42-1044	世界遺産の保存と活用
(公財)わかやま産業振興財団	073-432-3412	地域産業技術の振興、創業や中小企業等の多様な事業活動を総合的に支援

補助金やセミナー等の最新情報をメールマガジンでお知らせしています。



